

2011(平成23)年度

事業報告書

学校法人 麻布獣医学園

目 次

I	法人の概要	
1.	設置の目的・理念・建学の精神等	1
2.	将来に向けてのビジョン[学校法人麻布獣医学園中期目標・中期計画]	2
3.	沿革	3
4.	設置する学校等	4
(1)	設置学校	4
(2)	機構図	4
(3)	学生・生徒数の状況	5
①	入学定員, 収容定員, 学生・生徒数, 収容定員充足率	5
②	専任教員一人当たりの学生数	5
③	留学生数	5
④	社会人学生数	6
⑤	非正規課程履修者	6
5.	役員・教職員の概要	7
(1)	役員・評議員	7
(2)	教職員	8
①	大学教員(常勤)	8
②	高等学校教員(常勤)	8
③	職員(常勤)	8
④	非常勤教職員	8
⑤	年齢別大学教員数(常勤)	9
⑥	専任教員と非常勤教員の比率	9
II	事業の概要	
1.	平成23年度事業計画の実施状況	10
2.	教育研究の概要	14
(1)	平成23年度の教育実施体制	14
(2)	教育に関する情報	15
①	入学者の選抜	15
②	教育課程	20
③	学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっての基準	23
④	平成23年度卒業生・修了者数及び進路状況	27
⑤	国家試験合格率の推移	29
⑥	退学者数・中退率・留年者数	30
⑦	学習環境	31
⑧	学生納付金	33
⑨	学生支援と奨学金	35
⑩	学生表彰制度	37
⑪	学生の課外活動の状況	37
⑫	国際交流	40
⑬	大学間等の連携	41
⑭	高大連携協定校	41
(3)	研究に関する情報	42
①	競争的資金等受入状況	42
②	学内競争的資金の状況	43
③	知的財産データ	43
④	受託研究等の受入状況	45
(4)	麻布大学附属澁野辺高等学校に関する情報	46
3.	管理運営の概要	49
(1)	学園運営に係る会議等	49
(2)	会議等の開催状況	49
(3)	平成23年度 麻布獣医学園・麻布大学・麻布大学附属澁野辺高等学校 行事報告	59
4.	前年度決算監査における監事要望事項の履行状況	67
III	財務の概要	
1.	財務状況の推移	69
2.	財務比率の推移	71
3.	寄附金収入の推移	73
4.	経常費補助金の推移	73
5.	動物病院収入の推移	74
6.	資金残高	74

I-1. 設置の目的・理念・建学の精神等

学校法人麻布獣医学園

この法人は、教育基本法及び学校教育法に従い、大学教育及び高等学校教育を行うことを目的とする。〔学校法人麻布獣医学園附行為(昭和26年3月6日制定)第3条〕

麻布大学

建学の精神『学理の討究と誠実なる実践』

麻布大学は、創設者與倉東隆先生の建学の精神である、学理を討究し実践を重んじる誠実なる校風を受け継ぎ、人と動物との共存及び人と自然環境との調和の途を探求することを目的として、獣医学、動物応用科学及び生命環境科学に関する専門の知識を教授研究し、その応用力の展開をはかるとともに、進んで学術の進歩と国民生活の向上に寄与し、平和社会の建設に貢献することとしている。

目的 麻布大学は、獣医学、畜産学、動物応用科学、生命科学及び環境科学に関する専門の学術を教授研究し、その応用力の展開をはかるとともに、人格の完成につとめ、進んで学術の進歩と人類の生活向上に寄与し、平和社会の建設に貢献することを目的とする。〔麻布大学学則(昭和25年4月1日制定)第1条〕

獣医学部

理念・目的 獣医学部は、幅広い獣医学及び動物応用科学教育を行い、生命と福祉に係る科学者としての責任感に基づいて、社会的使命を正しく遂行し得る獣医師及び動物科学技術者を育成するとの理念に基づき、社会より与えられた責任に對して応えられ、かつ、国際的視野をもつことができる人材を養成することを目的とする。〔麻布大学獣医学部規則(平成5年4月1日制定)第1条の2〕

獣医学科

獣医学科は、獣医師としての科学的思考力と応用能力を展開させ、生命と福祉にかかわる科学者としての社会的使命を遂行できる能力及び動物の生理や病態、疾病の処置とその予防並びに人と動物の感染症、動物性食品衛生及び環境衛生に関する科学的知識と技術を併せもつ人材を養成することを目的とする。

動物応用科学科

動物応用科学科は、動物にかかわる生命科学を基盤として、人と動物のより良い関係を学び、人と動物の共生を目指して、遺伝子レベルから生態系レベルに至る動物の保有する諸機能を人間生活に安全かつ効果的に活用するための知識と技術を教授し、人と動物にかかわる諸分野で活躍できる専門技術者を養成することを目的とする。

生命・環境科学部

理念・目的 生命・環境科学部は、生命科学及び環境科学の立場から、健全な生命をはぐむための教育研究を展開し、もって、人の健康の維持増進や環境の安全・保全にかかわる専門性の高い技術者を育成すること、さらには、社会科学的観点に立って、環境問題に對応できる人材の育成を目的とする。〔麻布大学生命・環境科学部規則(平成20年3月17日制定)第4条〕

臨床検査技術学科

臨床検査技術学科は、高い倫理観を有し、各種疾病についての基礎的知識に立脚して疾病と臨床検査成績との関連性をより深く、かつ正確に理解・判断でき、高齢者・障害者医療にも対応可能で、ニュートリションサポート、感染対策などのチーム医療を実践する一員としてふさわしい高い能力を有する臨床検査技師の養成を目的とする。

食品生命科学科

食品生命科学科は、健康な社会を維持発展させるために、人の基礎医学及び保健衛生学を基礎として食品科学・栄養学を学び、かつ、高度なバイオ技術を身に付け、高い専門性を持って食の安全安心にかかわる食品衛生学・食品生命科学分野で活躍する研究者、技術者の養成を目的とする。

環境科学科

環境科学科は、持続可能な社会の構築を目指し、環境の安全・保全について自然科学及び社会科学の両面から教育研究し、環境の分析、評価、維持・改善、マネジメントに携わる技術者及び環境分野の専門家となる人材の養成を目的とする。

環境保健学部

理念・目的 環境保健学部は、自然科学的、あるいは、社会科学的立場から、人の生命を健康に維持全うさせるため、様々な環境因子と人の健康の維持増進との相互関係を把握し、究明する研究者、技術者を育成することを目的とする。〔麻布大学環境保健学部規則(平成5年4月1日制定)第1条の2〕

健康環境科学科

健康環境科学科は、各種公害、廃棄物処理、上下水道、衛生、安全な食品の確保について、あるいは毒性問題等、人を取り巻く外的環境要因と健康とのかかわりを教育研究し、これらの諸問題を総合的に研究し、その解決策を開発する能力を備えた人材を養成することを目的とする。

衛生技術学科

衛生技術学科は、人体を取り巻く外的環境要因及び内的環境要因によって引き起こされる生体内の変化と生命現象との関係を理化学的变化という面から教育研究し、医療関連分野、特に、臨床検査領域及びバイオサイエンス領域で活躍できる能力を備えた人材を養成することを目的とする。

環境政策学科

環境政策学科は、人間の生活・経済活動の優先性から生じる様々な環境問題を、社会科学と自然科学分野を併せ持つ文理融合型の教育研究から探求し、人間の精神的な幸福・健康及び生活のアメニティー志向に寄与する具体的な方策を提言、実行できる能力を涵養するとともに、幅広い分野で環境問題の解決に活躍し得る人材を養成することを目的とする。

大学院

目的 麻布大学大学院は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与することを目的とする。〔麻布大学大学院学則(昭和35年4月1日制定)第1条〕

獣医学研究科

理念・目的 獣医学研究科は、生物学を基盤とする応用科学として、動物とヒトの健康・社会・生命科学を探究し、地球上に共存する動物とヒトにかかわる学術の論理及び応用を追究・教授することを理念とする。この理念に基づき、獣医学研究科は、人類と動物の福祉、社会の平和、生物としての共生並びに文化の進展に貢献する人材を育てることを目的とし、研究を重視するとともに、実践・実務能力、生涯学習及び再教育も考慮する。この理念と目的を達成するため、獣医学研究科は学術的基盤としての生物科学総合研究所、附属動物病院などと連携して社会的要求にこたえていく。〔麻布大学大学院獣医学研究科規則(昭和34年11月20日制定)第2条〕

獣医学専攻博士課程

獣医学専攻では、動物とヒトの生命科学として、より高度な臨床獣医師や高度の専門性を有する職業人、研究者及び教育者を養成するため、問題解決能力、実践・実務能力を重視した教育研究体制を組織する。また、獣医学専攻では、ヒトの健康に寄与することも考慮し、主として、予防獣医学、遺伝子診断、遺伝性疾患、免疫治療、移植、感染症、臨床薬理、臨床中毒、臨床病理、病態病理及びバイオインフォマティクスなどの幅広い研究・教育を通して、より専門性の高い研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

動物応用科学専攻博士前期課程

動物応用科学専攻博士前期課程では、日本社会の実情にあった、人と動物の健康社会を科学する人材を養成するため、動物、微生物などに由来する遺伝子、細胞、たんぱく質などの機能解析とその応用、食品科学における危険要因の低減、除去及び生理活性マテリアルとしての環境改善への応用、更に「健康な動物」の持つ機能の人間生活への活用、野生動物の保全・人間社会との軌道の軽減などの研究・教育を通して、高度な専門性職業人に必要な能力を養うことを目的とする。

動物応用科学専攻博士後期課程

動物応用科学専攻博士後期課程は、博士前期課程(修士課程)で修得した広い視野に立って、より高度な専門性をもつ職業人、研究者及び教育者を養成するため、人と動物健康科学などの研究・教育を通してその学術的基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

環境保健学研究科

理念・目的 環境保健学部における教育・研究を基盤として、ヒトを中心に内部環境と外部環境に区分して、それぞれの環境と人体とのかかわり合い、並びに新たに自然科学及び社会科学の両方を取り入れた専門的教育・研究を行うことを理念とする。この理念に基づき、環境保健学研究科は、更に深い学術の理論及び応用を修得し、研究能力及び高度の専門的能力を培い、社会と文化の発展に寄与し得る人材の育成を目的とする。〔麻布大学大学院環境保健学研究科規則(平成6年4月1日制定)第2条〕

環境保健科学専攻博士前期課程

高い倫理観を養うとともに、バイオサイエンスを取り入れた衛生技術学領域及び環境衛生学領域における高度な専門知識と技術を備えた中堅の研究者、技術者又は統括指導者となるにふさわしい能力を養成することを目的とする。

環境保健科学専攻博士後期課程

博士前期課程で修得した知識と技術を更に向上させ、独創性の高い研究能力を培い、関連する分野で自立した研究者、指導者となるにふさわしい能力を養成することを目的とする。

環境衛生政策専攻修士課程

人間社会の身近な環境衛生政策専攻分野に関連する自然科学及び社会科学の両方の専門知識を備えて総合的に環境衛生対策が立案、実践できる高度の専門的職業人を育成するとともに社会人の再教育を行うことを目的とする。

麻布大学附属瀧野辺高等学校

目的 本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、中学校における教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて高度な普通教育を施すことを目的とする。〔麻布大学附属瀧野辺高等学校学則(昭和36年5月17日制定)第1条〕

教育理念 夢を語り、学問を追究・実践し、誠実なる校風の基、平和社会に貢献する。
校訓 誠実・協調・博愛・奉仕

I-2. 将来に向けてのビジョン

学校法人麻布獣医学園 中期目標・中期計画 [平成21年度～平成26年度]

- 中期目標・中期計画は、「学校法人」「大学」「高等学校」が、平成21年度から平成26年度までに達成すべき事項を掲げたものである。(平成21年5月28日理事会・評議員会決定, 平成21年9月29日 理事会一部改定)
- 中期目標・中期計画は、学校教育法に規定する認証評価機関が定めた大学における評価項目を基に取りまとめたものである。また、高等学校については、文部科学省が定めた学校評価ガイドラインに基づいた評価項目を基に取りまとめたものである。

【概要】

中期目標

中期計画

(1)法人の経営管理について

大学及び高等学校を取り巻く経営環境の悪化と社会環境の変化に迅速に対応するために、機動的な意思決定と着実な業務執行を可能とする管理運営体制の構築を目指すものとする。

- ①法人の経営方針は、大学及び高等学校の教学方針に基づいた経営管理を行うものとし、そのために経営側と教学側の意思疎通を図るための連絡調整組織を置く。
- ②国の私立大学等経常費補助金の予算額が前年比1%削減されるのに合わせて、本学においても一般管理経費を毎年度1%の削減を行い、日本私立学校振興・共済事業団が示す経営指標において、良好な財務状況であることを維持する。
- ③教職員の職責に係る利益相反・責務相反に関する規則を整備し、併せて教職員研修内容の充実・強化を図る。

(2)大学の教育について

本学は、「学理の討究と誠実なる実践」の理念の下、大学学則及び大学院学則に基づき、人と動物と環境の共生を目指して「地球共生系」という標語を掲げ、生態系と人間社会の接点で生じる諸問題、特に動物及び生活環境を介して生じる人と動物の健康影響について、動物側あるいは環境因子側から教育研究し、人及び動物の健康社会に貢献する高度専門職業人(研究者養成を含む。)及び幅広い職業人の人材養成を教育成果の目標とする。

- ①文部科学省中央教育審議会答申から、大学は、機能別に分化することが望ましいとの提言があることを踏まえ、本学は、「高度専門職業人養成」又は「幅広い職業人養成」の機能を担う大学として、個性化及び特色化を図るものとする。
- ②この個性化及び特色化へ取り組むに当たり、大学は、教学方針として「学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」「入学者受入れの方針」をそれぞれ明確に定め、もって教学方針を確立する。
- ③現行の教育研究体制を改め、平成25年度から新教育研究体制で新たな教育研究を行う。

(3)大学の学術研究及び社会貢献について

人と動物と環境の共生を目指して「地球共生系」という考えの下、本学の特徴的・個性的な研究を発掘及び顕在化させ、研究面でのブランド化を目指す。また、地域社会との連携推進の充実を図り、教育研究成果を社会に還元することをもって、本学が広く社会に貢献することを目指す。

- ①経常的な研究条件の更なる整備に努める。
- ②本学の研究内容の可視化(研究マップの作成)を図り、共同研究及び大型研究プロジェクトを構築し、研究成果を知的財産として保護し、活用する。
- ③地域社会及び産学官連携並びに国際・文化交流に努め、教育研究成果を社会への還元に寄与する。

(4)高等学校について

本校は、「学理の討究と誠実なる実践」の理念の下、高等学校学則に基づき、次に掲げる事項を人材育成目標及び教育成果目標とする。

- ①学力の向上及び高校生としての学力の保証
- ②学習の場には積極的に参加し自ら学ぶ意欲を持った人材育成
- ③秩序、良識、礼儀を尊重し、他人を思いやる心を持った人材育成
- ④夢を持ち未来を拓く強い精神力と健康な身体を持つ人材育成

- ①文部科学省学習指導要領(平成20年度改訂, 平成25年度入学者から適用)の改訂に伴い、新教育課程を編成し、原則として、平成25年度入学者から、新たな教育を実施する。
- ②生徒、保護者に選ばれる高等学校を作り、学校評価等を通じて社会からの評価及び認知度を高め、もって安定した生徒数を確保する。
- ③学力受験偏差値が「60」以上と評価されることを目指す。

I-3. 沿革

明治23 (1890) 年	9 月	東京獣医講習所開所(現 東京都港区南麻布)
明治27 (1894) 年	1 月	麻布獣医学校開校
明治45 (1912) 年	3 月	麻布獣医畜産学校と改称
大正 9 年	9 月	財団法人麻布獣医畜産学校認可
昭和 9 (1934) 年	4 月	実業専門学校令による麻布獣医専門学校の設置 財団法人麻布獣医専門学校と改称認可
昭和19 (1944) 年	12 月	麻布獣医畜産専門学校と改称
昭和22 (1947) 年	6 月	現在地(神奈川県相模原市)に移転
昭和25 (1950) 年	2 月 4 月	新学制による麻布獣医科大学の設置認可 財団法人麻布獣医学園 麻布獣医科大学として開学
昭和26 (1951) 年	3 月	財団法人から学校法人へ改組, 学校法人麻布獣医学園となる
昭和27 (1952) 年	3 月	麻布獣医畜産専門学校廃止
昭和32 (1957) 年	4 月	麻布獣医科大学獣医学部獣医学専攻科開設
昭和35 (1960) 年	4 月	麻布獣医科大学大学院修士課程開設
昭和36 (1961) 年	5 月	麻布獣医学園測野辺高等学校設立認可
昭和37 (1962) 年	4 月	麻布獣医科大学大学院博士課程開設
昭和40 (1965) 年	4 月	麻布公衆衛生短期大学開学
昭和51 (1976) 年	2 月	麻布獣医科大学獣医学部家畜環境学科認可
昭和53 (1978) 年	2 月 11 月	麻布獣医科大学環境保健学部(環境保健学科及び衛生技術学科)設置認可 麻布獣医科大学獣医学部獣医学専攻科廃止
昭和54 (1979) 年	6 月	麻布公衆衛生短期大学廃止
昭和55 (1980) 年	4 月	麻布獣医科大学を麻布大学に名称変更 獣医学部家畜環境学科を獣医学部環境畜産学科に名称変更
昭和59 (1984) 年	4 月	獣医学教育6年制発足(学校教育法の一部改正による)
昭和60 (1985) 年	10 月	測野辺高等学校を麻布大学附属測野辺高等学校に名称変更
昭和63 (1988) 年	4 月	麻布大学附置生物科学総合研究所開設
平成元 (1989) 年	12 月	麻布大学大学院獣医学研究科博士課程(4年制)認可 獣医学部環境畜産学科, 環境保健学部 臨時定員増認可
平成 5 (1993) 年	3 月 4 月 12 月	麻布大学大学院獣医学研究科動物応用科学専攻(修士課程)設置承認 麻布大学大学院獣医学研究科動物応用科学専攻(修士課程)開設 麻布大学獣医学部動物応用科学科設置認可
平成 6 (1994) 年	3 月 4 月	麻布大学大学院環境保健学研究科環境保健科学専攻(修士課程)設置承認 麻布大学獣医学部環境畜産学科を獣医学部動物応用科学科に改組 麻布大学獣医学部環境畜産学科募集停止 麻布大学大学院環境保健学研究科環境保健科学専攻(修士課程)開設
平成 7 (1995) 年	3 月 4 月 12 月	麻布大学大学院獣医学研究科動物応用科学専攻(博士課程)設置承認 麻布大学大学院獣医学研究科動物応用科学専攻(博士課程)開設 麻布大学大学院環境保健学研究科環境保健科学専攻(博士課程)設置承認
平成 8 (1996) 年	4 月	麻布大学大学院環境保健学研究科環境保健科学専攻(博士課程)開設
平成 9 (1997) 年	7 月 7 月 9 月	麻布大学附属動物管理センター設置 麻布大学大学院学生部保健課を麻布大学健康管理センターに組織変更 麻布大学獣医学部環境畜産学科廃止
平成10 (1998) 年	2 月 12 月	麻布大学環境保健学部環境保健学科を環境保健学部健康環境科学科に名称変更認可 麻布大学環境保健学部環境政策学科設置認可 麻布大学獣医学部動物応用科学科, 環境保健学部健康環境科学科・衛生技術学科の臨時定員延長認可(平成11年度まで)
平成11 (1999) 年	3 月 4 月 7 月 10 月	麻布大学獣医学部環境畜産学科廃止認可 麻布大学環境保健学部環境政策学科開設 麻布大学獣医学部動物応用科学科, 環境保健学部健康環境科学科・衛生技術学科の臨時定員延長認可(平成16年度まで) 麻布大学獣医学部動物応用科学科, 環境保健学部健康環境科学科・衛生技術学科の臨時定員廃止に伴う収容定員増認可 麻布大学環境保健学部健康環境科学科・衛生技術学科の編入学定員設定認可
平成12 (2000) 年	4 月	麻布大学附属図書館と麻布大学附属情報処理センターを統合し, 麻布大学附属学術情報センターを設置
平成14 (2002) 年	12 月	麻布大学大学院環境保健学研究科環境衛生政策専攻(修士課程)設置承認
平成15 (2003) 年	4 月	麻布大学大学院環境保健学研究科環境衛生政策専攻(修士課程)開設
平成18 (2006) 年	6 月	麻布大学獣医学部動物応用科学科の入学定員増に係る学則変更認可
平成19 (2007) 年	4 月 7 月	麻布大学獣医学部附属動物病院を麻布大学附属動物病院に組織及び名称変更 麻布大学附属教育推進センター設置 生命・環境科学部臨床検査技術学科, 食品生命科学科及び環境科学科の設置届出 生命・環境科学部臨床検査技術学科, 食品生命科学科及び環境科学科編入学定員設定届出
平成20 (2008) 年	4 月	環境保健学部を改組し, 生命・環境科学部臨床検査技術学科, 食品生命科学科及び環境科学科を開設(環境保健学部健康環境科学科, 衛生技術学科及び環境政策学科は募集停止) 麻布大学研究推進・支援本部を設置

I-4. 設置する学校等

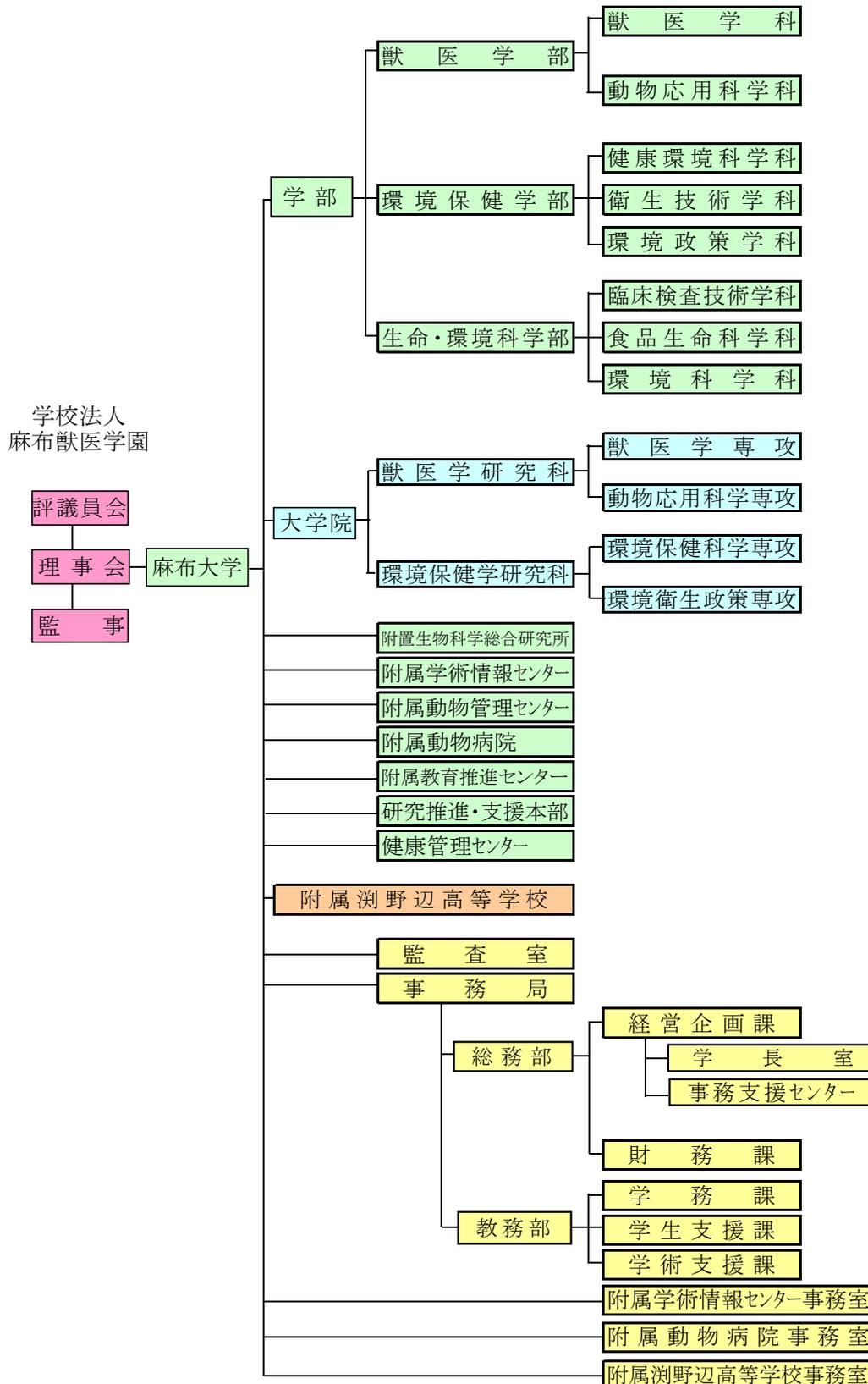
(1) 設置学校

麻布大学
 昭和25(1950)年2月 設置認可
 所在地：〒252-5201 神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-71
 学長：政岡 俊夫

麻布大学附属淵野辺高等学校
 昭和36(1961)年5月 設立認可
 所在地：〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-50

(2) 機構図

平成24年5月1日現在



(3) 学生・生徒数の状況

平成24年 5月 1日 現在

①入学定員, 収容定員, 学生・生徒数, 収容定員充足率

(人)

学部・学科等	入学定員	編入学定員	収容定員	学生・生徒数							収容定員充足率		
				1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	合計			
獣医学部	獣医学科	120	—	720	152	162	153	161	152	154	934	129.7%	
	動物応用科学科	120	—	480	146	143	135	136	—	—	560	116.7%	
	小計	240	—	1,200	298	305	288	297	152	154	1,494	—	
	環境保健学部	健康環境科学科	—	—	0	—	—	—	1	—	—	1	—
	衛生技術学科	—	—	0	—	—	0	0	—	—	0	—	
	環境政策学科	—	—	0	—	—	0	6	—	—	6	—	
	小計	—	—	0	0	0	0	7	—	—	7	—	
生命・環境科学部	臨床検査技術学科	70	2年次 3年次	5 5	305	94	99	92	81	—	—	366	120.0%
	食品生命科学科	70	2年次 3年次	5 5	305	95	91	86	91	—	—	363	119.0%
	環境科学科	100	2年次 3年次	4 4	420	135	134	101	123	—	—	493	117.4%
	小計	240	2年次 3年次	14 14	1,030	324	324	279	295	—	—	1,222	—
	学部計	480	2年次 3年次	14 14	2,230	622	629	567	599	152	154	2,723	—
獣医学研究科	獣医学専攻 博士課程	10	—	40	7	1	7	1	—	—	16		
	動物応用科学専攻 博士前期課程	12	—	24	24	37	—	—	—	—	61		
	動物応用科学専攻 博士後期課程	4	—	12	2	5	0	—	—	—	7		
	小計	26	—	76	33	43	7	1	—	—	84		
	環境保健学専攻 博士前期課程	7	—	14	3	10	—	—	—	—	13		
	環境保健学専攻 博士後期課程	2	—	6	0	1	0	—	—	—	1		
	環境衛生政策 専攻修士課程	7	—	14	0	3	—	—	—	—	3		
小計	16	—	34	3	14	0	—	—	—	17			
研究科計	42	—	110	36	57	7	1	—	—	101			
附属刈野辺高等学校	258	—	774	198	226	243	—	—	—	667			
総合計	780	—	3,114	856	912	817	600	152	154	3,491			

②専任教員一人当たりの学生数

学部・学科	専任教員一人当たりの学生数	
	学生数	教員定数※1
獣医学部	獣医学科 ※2	15.6 人 (14.6 人)
	動物応用科学科	29.5 人 (29.5 人)
生命・環境科学部	臨床検査技術学科	24.4 人 (22.9 人)
	食品生命科学科	30.3 人 (27.9 人)
	環境科学科	37.9 人 (30.8 人)

※1 教員定数は、本学における教育研究上必要な教員数
 ※2 獣医学科専任教員は、附属動物病院及び附置生物科学総合研究所の専任教員を含む。

③留学生数

獣医学科0人, 動物応用科学科0人, 臨床検査技術学科0人, 食品生命科学科1人, 環境科学科0人
獣医学研究科獣医学専攻0人, 獣医学研究科動物応用科学専攻1人
環境保健学研究科環境保健科学専攻0人, 環境保健学研究科環境衛生政策専攻0人

④社会人学生数

(人)

学部・学科		社会人学生数 ※
学 獣 部 医	獣医学科	121
	動物応用科学科	4
生 命 学 部 ・ 環 境	臨床検査技術学科	5
	食品生命科学科	2
	環境科学科	1
環 境 学 部 保 健	健康環境科学科	0
	衛生技術学科	0
	環境政策学科	2
合計		135

(人)

研究科・専攻		社会人学生数 ※
研 獣 究 医 科 学	獣医学専攻博士課程	15
	動物応用科学専攻博士前期課程	7
	動物応用科学専攻博士後期課程	7
環 境 研 究 保 健 科 学	環境保健科学専攻博士前期課程	5
	環境保健科学専攻博士後期課程	1
	環境衛生政策専攻修士課程	0
合計		35

※ 平成24年4月1日現在で、満25歳以上の者

⑤非正規課程履修者

(人)

区 分	獣医学部	獣医学研究科	動物病院	生命・環境科学部	環境保健学研究科	合計
研究生	27	0	0	11	0	38
研修生	0	0	0	0	0	0
研修獣医師	0	0	82	0	0	82
聴講生	2	0	0	2	0	4
科目等履修生	1	0	0	0	0	1
単位互換履修生(受入)	0	0	0	1	0	1
外国人研究生	1	0	0	0	0	1
履修証明プログラム履修者	0	0	0	0	0	0
特別聴講学生(受入)	0	0	0	0	0	0
特別研究学生(受入)	0	0	0	0	0	0
聴講生徒	0	0	0	0	0	0
研究室体験生徒	0	0	0	0	0	0
合計	31	0	82	14	0	127

【注】

1. 単位互換履修生として各協定大学に派遣する獣医学部及び生命・環境科学部の各学生は、平成24年度前期は両学部ともになし
2. 特別聴講学生、特別研究学生として各協定大学大学院研究科に派遣する大学院学生は、両研究科ともになし
3. 科目等履修生は、獣医学研究科動物応用科学専攻博士前期課程2年次の大学院学生
4. 聴講生徒及び研究室体験生徒の受入れの決定時期については、7月上旬を予定。
[平成23年度の実績は、聴講生徒4人(生命・環境科学部4人)、研究室体験生徒30人(獣医学部7人、生命・環境科学部23人)]

I-5. 役員・教職員の概要

(1) 役員・評議員

平成24年5月1日現在

	定数	現員	任期
理事	10～11人	11人	3年
監事	2人	2人	3年
評議員	28～34人	32人	3年

① 役員

理事・ 監事の 区 別	担当職務等	氏 名	就 任		選 任 区 分 等		常勤/ 非常勤	備 考
			就任年月日 (重任年月日)	寄附行為	選任区分			
理事	理事長	政 岡 俊 夫	平成14年6月25日 (平成22年6月25日)	第8条第1号	大学長		常勤	平成21年6月1日理事長就任
理事	総務・高校 担当	有 嶋 和 義	平成21年6月1日	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)		常勤	
理事	人事・給与 担当	柏 崎 直 己	平成21年6月1日	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)		常勤	
理事	財務担当	田 中 智 夫	平成21年6月1日	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)		常勤	
理事	管財担当	福 山 正 文	平成12年6月1日 (平成21年6月1日)	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)		常勤	
理事		有 賀 誠	平成18年6月1日 (平成21年6月1日)	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)		非常勤	
理事		高 橋 徹	平成15年6月1日 (平成21年6月1日)	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)		非常勤	
理事		田 中 克 明	平成21年6月1日	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)		非常勤	
理事		小 野 口 勝 巳	平成23年3月1日	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)		非常勤	
理事		市 川 正 雄	平成15年6月1日 (平成21年6月1日)	第8条第3号	学識経験者 (理事会選任)		非常勤	平成15年6月1日～平成21年5月31日 寄附行為第8条第2号理事
理事		谷 口 隆 良	平成18年6月1日 (平成21年6月1日)	第8条第3号	学識経験者 (理事会選任)		非常勤	
監事		矢 澤 嗣 夫	平9年6月1日 (平成21年6月1日)	第9条			非常勤	
監事		宮 島 成 郎	平成22年6月1日	第9条			非常勤	

② 評議員

氏 名	就 任		選 任 区 分 等		備 考	氏 名	就 任		選 任 区 分 等		備 考
	就任年月日 (重任年月日)	寄附行為	選任区分	就任年月日 (重任年月日)			寄附行為	選任区分			
水 野 裕	平成21年6月1日	第18条第2号	卒業者	議長		小 野 口 勝 巳	平成21年6月1日	第18条第2号	卒業者	評議員会選任理事	
宮 澤 宏	平成21年6月1日	第18条第2号	卒業者	副議長		有 賀 誠	平成18年6月1日 (平成21年6月1日)	第18条第2号	卒業者	評議員会選任理事	
有 嶋 和 義	平成15年6月1日 (平成21年6月1日)	第18条第1号	法人職員	評議員会選任理事		田 中 克 明	平9年6月1日 (平成21年6月1日)	第18条第2号	卒業者	評議員会選任理事	
石 井 孝 良	平成18年6月1日 (平成21年6月1日)	第18条第1号	法人職員			田 形 和 敏	平成21年6月1日	第18条第2号	卒業者		
柏 崎 直 己	平成18年6月1日 (平成21年6月1日)	第18条第1号	法人職員	評議員会選任理事		濱 崎 五 郎	平成18年6月1日 (平成21年6月1日)	第18条第2号	卒業者		
五 味 義 幹	平成15年6月1日 (平成21年6月1日)	第18条第1号	法人職員			白 石 政 美	平成21年6月1日	第18条第2号	卒業者		
信 田 卓 男	平成21年6月1日	第18条第1号	法人職員			江 口 徹	平成21年6月1日	第18条第2号	卒業者		
滝 沢 達 也	平成21年6月1日	第18条第1号	法人職員			鈴 木 紀 夫	平成12年6月1日 (平成21年6月1日)	第18条第2号	卒業者		
田 中 智 夫	平成21年6月1日	第18条第1号	法人職員	評議員会選任理事		市 川 正 雄	平成15年6月1日 (平成21年6月1日)	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)	理事会選任理事	
土 屋 亮	平成18年6月1日 (平成21年6月1日)	第18条第1号	法人職員			加 山 俊 夫	平成21年6月1日	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)		
福 山 正 文	平成12年6月1日 (平成21年6月1日)	第18条第1号	法人職員	評議員会選任理事		三 東 崇 秀	平成21年6月1日	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)		
前 田 正 利	平成21年6月1日	第18条第1号	法人職員			塩 田 浩 平	平成21年6月1日	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)		
松 田 基 夫	平成21年6月1日	第18条第1号	法人職員			谷 口 隆 良	平成15年6月1日 (平成21年6月1日)	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)	理事会選任理事	
武 藤 眞	平成21年6月1日	第18条第1号	法人職員			田 原 寿 夫	平成18年6月1日 (平成21年6月1日)	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)		
山 本 雅 子	平成12年6月1日 (平成21年6月1日)	第18条第1号	法人職員			政 岡 俊 夫	平9年6月1日 (平成22年6月25日)	第18条第4号	大学長	平成9年6月1日～平成14 年6月24日寄附行為第18 条第1号評議員 兼理事長(兼高等学校長)	
高 橋 徹	平成12年6月1日 (平成21年6月1日)	第18条第2号	卒業者	評議員会選任理事							
勝 見 晟	平成21年6月1日	第18条第2号	卒業者					第18条第5号	高等学校長	(平成24年4月1日～5月 31日有嶋和義高等学校 長代行)	

平成24年 5月 1日 現在

(2) 教職員

①大学教員(常勤)

(人)

学部・学科等	学長		教授		准教授		講師		助教		助手		特任教員		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
学長	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
獣医学部	獣医学科	—	—	16	2	15	2	8	5	3	2	0	0	1	0	54
	動物応用科学科	—	—	11(1)	0	5	1	1	1	0	0	0	0	1	1	21(1)
	基礎教育系	—	—	1	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	6
	小計	0	0	28(1)	3	22	3	11	6	3	2	0	0	2	1	81(1)
環境保健学部	健康環境科学科	—	—	(5)	(0)	(1)	(2)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(9)
	衛生技術学科	—	—	(7)	(0)	(4)	(0)	(4)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(16)
	環境政策学科	—	—	(4)	(0)	(0)	(0)	(4)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(8)
	教職・学芸員課程	—	—	(1)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(2)
小計	(0)	(0)	(17)	(0)	(5)	(2)	(10)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(35)	
生命・環境科学部	臨床検査技術学科	—	—	6	0	3	1	3	2	0	0	0	0	0	0	15
	食品生命科学科	—	—	5	0	3	2	2	0	0	0	0	0	0	0	12
	環境科学科	—	—	6	0	1	1	5	0	0	0	0	0	0	0	13
	教職・学芸員課程	—	—	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	寄附講座	—	—	(2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2(2)
小計	0	0	18(2)	0	7	4	11	2	0	0	0	0	0	0	2	44(2)
大学院	獣医学研究科	—	—	(26)	(3)	(17)	(2)	(6)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(55)
	環境保健学研究科	—	—	(13)	(0)	(3)	(2)	(3)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(21)
	小計	(0)	(0)	(39)	(3)	(20)	(4)	(9)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(76)
附置生物科学総合研究所	—	—	(3)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1(3)
附属学術情報センター	—	—	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)
附属動物管理センター	—	—	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)
附属動物病院	—	—	1	0	2	0	0	0	3	0	0	0	3	1	10	
附属教育推進センター	—	—	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)
研究推進・支援本部	—	—	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)
健康管理センター	—	—	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)
合計	1	0	47	3	32	7	22	8	6	2	0	0	5	4	137	

②高等学校教員(常勤)

(人)

	校長		教頭		教諭		契約講師		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
附属刈野辺高等学校	(1)	0	2	0	24	7	2	0	35

③職員(常勤)

(人)

校名等	事務局長		次長		課長 事務長 室長・主監		補佐		主査		主任		一般職		契約職員		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
麻布大学	1	0	1	0	11	2	6	4	8	3	4	2	18	10	3	3	76
附属刈野辺高等学校	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	2	0	0	5
合計	1	0	1	0	12	2	6	4	9	3	4	2	19	12	3	3	81

常勤教職員

男 196 人	女 57 人	総合計 253 人
---------	--------	-----------

④非常勤教職員

(人)

学部等	非常勤講師	非常勤職員	合計
獣医学部	42	17	59
環境保健学部	0	0	0
生命・環境科学部	84	5	89
附属刈野辺高等学校	23	0	23
事務組織	0	39	39
合計	149	61	210

【注】1. ()は、兼務者を表す。ただし、同一部門内兼務者を除く。

2. 常勤教職員の合計欄は、実人数である。

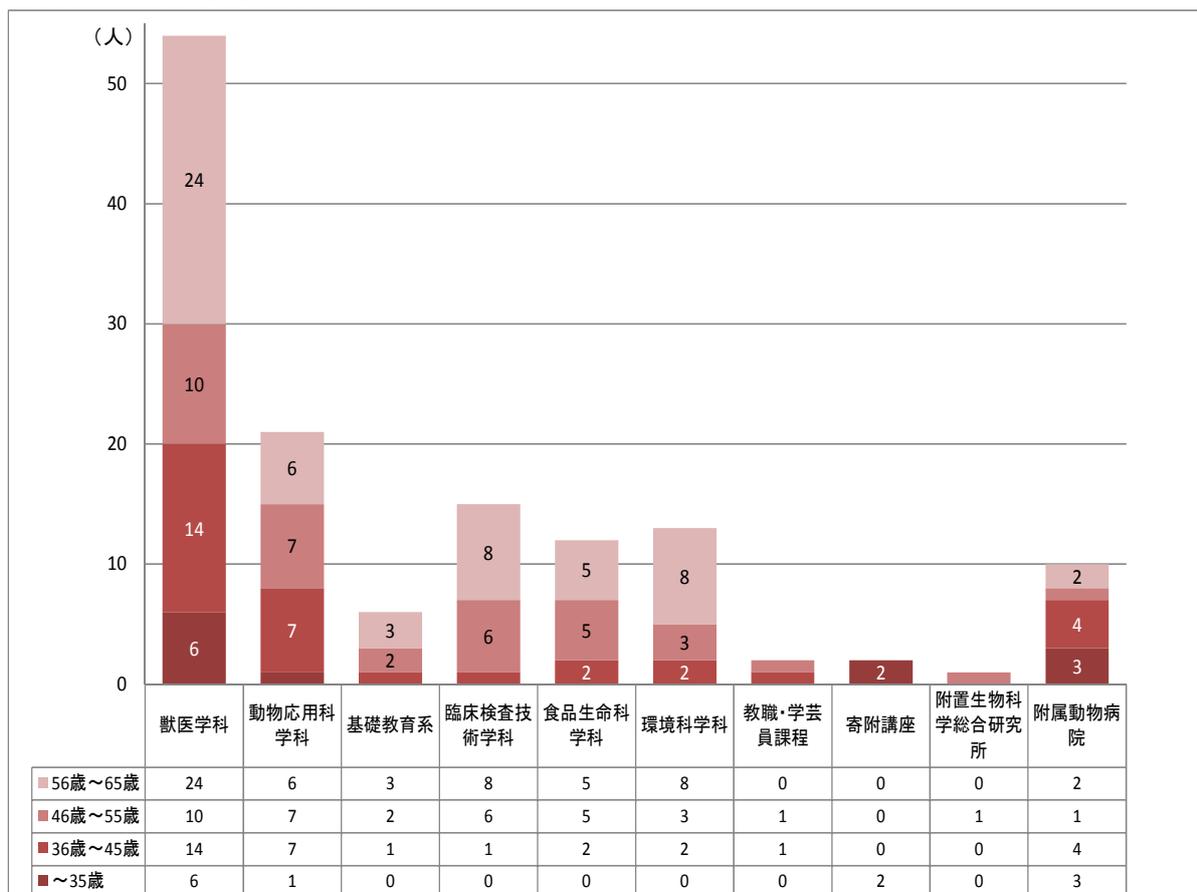
3. 非常勤講師欄は、獣医学部、環境保健学部、生命・環境科学部及び附属刈野辺高等学校を兼務する者を含む延べ人数である。

4. 非常勤講師には、業務委託による講師を含む。

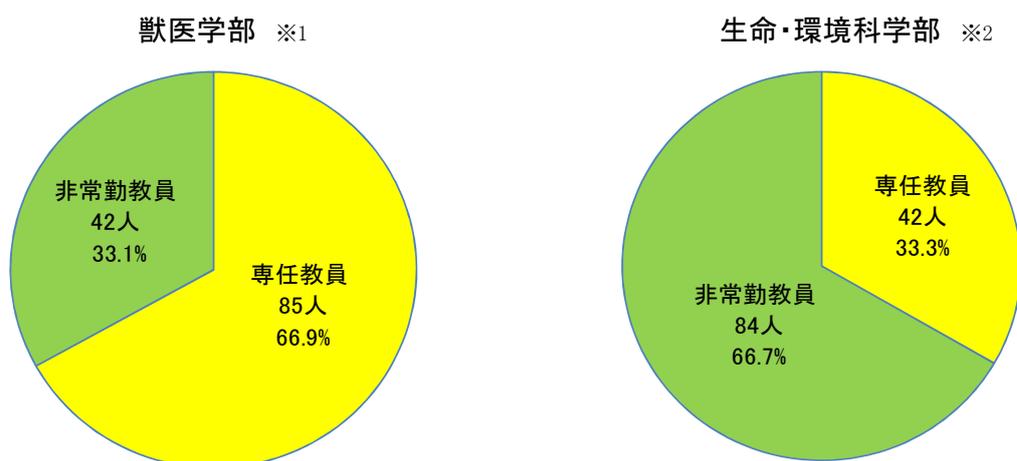
5. 非常勤職員には、派遣職員を含む。

平成24年 5月 1日 現在

⑤年齢別大学教員数(常勤)



⑥専任教員と非常勤教員の比率



※1 獣医学科，動物応用科学科，基礎教育系，附置生物科学総合研究所，附属動物病院を含み，特任教員を除く。

※2 臨床検査技術学科，食品生命科学科，環境科学科，旧環境保健学部を含み，特任教員を除く。

II 事業の概要

II-1. 平成23年度事業計画の実施状況

- 平成23年度事業計画[平成23年2月24日開催の理事会及び評議員会で承認]は、平成23年度に学園全体として事業を推進するに当たり、学園の中期目標・中期計画[平成21年度～平成26年度]を基に、本学園の役員及び教職員が共通の認識に立って内外ともに明確にしておかなければならない事項を取り上げたもので、その実施状況は、次のとおりである。

決算額・予算額(単位:百万円)

平成23年度事業計画		実施状況	
1. 優秀な教職員の確保		決算額 3,021	予算額 3,208
(1) 大学			
① 学部・学科の将来展望を見据えた教員の補充・確保	平成25年度から導入が検討されている新たな教育研究体制の構成を見据えながら、現在実施している教育及び研究活動に支障が生じないよう、教員組織の維持及び退職者の補充・確保に努めた。		
② 団塊世代(昭和22年4月～昭和25年3月)の定年退職に伴う教員の補充・確保	喫緊の課題となっている生命・環境科学部の退職者補充については、「麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会」で検討を重ねた結果、教員の選考に当たっては、学部、学科の域を越え、全学的に取り組む必要から、学長主導による推進を図る必要性についての提案がなされ、今後は、その答申を受けて、具体的な検討を進めることとなる。		
(2) 高等学校	【教員能力の向上】		
① 「高等学校における教員能力の向上と組織の活性化」の継続実施	1. 生徒による授業評価を年2回実施:分析・評価結果を各教諭にフィードバックし、教育や生活指導等に活用(PDCAサイクルのCAの充実)を図った。 2. 教員の研修会等[教科, 教育課程(学習指導要領改訂), 学校づくり, 分掌, 人権, 道徳教育研修, 公私合同研修会, 初任者研修, 10年経験者研修及び教員免許更新制度に係る講習]への積極的な参加を推進した。		
	【組織の活性化】		
	1. 部長会議の位置付けを明確にし、会議の活発化と部長制度の充実を図った。 2. 管理職研修会で学んだ資料提示, 校内研修会の実施により、危機管理意識の向上を図った。 3. 学校評価及び学校関係者評価の継続実施 (1)分掌, 学年, 教科及び学級担任として目標を設定し, 取組内容, 評価の観点を明確にし, 自己評価を実施 (2)各教諭が行った学校評価について, 第三者で構成される学校関係者評価委員会にて, 総合評価・検証の実施		
(3) 事務局			
① 団塊世代(昭和22年4月～昭和25年3月)の定年退職に伴う職員の補充・確保	平成24年度の定年退職職員の補充については、職員の計画的採用に合わせ、各課の多様な業務に対応できるスキルを持った職員の確保を図った。		
② 職員の計画的採用と人材の適正配置	「専任職員／契約・派遣職員の割合見直し計画」(平成22年1月26日開催の理事会承認)に基づき、計画的な採用を実施するとともに、職員の能力、資質の向上に向けたジョブ・ローテーションと新規採用職員の適正配置に努めた。		
2. 教育事業の見直し・活発化		決算額 784	予算額 823
(1) 大学			
① 学士課程教育と大学院コースワークを見据えた教学方針の確立と平成25年度からの新たな教育研究組織の発足に向けた教育課程の構築検討	「麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会」において、平成25年度を目標とした新たな教育研究組織の構築に関する基本的な考え方がまとめられた。今後は、実行に向けた学内制度設計を行うこととなる。		
② カリキュラムマップ(教育マップ)の作成と公表	授業科目がディプロマポリシー及び学士力とどう関連するかを示すカリキュラムマップを作成、平成25年度の履修ガイド・シラバスにおいて公表する予定であるが、生命・環境科学部は、カリキュラム及び3ポリシーを決定次第、作成することとしている。 また、シラバスについては、学習成果が具体的にわかるよう記載方法や書式を統一することとなった。		
③ 入学時修学指導の充実	4月4日～4月9日に、入学者オリエンテーションを実施し、カリキュラム、学生生活、科目履修、各学科の進級基準及び卒業要件等大学生活に必要な事項について説明をした。 また、これまで実施してきたフレッシュマンゼミは、入学者オリエンテーションに融合、教育推進センター及び2学部の協同により、フレッシュャーズセミナーとしてオリエンテーション及びグループワークを2日間にわたって学内で実施した。その結果、学生相互及び教員との交流を通し、大学生活の不安解消が図れた。		

決算額・予算額(単位:百万円)

平成23年度事業計画	実施状況
④ ファカルティ・ディベロップメント活動の推進	教育推進センターが主体となって、次のFD講演会及び研修会を実施した。 ・[FD講演会] 『北里大学のベストティーチャー賞から学ぶこと』(6月10日開催) 『変化の時代に大学教職員に求められること』(7月1日開催) ・[FD研修会] 『集中検討会議-在学生調査結果をいかに活用するか-』(9月7日～8日実施) 『平成24年度麻布大学非常勤講師FD研修会及び情報交換会』(平成24年3月22日実施)
⑤ 自己点検・評価及び認証評価結果の公表と対応	平成23年3月に大学基準協会の適合認定[認定期間は平成30(2018)年3月31日まで]を受け、評価結果を本学ホームページに公表するとともに、自己点検・評価報告書及び報告書関連データを教職員並びに大学基準協会の正会員及び賛助会員大学(507大学)に送付した。
⑥ 附属高等学校との高大一貫教育及び他校との高大連携教育の推進	【高大一貫教育の推進】 附属渕野辺高等学校生徒に対し、高大一貫授業及び研究室体験の受入れ及び同校向けのオープンキャンパスを開催した。また、大学教員によるオムニバス授業に加え、入試対策やキャリアデザイン、入学前教育を含む総合的な高大一貫授業の実施に向けて取り組んだ。 【高大連携教育の推進】 高大連携協定校は、7校(県立相原高等学校、県立麻溝台高等学校、県立川崎工科高等学校、県立相模原高等学校、県立座間高等学校、県立城山高等学校、県立大和東高等学校)となっている。このほかに複数校と協定について前向きに検討を行った。 連携の内容については、聴講生徒の受入れ(4人)、研究室体験生徒の受入れ(11人)、演習講座・教養講座の提供、大学教員による各校への出張特別授業等の実施等があり、協定校からは、教育実習生の受入れ(4人)、高校教諭による教職課程科目への出講等を行っている。
(2) 高等学校	
① 募集定員の確保と全教員による募集活動の実施	入試説明会参加者のアンケート結果を基に、メディアの第1位であるHPを充実するとともに、最新の情報提供に努めた。 また、相模原市及び隣接している町田市を入学者獲得強化地区として、管理職による中学校訪問を早期実施するとともに、全教諭による15市町村の中学校訪問を実施し、定員確保に努めた。
② きめ細かな生活指導の実施	学校教育目標(1. 学力の向上並びに高校生としての学力の保証、2. 学習の場には、積極的に参加し、自ら学ぶ意欲を持った人材の育成、3. 秩序、良識、礼儀を尊重し、他人を思いやる心を持った人材の育成、4. 夢を持ち、未来を拓く強い精神力を健康な身体を持つ人材の育成)の達成に向け、少人数クラス編成を継続し、教えやすい・学びやすい場を創出し、きめ細やかな教育及び生活指導を実践した。
③ 平成25年度からの学習指導要領改訂に伴う教育課程の見直し検討	カリキュラム委員会(合計16回)を開催し、平成24年度から対応する数学・理科のカリキュラム編成を行い施行した。 また、それ以外の教科の新カリキュラムについて、平成25年度からの適用に向けて検討・準備を進めた。
④ 大学との高大一貫教育及び他大学との高大連携教育の推進	麻布大学との高大一貫教育を完成に向け、専任の学長補佐を置き、一貫教育対象科目の授業方法や履修方法等を検討した。 また、高大連携については、新たに立正大学と協定を締結し、連携大学は、従前(桜美林大学、関東学院大学、田園調布学園大学、文教大学及び日本体育大学)と合わせて6大学となった。
(3) 学生・生徒募集のための広報活動の効果的実施	高等学校内説明会・相談会・模擬授業の実施及び予備校内説明会・相談会への参加の強化に取り組み、これまでに最も多い対応件数となった。 また、ホームページやモバイルサイトの充実を図った。なお、新規資料請求者数やオープンキャンパス・オープンセミナー参加者数は、前年度を大幅に上回った。
(4) 地域社会との連携強化	神奈川県内12の大学と10の公的支援機関が参画する「かながわ産学公連携推進協議会」に参加し、県内の加盟大学や公的機関と共に地域企業の抱える課題解決への協力や、技術、助成金情報等の共有を図った。
(5) その他	平成23年3月11日に発生した東日本大震災に伴い、前期の行事や授業の見直しを臨機に行ったほか、被災学生に対する支援として、家屋の損壊状況に応じて授業料の減免措置(対象者:27人、経済支援額29,600,000円)を行った。 また、学園としても教職員及び学生を対象に義援金募集を行い、義援金は日本赤十字社に送金した。

決算額・予算額(単位:百万円)

平成23年度事業計画	実施状況	
3. 研究活動の活発化	決算額	429
	予算額	406
(1) 研究推進・支援本部による研究活動の推進・支援		
① 支援計画の策定と活動の点検・評価	学園の補助金の有効活用及び外部競争的資金の獲得に向けた支援計画を策定し、年間スケジュールに基づき、随時、活動状況を点検・評価した。	
② 本部機能の充実・強化	本学の研究上の特徴や個性の顕在化のため、組織的な大型プロジェクトの推進や学内外競争的資金獲得のためのインセンティブの提供を行った。また、知財を軸とした産学連携においては、学内の知的資産(研究成果全般と知財)の有効活用のための仕組み作りや、外部から専門的知識を有する人材を産学連携コーディネーター及び知的財産コーディネーターとして登用し、これらと協同して本学発の研究成果の技術移転を積極的に進めた。	
③ 学内競争的資金の効果的活用	麻布大学(研究推進・支援本部取扱)補助金として「特色ある大型研究プロジェクト」、「知財展開研究」及び「若手育成研究」の公募を行った。外部大型プログラムへ申請しうるプロジェクトの醸成を目的とした「特色ある大型研究プロジェクト」は、本年度は該当なしとして採択を見送った。一方、「知財展開研究」及び「若手育成研究」において採択した課題は、それぞれ研究に進展が見られた。	
④ 外部資金獲得の推進	国の補助金である私立大学戦略的研究基盤形成支援事業並びに学術研究振興資金共に採択された。また、科学研究費補助金については、申請率100%を目指したが、85.3%の申請率にとどまった。(獣医学部 83.6% 生命・環境科学部 90%) なお、企業からの共同研究・受託研究については、手続等を含めた本部機能が周知され、年々外部資金の獲得件数及び金額は増加している。	
⑤ 知的資産の蓄積及び活用と産学官連携の推進	国内特許出願を7件、海外特許出願を3件行い、有償での技術移転(ライセンス、譲渡等)が5案件に至った。また、卒論発表会や大学院論文発表会等を活用し、学内知財専門家(知的資産コーディネータ及び産学官連携コーディネータ)を中心にシーズ発掘を実施し、本学の知的な資産としての展開を図った。さらに、外部専門家とのプロジェクト課題が、活用に向けて大きく進展した。 産学連携イベント(BIOexpo, アグリビジネス創出フェア)に出展し、共同研究等の獲得やライセンス先の獲得に結びついた。	
⑥ セミナーの実施	教職員を対象とした研究推進・支援本部主催セミナーを6回開催し、外部資金獲得や著作権、大学発ベンチャーの体験談等、研究推進活動への積極的な取組の意識付けを行った。	
⑦ 知財教育及びベンチャー企業育成の推進	学部学生及び大学院学生を対象に著作権に関する授業を実施し知財教育を行った。なお、起業家セミナーは、実施を見送った。(平成24年度は実施予定)	
4. 附置・附属施設の充実	決算額	808
	予算額	924
(1) 生物科学総合研究所の機器・設備の更新(購入・修繕)	平成23年度の事業計画に基づき、RI施設の線量変更申請及び蒸気滅菌器の入れ替えを行った。	
(2) 学術情報センターの機器・設備の更新(購入・委託保守管理等)	平成23年度の事業計画に基づき、施設及びPC教室の利便性並びに安全性の向上、環境改善を図るため、(1)図書館2階閲覧用イスの入替え、(2)メディアステーションの施設拡張、(3)メディアステーション・9101教室(オープンルーム)の入退室ICカード化、(4)図書館1階・3階の防犯カメラ設置、(5)サーバールームの室温監視装置設置を行った。 また、図書館で保管する貴重資料を電子化し、獣医学関係資料デジタルアーカイブとして公開した。	
(3) 動物病院の医療用器具・機械の計画的整備	平成22年度に作成した備品購入計画(平成23年度から平成25年度まで)に基づき整備した。 また、手術室カメラをデジタルカメラに切替えたことにより、在学生の教育及び卒業教育が充実した。	
5. 教育研究環境の整備	決算額	2,616
	予算額	2,599
(1) 安全・良質な施設の構築		
① (仮称)新3号館・エネルギーセンター・新体育館の竣工	正式名称を生命・環境科学部棟及び麻布獣医学園アリーナとして、計画どおり平成23年9月30日に竣工、引渡しを受けた。	
② 新キャンパス・マスタープランにおける第II期事業の企画推進	「麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会」において、第2期事業計画の具体的な企画検討を行った。平成24年度も引き続き検討を行うこととしている。	
③ 大学・高校における既存設備の改修・活用	主に獣医臨床センター、8号館等既存施設の改修等を進めるとともに、地デジ対策への移行を円滑に進めた。	
④ 教育研究機器備品の整備	新たに竣工した生命・環境科学部棟及び麻布獣医学園アリーナへの機器備品を円滑に整備、併せて、電子顕微鏡など、補助金を活用した大型設備の整備を図った。	

決算額・予算額(単位:百万円)

平成23年度事業計画	実施状況	
6. 業務運営の改善・効率化	決算額 247	予算額 338
(1) 法人運営の改善	<p>「麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会」を設置し、テーマごとに4つの分科会[「学園の統治体制(ガバナンス)に関する分科会(第1分科会)」,「大学及び高等学校の業務運営に関する分科会(第2分科会)」,「学園の財務に関する分科会(第3分科会)」,「教職員の人事計画及び労務管理に関する分科会(第4分科会)」]を構成し、約2年間にわたり、学園のガバナンス改革、学園が目指す目標の明確化と事業内容の精選化、持続可能な財務・施設基盤の確立、優秀な人材の確保と人材開発の促進、学園組織の在り方等について検討を行い、平成24年3月9日付けで理事長に答申した。今後、理事会において、平成26年度完全実施に向けて具体的検討を行う。</p>	
① 人事・給与制度改革案の推進		
② 法人運営の見直しと在り方の検討・推進		
③ 平成25年度からの新たな教育研究組織の発足に向けた企画検討及び推進		
④ 合理的な資金・資産の運用管理	<p>資金の運用管理は、四半期ごとに理事会に報告、そのうちSMA及びグローバル債券ファンドの資産運用については、平成23年11月理事会において解約を決定、平成23年12月末に解約した。</p>	
⑤ 競争的資金の適正管理	<p>採択された研究者に説明会を開催、経費の適正執行に係る意識付けを行った。また、物品の購入に当たっては、物品購買システム(オフサイド)により透明性を確保する等、競争的資金等執行マニュアルに則り執行した。</p>	
⑥ 内部監査の効果的実施	<p>平成23年度は、過去実施の4部署(動物病院、高等学校、学術支援課及び財務課(管財担当))に対し、改善状況等の確認を中心とした内部監査を行ったほか、新たに学生支援課(学生生活支援担当)を実施した。また、文部科学省から「教育研究費等の経理に関する調査」の依頼があったことから、本学教員及び関係取引業者を対象に、「預け金」及び「プール金」の有無の調査を行ったが、該当する不適正事例はなかった。</p>	
(2) 情報システムの更新及び維持管理と事務系コンピュータの計画更新	<p>安全かつ利便性の高い情報システムの維持と最適化に向けて、8号館PC教室、第2期ネットワークシステム及び事務系PCの整備強化を実施した。事務系PCのリプレイスでは、ユーザビリティの向上とPCの省電力化を図るとともに、情報資産の識別・整理及び証跡情報の収集を実現するための統合管理サーバを導入し、業務使用における適切なクライアント環境を構築した。また、前年度に引き続き、業務改革の一環として業務の効率化を目的とした事務局ホームページの技術支援を行った。</p>	
(3) 事務改革の推進	<p>①人財改革の推進 「事務職員研修概要」に基づき、全職員を対象に外部機関が主催の職階別研修を実施し、職員の意識改革、スキルアップ及び知識習得を図るとともに、前年度に引き続き、希望者を対象にパソコンスキルアップ研修を実施した。</p> <p>②業務改革の推進 各課等のルーチン業務等を事務支援センターに集中する等、業務の改善・効率化に努めた。また、「事務局ホームページ構築プロジェクト」を設置し、各種事務手続書類等の効率作成と、事務分掌と座席表・内線番号の連動や通勤経路のシミュレーション、学園使用電力モニターシステムの開発を行った。今後も引き続き、事務局ホームページの活用・改善に取り組んでいく。</p>	
(4) 高等学校創立50周年記念事業の実施	<p>麻布大学附属瀧野辺高等学校創立50周年記念式典を、平成23年10月23日に麻布獣医学園アリーナにおいて開催、1,200人の参加者を得て盛況のうちに終了した。</p>	
(5) 創立125周年に向けた記念行事への取組	<p>2015(平成27)年に創立125周年を迎えるに当たって設置した「創立125周年記念事業準備委員会」において、記念事業の実施に係る趣意、事業内容、事業の取り進め方、推進体制等の検討を行い、平成23年11月1日付けで理事長に答申した。なお、同答申に基づく具体的取組については、次期理事会の下で「創立125周年記念事業委員会」を設置し取り進める予定である。</p>	
(6) その他	<p>① 東日本大震災による電気供給力の減少に伴い、平成23年7月1日から9月30日までの間、節電に取り組んだ。学生をはじめ教職員の協力により、電力使用制限値(2,035kw)を一度も上回ることなく、経費削減にもつなげることができた。なお、10月以降も、引き続き節電に取り組んだ。</p> <p>② 有効活用が困難と判断される遊休不動産(茨城県桜川市)を売却処分することとし、受入先が決定した。</p>	
	合計	決算額 7,905 予算額 8,298

II-2. 教育研究の概要

(1) 平成23年度の教育実施体制

平成23年5月1日現在

① 教員及び学生数

(人)

学部・学科等	教員								学生					
	大学設置基準上の教員数		常勤教員数		常勤教員の学位取得状況			非常勤教員数	入学定員	編入学定員	収容定員	学生数		
	総数	内 教授(学部) 内 研究指導教員教授(大学院)	総数	内 教授(学部) 内 研究指導教員教授(大学院)	博士	修士 (6年制含む)	学士							
獣医学部	獣医学科	19	10	56	17	53	3	0	45	120	—	720	927	
	動物応用科学科	10	5	21(1)	11(1)	20(1)	1	0		120	—	480	559	
	基礎教育系	—	—	6	2	3	3	0		—	—	—	—	
	小計	—	—	83(1)	30(1)	76(1)	7	0	45	240	—	1,200	1,486	
環境保健学部	健康環境科学科	—	—	(10)	(6)	(9)	(1)	(0)	2	—	—	0	7	
	衛生技術学科	—	—	(17)	(7)	(14)	(1)	(2)		—	—	0	15	
	環境政策学科	—	—	(9)	(4)	(2)	(6)	(1)		—	—	0	19	
	教職・学芸員課程	—	—	(2)	(1)	(2)	(0)	(0)		—	—	—	—	
	小計	—	—	(38)	(18)	(27)	(8)	(3)	2	—	—	0	41	
生命・環境科学部	臨床検査技術学科	8	4	16	6	12	1	3	83	70	2年次 3年次	5 5	305	344
	食品生命科学科	8	4	13	6	13	0	0		70	2年次 3年次	5 5	305	336
	環境科学科	10	5	15	7	6	8	1		100	2年次 3年次	4 4	420	467
	教職・学芸員課程	2	1	2	1	2	0	0		—	—	—	—	—
	小計	—	—	46	20	33	9	4	83	240	2年次 3年次	14 14	1,030	1,147
	大学設置基準上、大学全体に必要な教員数	26	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
学部計	83	43	129	50	109	16	4	130	480	2年次 3年次	14 14	2,230	2,674	
大学院研究科	獣医学専攻博士課程	8	4	(38)	(15)	—	—	—	0	10	—	40	14	
	動物応用科学専攻 博士前期課程	6	3	(19)	(12)	—	—	—		12	—	24	66	
	博士後期課程	8	3	(19)	(12)	—	—	—		4	—	12	12	
	小計	22	10	—	—	—	—	—	0	26	—	76	92	
	環境保健科学専攻 博士前期課程	12	4	(17)	(8)	—	—	—	2	7	—	14	17	
	博士後期課程	12	4	(13)	(8)	—	—	—		2	—	6	4	
	環境衛生政策専攻修士課程	3	2	(8)	(3)	—	—	—		7	—	14	4	
小計	27	10	—	—	—	—	—	2	16	—	34	25		
研究科計	49	20	(82)	(38)	—	—	—	2	42	—	110	117		
附属動物病院	—	—	1(2)	(2)	1(2)	0	0	—	—	—	—	—		
附置生物科学総合研究所	—	—	10	1	5	5	0	—	—	—	—	—		
総合計	—	—	140	51	115	21	4	132	522	—	2,340	2,791		

② 職員数

(人)

	常勤職員	非常勤職員	合計
麻布大学	73	57	130

- 【注】 1. ()は、兼務者を表す。
 2. 非常勤教員は、獣医学部、環境保健学部、生命・環境科学部、大学院、附属刈野辺高等学校を兼務するものを含む延べ人数である。
 3. 非常勤教員には、業務委託による講師を含む。
 4. 非常勤職員には、派遣職員を含む。

(2)教育に関する情報

①入学者の選抜

ア.麻布大学

各学部学科の「アドミッション・ポリシー(求める学生像)」に基づき、入学者選抜を行った。

【獣医学部】

獣医学科

本学科の教育は、獣医師として高い倫理観を有し、高度な専門知識・技術を身に付けて社会に貢献できる人材を養成することを目的としているため、次のような人物を求めている。

1. 人や動物、自然が好きな人
2. 獣医学に強い関心を持ち、獣医師となることについて明確な問題意識を持っている人
3. 学習意欲が旺盛で、獣医学を学ぶ上で必要な生物・化学など理科の素養を含む基礎学力が十分に備わっている人
4. 獣医師になるための情熱及び他者への思いやりと奉仕の心、高い倫理観を持っている人

動物応用科学科

本学科の教育理念を理解し、自ら学ぶ姿勢を持ち、本学での学習を通して人間と動物と社会の接点で通用するキャリアを身に付け、動物応用科学の諸領域で活躍したいという強い意志と意欲を持った人物を募集する。なかでも次のような人物を求めている。

1. 高等学校までの基礎学力、特に生物・化学を含む理科の学力が十分にある人
2. 問題意識を持ちチャレンジ精神が旺盛である人
3. リーダーシップと協調性を有し、動物応用科学の社会的使命をよく認識している人

【生命・環境科学部】

臨床検査技術学科

本学科の教育理念を十分に理解し、最後まで目標に向かって努力できる強い意志と意欲を持った次のような人を求めている。

1. 臨床検査技師として医療分野において活躍したい人
2. 疾病の発症機序や病態について広く興味がある人
3. 臨床検査学を学ぶために必要な基礎学力(特に数学, 生物, 化学)を有する人

食品生命科学科

高等学校までの中等教育で学んだ基礎学力、特に化学, 生物, 英語の学力を有し、次のような人を求めている。

1. 本学科の教育理念を理解するとともに、食品に関する問題とその改善に強い関心を持っている人
2. 自ら考えて問題解決に積極的に挑戦する意欲を持った人
3. 食の安全・安心確保の見地から、正義感と責任感にあふれている人

環境科学科

高等学校までの中等教育で学んだ化学, 生物, 国語, 英語の基礎学力を有し、次のような志向を持つ人を求めている。

1. 環境問題に強い関心がある人
2. 環境改善にチャレンジしようと考えている人
3. 環境の科学について学習意欲がある人
4. 環境科学科の教育理念, 教育方針, 教育内容等を理解し、自然科学的立場あるいは社会科学的立場から環境問題の解決に貢献したいとの強い意欲を持っている人

◇獣医学部

(人)

学部	区分	募集人員	平成24年度												平成23年度		平成22年度	
			志願者			受験者			合格者			入学者			志願者	志願者		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	計	計		
獣	獣医	推薦等	33	105	154	259	105	153	258	11	31	42	11	31	42	226	254	
		一般	75	823	735	1,558	790	718	1,508	92	79	171	53	38	91	1,499	1,484	
		センター利用	12	133	166	299	133	166	299	40	35	75	7	6	13	258	225	
		計	120	1,061	1,055	2,116	1,028	1,037	2,065	143	145	288	71	75	146	1,983	1,963	
医	動物応用科	推薦等	40	19	83	102	19	83	102	6	44	50	6	44	50	129	101	
		一般	55	179	285	464	167	270	437	34	93	127	26	44	70	446	414	
		センター利用	25	103	187	290	103	186	289	49	92	141	9	15	24	254	205	
		計	120	301	555	856	289	539	828	89	229	318	41	103	144	829	720	
学	合計	推薦等	73	124	237	361	124	236	360	17	75	92	17	75	92	355	355	
		一般	130	1,002	1,020	2,022	957	988	1,945	126	172	298	79	82	161	1,945	1,898	
		センター利用	37	236	353	589	236	352	588	89	127	216	16	21	37	512	430	
		計	240	1,362	1,610	2,972	1,317	1,576	2,893	232	374	606	112	178	290	2,812	2,683	

◆獣医学部編入学

(人)

学部	学科	区分 募集人員	平成24年度											平成23年度	平成22年度	
			志願者			受験者			合格者			入学者		志願者	志願者	
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	計	計
獣医学部	獣医	若干名	50	37	87	48	36	84	6	5	11	5	4	9	85	70
	動物応用科	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	合計	若干名	50	37	87	48	36	84	6	5	11	5	4	9	85	71

◇生命・環境科学部

(人)

学部	学科等	区分 募集人員	平成24年度											平成23年度	平成22年度		
			志願者			受験者			合格者			入学者		志願者	志願者		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	計	計	
生命・環境科学部	臨床検査技術	推薦等	15	19	37	56	19	37	56	11	22	33	11	22	33	32	40
		一般	50	152	340	492	145	321	466	38	82	120	20	35	55	431	385
		センター利用	5	45	94	139	45	94	139	11	29	40	2	0	2	154	144
		計	70	216	471	687	209	452	661	60	133	193	33	57	90	617	569
	食品生命科	推薦等	20	14	11	25	14	11	25	13	11	24	13	11	24	31	28
		一般(Ⅰ期)	45	208	200	408	197	196	393	45	60	105	23	19	42	300	253
		一般(Ⅱ期)	若干名	18	10	28	17	9	26	6	4	10	4	3	7	10	11
		センター利用(Ⅰ期)	5	73	80	153	73	80	153	33	49	82	9	3	12	175	191
		センター利用(Ⅱ期)	若干名	5	5	10	5	5	10	5	5	10	4	2	6	10	10
		計	70	318	306	624	306	301	607	102	129	231	53	38	91	526	493
環境科	推薦等	30	22	10	32	22	10	32	21	10	31	21	10	31	36	30	
	一般(Ⅰ期)	55	139	73	212	137	72	209	95	55	150	48	24	72	218	146	
	一般(Ⅱ期)	5	4	4	8	4	4	8	0	3	3	0	1	1	13	15	
	センター利用(Ⅰ期)	5	94	79	173	94	79	173	67	56	123	15	7	22	196	178	
	センター利用(Ⅱ期)	5	4	4	8	4	4	8	2	4	6	1	1	2	15	21	
	計	100	263	170	433	261	169	430	185	128	313	85	43	128	478	390	
合計	推薦等	65	55	58	113	55	58	113	45	43	88	45	43	88	99	98	
	一般(Ⅰ期)	150	499	613	1,112	479	589	1,068	178	197	375	91	78	169	949	784	
	一般(Ⅱ期)	5	22	14	36	21	13	34	6	7	13	4	4	8	23	26	
	センター利用(Ⅰ期)	15	212	253	465	212	253	465	111	134	245	26	10	36	525	513	
	センター利用(Ⅱ期)	5	9	9	18	9	9	18	7	9	16	5	3	8	25	31	
	計	240	797	947	1,744	776	922	1,698	347	390	737	171	138	309	1,621	1,452	

◆生命・環境科学部編入学

(人)

学部	学科等	区分 募集人員	平成24年度											平成23年度	平成22年度			
			志願者			受験者			合格者			入学者		志願者	志願者			
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	計	計		
生命・環境科学部	臨床検査技術	2年次	5	0	3	3	0	3	3	0	2	2	0	2	2	3	4	
			食品生命科	5	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	1	3	4	2
			環境科	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
			小計	14	2	4	6	2	4	6	2	3	5	2	3	5	7	8
	臨床検査技術	3年次	5	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	
			食品生命科	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
			環境科	4	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	4	2
			小計	14	2	0	2	2	0	2	1	0	1	1	0	1	5	4
	合計	28	4	4	8	4	4	8	3	3	6	3	3	6	12	12		

●入学者の推移 (過去5年) *

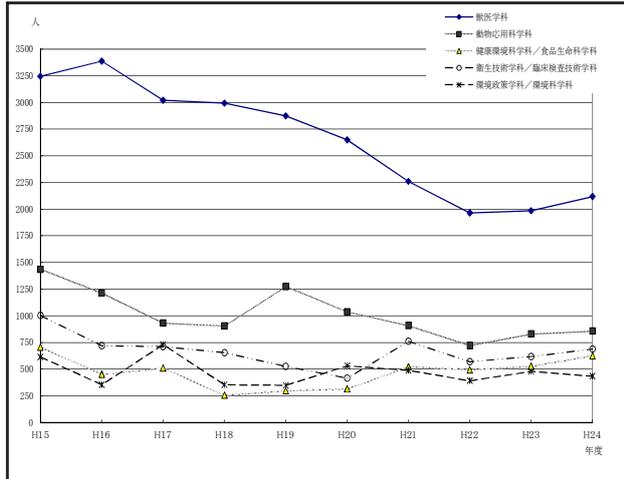
(人)

学部・学科	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	合計	
学 獣 医 部	獣医学科	146	149	148	149	144	736
	動物応用科学科	144	144	147	144	139	718
境 生 命 科 学 部	臨床検査技術学科	90	90	90	90	89	449
	食品生命科学科	91	90	88	100	84	453
	環境科学科	128	128	127	129	107	619
合計	599	601	600	612	563	2,975	

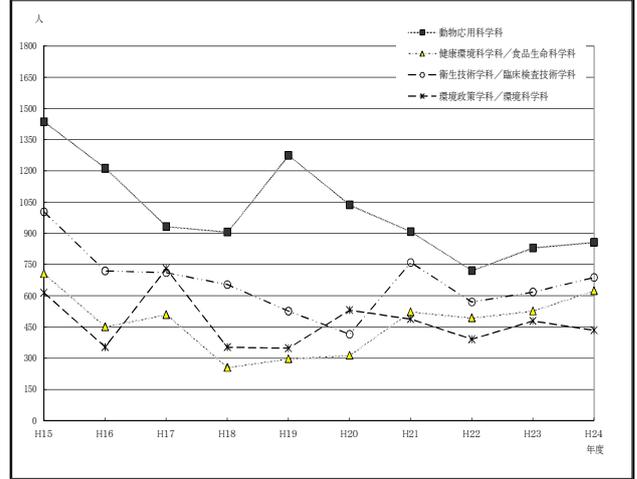
* 編入学者は除く。

●志願者の推移(過去10年)

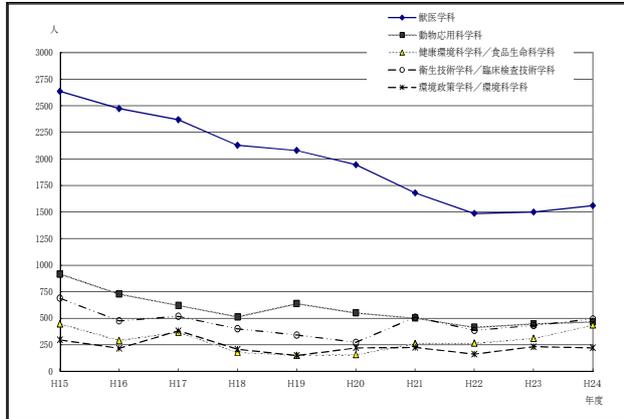
◇麻布大学入学試験[推薦等・一般・センター利用]



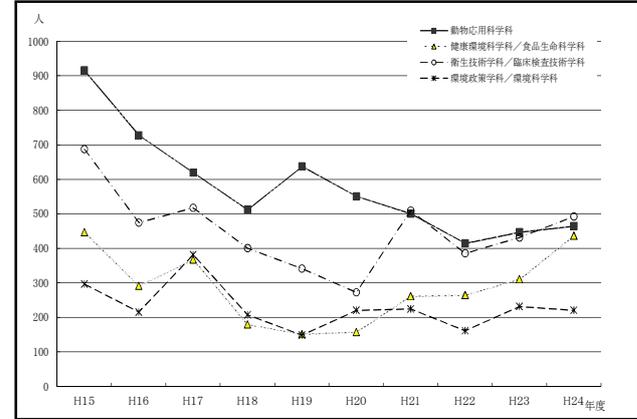
◇麻布大学(獣医学科を除く。)入学試験[推薦等・一般・センター利用]



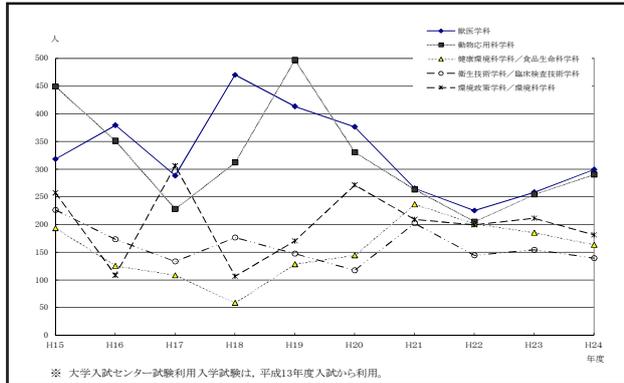
◇一般入学試験



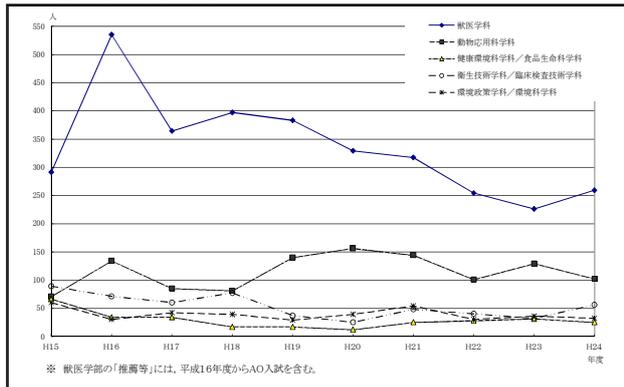
◇一般入学試験(獣医学科を除く。)



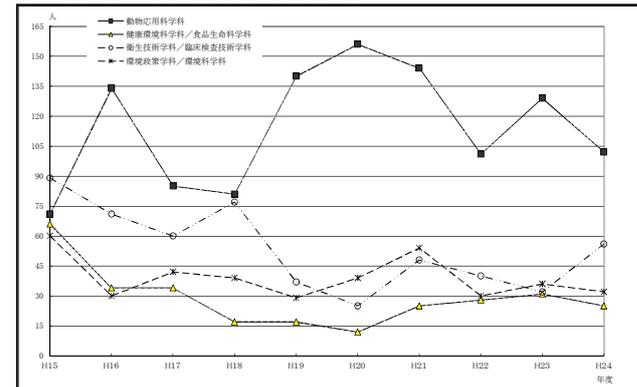
◇大学入試センター試験利用入学試験



◇推薦等入学試験



◇推薦等入学試験(獣医学科を除く。)



イ. 麻布大学 大学院

各研究科・専攻の「アドミッション・ポリシー(求める学生像)」に基づき、入学者選抜を行った。

【獣医学研究科】

獣医学専攻 博士課程

獣医学専攻博士課程では、より高度な専門性を持つ職業人、研究者及び教育者の養成を目指す。そのために次のような人物を求めている。

1. 獣医学に関連する諸科学の基礎知識を持ち、かつ国際的な視点を持ち合わせている人
2. 獣医学に関する新たな知識の創造及び新技術の開発に取り組み、それによって人類と動物の健康維持に貢献しようとする意識のある人
3. 獣医学にとどまらず、新たな学際的な研究領域に対しても果敢に挑戦しようとする意欲を持っている人

動物応用科学専攻 博士前期課程

博士前期課程(修士課程)では、人と動物の健康社会を科学する高度な専門性職業人の養成を目指す。そのために次のような人物を求めている。

1. 学部の専門にかかわらず、人と動物の健康を科学する動物応用科学の基礎となる生物学、化学の基礎知識を持ち、かつ国際化に対応できるだけの語学力を備えている人
2. 動物応用科学に強い関心を持ち、新しい知識の吸収意欲があり、かつそれらの知識を科学的発見及び問題解決に結びつけようとする意識のある人
3. 動物応用科学の社会的使命をよく認識し、リーダーシップと協調性を持って問題解決に果敢に挑戦しようとする意欲を持っている人

動物応用科学専攻 博士後期課程

博士後期課程では、博士前期課程で修得した広い視野に立って、より高度な専門性を持つ職業人、研究者及び教育者の養成を目指す。そのために次のような人物を求めている。

1. 動物応用科学に関連する諸科学の基礎知識を持ち、かつ国際的な視点を持ち合わせている人
2. 動物応用科学に関する新たな知識の創造及び新技術の開発に取り組み、それによって人類と動物の福祉、社会の平和、生物としての共生並びに文化の進展に貢献しようとする意識のある人
3. 動物応用科学にとどまらず、新たな学際的な研究領域に果敢に挑戦しようとする意欲を持っている人

【環境保健学研究科】

環境保健科学専攻 博士前期課程

博士前期課程では、国の内外を問わず、またこれまでの大学・学部での専攻学科にとらわれず高い基礎学力と、将来に対する明確な目標とそれぞれの各研究分野に対して強い興味を持った人物を求めている。

1. 環境保健科学に強い関心を持ち学習意欲に富んだ人
2. 社会人等でこれらの分野にかかわる業務に就いている人

環境保健科学専攻 博士後期課程

博士後期課程では、8つの専門分野あるいは関連する研究分野で修士号を取得した者又は取得見込みの者を求めている。

1. 高度な研究者、技術者あるいは統括指導者として活躍したい人
2. 社会人等でこれら分野にかかわる業務に就いている人

環境衛生政策専攻 修士課程

大学までに学んだ様々な分野の知見を踏まえて、更に環境衛生に関する専門的知見を身に付け社会全体の環境衛生レベルの向上について取り組みたい人物を求めている。

1. 人間社会にとって、人の健康と環境保全に関する、最も身近な政策である環境衛生政策に強い関心のある人
2. 自然科学・社会科学・人文科学など学問の全分野と深くかかわった政策を検討しようとする意欲を持っている人

◇ 獣医学研究科

(人)

研究科	区分 専攻	募集人員	平成24年度												平成23年度	平成22年度	
			志願者			受験者			合格者			入学者			志願者	志願者	
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	計	計	
獣	獣医学専攻 博士課程	1期	10	4	3	7	4	3	7	4	1	5	4	0	4	0	4
		2期 若干名		3	1	4	3	1	4	2	0	2	2	0	2	1	4
		計	10	7	4	11	7	4	11	6	1	7	6	0	6	1	8
医	動物応用 科学専攻 博士前期課程	1期	12	13	9	22	13	9	22	8	6	14	7	6	13	44	32
		2期 若干名		10	8	18	10	8	18	6	5	11	6	5	11	8	4
		計	12	23	17	40	23	17	40	14	11	25	13	11	24	52	36
学	動物応用 科学専攻 博士後期課程	1期	4	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	1
		2期 若干名		1	1	2	1	1	2	1	1	2	1	1	2	4	1
		計	4	2	1	3	2	1	3	2	1	3	1	1	2	5	2
合計			26	32	22	54	32	22	54	22	13	35	20	12	32	58	46

* 獣医学専攻博士課程(第1期)合格者のうち、平成23年度10月入学希望者(女性1人)は、平成24年度入学者数に含まれていない。

◇ 環境保健学研究科

(人)

研究科	区分 専攻	募集人員	平成24年度												平成23年度	平成22年度	
			志願者			受験者			合格者			入学者			志願者	志願者	
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	計	計	
環	環境保健 科学専攻 博士前期課程	1期	7	3	0	3	3	0	3	3	0	3	2	0	2	6	9
		2期 若干名		1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	4	2
		計	7	4	0	4	4	0	4	4	0	4	3	0	3	10	11
保	環境保健 科学専攻 博士後期課程	1期	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
		2期 若干名		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
学	環境衛生 政策専攻 修士課程	1期	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
		2期 若干名		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		計	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1
合計			16	4	0	4	4	0	4	4	0	4	3	0	3	14	12

● 入学者の推移(過去5年)

(人)

研究科・専攻		平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	合計
獣医学	獣医学専攻博士課程	6	1	5	1	6	19
	動物応用科学専攻博士前期課程	24	38	27	27	18	134
	動物応用科学専攻博士後期課程	2	5	1	6	3	17
環境保健学	環境保健科学専攻博士前期課程	3	7	10	8	6	34
	環境保健科学専攻博士後期課程	0	1	0	3	2	6
	環境衛生政策専攻修士課程	0	3	1	0	1	5
合計		35	55	44	45	36	215

②教育課程

ア. 麻布大学

各学部学科の「カリキュラム・ポリシー（教育の実施に関する基本的な方針）」に基づき、教育を実施した。

【獣医学部】

獣医学科

本学科の教育理念・目的に基づき、以下のような特徴あるカリキュラムとなっている。

1. 初等年次では、教養から基礎獣医学まで幅広い知識や倫理観を身に付けるために基礎系教員と獣医学系教員の協力による総合的なカリキュラムの設定や選択科目を増やした学生の自主性を尊重したカリキュラムを設定している。
2. 中等年次では、基礎獣医学から臨床獣医学、応用獣医学まで獣医師として必要な要素を身に付けるために獣医学系教員による専門的なカリキュラムを設定している。このため専門教育を基礎獣医学系、病態獣医学系、生産獣医学系、臨床獣医学系及び環境獣医学系の5系のカテゴリーに分け、系内及び系外教員との協力体制の下に教育を展開している。
3. 高等年次では、小動物臨床獣医師、産業動物臨床獣医師あるいは公衆衛生獣医師などの獣医師としての専門性を身に付け、実践力を体得するためのカリキュラムを設定している。
4. 獣医師として、社会に巣立つための獣医師ライセンスの取得を目的とした獣医師国家試験対策のために、専門教育5系に属する獣医学系全教員の連携による総合的なカリキュラムを設定している。

動物応用科学科

動物生命科学コースでは、分子、細胞、組織、器官、個体及び生態系と様々な段階における生命現象について、その機能を解析し、動物資源の利用・開発とその保全・増殖並びに人と動物に対する安全の観点から学際的な分野を含む広範な動物生命科学の総合的な知識と技術、バイオテクノロジーの多様な応用領域について幅広い知識と技術を身に付けた人材の育成を目標とする。

動物人間関係学コースでは、自然科学と人文科学・社会科学の境界領域の学問分野として、すべての動物を対象に人と動物のより良い関係を学び、動物と人の健康・福祉・教育への貢献、また人と野生動物とのより良い関係及び野生動物の生息地管理などについて幅広い知識を備えた人材の育成を目標とする。

このような基本方針に基づき、以下のような特徴あるカリキュラムを用意した。

1. 初年次教育から卒業時まで在学期間全体を通して、社会人・職業人として必要な知識・技術の習得が可能となるようにキャリア形成科目を各年次に計画的に配分した。
具体的には、人文科学・社会科学など一般教養や英語を主とした語学力並びにコミュニケーション能力、情報処理能力などである。
2. 動物科学の基礎学力の向上を起点とし、2年次までに動物応用科学が目指す人間社会と動物とのより良い共利共生につながる幅広い教育科目群を配当した。
1年次前期から生物学、化学、生態学などの科目配当で基礎学力を身に付け、その後段階的に専門基礎科目を配当し、動物の形態と機能、動物の特性及び基本的な病態について教育する。
また、本学科の全教員による動物応用科学概論、基礎ゼミなどを通じて、動物応用科学の広がり認識し、その中で自らの修学意欲を高める教育を行っている。
3. 3年次以降においては、拡大・深化した動物応用科学の諸領域を動物の生命活動とその資源の利用・開発にかかわる動物生命科学コースと、人と動物のより良き共利共生関係を目指す動物人間関係学コースの2コースの教育科目を設けた。
動物生命科学コースでは、遺伝子から、細胞、組織・臓器、微生物、個体、群集、生態系までの種々の段階における生命現象を、保全・増殖、機能解析、利用・開発並びに人と動物に対する安全の観点から、分子から個体までの多様なレベルで総合的に学ぶ。
動物人間関係学コースでは、伴侶動物、介在動物、野生動物を対象に、人の福祉や教育の現場に活用できるような、これらの動物の特性とその応用及び人と動物と環境の共生について総合的に学ぶ。
4. 4年次には、卒業論文や専門ゼミによってそれぞれの領域における動物応用科学の専門性の追求と、それを基礎とした人間社会への貢献の在り方を学ぶ。
具体的には、社会最先端の実験手法、それを基にした動物機能性製品や新たな動物飼育法、社会調査、フィールド・ワークの実場面を体験し、そのデータ解析やレポート作成などを通じて、最新の研究情報を社会へ発信する能力、逆に社会ニーズに対応するための問題発見・解決能力を兼ね備える人材の教育を目指す。

【生命・環境科学部】

臨床検査技術学科

本学科の教育理念と教育目標を具体化したカリキュラムは、「臨床検査技師学校養成所指定規則」第2条第3号に規定されている「臨床検査技師養成教育」に必要な専門科目80単位を基本とし、これに本学科独自の科目を加えて構成されている。すなわち、高い倫理観を養うための生命倫理学、科学英語論文を理解するための基礎科学英語や医学英語を取り入れた教養科目、及び疾病並びにチーム医療を理解させるための医学系科目や介護学、看護学概論を配当した。さらに、履修した科目の内容を総合的に理解させるとともに、早い時期から国家試験を意識させ、合格率を高めるために、教育の進行に合わせて総合臨床検査学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ(合計15単位)を開講する。

1. 1～2年次において教養科目20単位(必修16単位、選択4単位)の他、解剖学、組織学、生理学、微生物学、生化学、病理学、免疫学、衛生・公衆衛生学などの専門基礎科目51単位(必修)及び病理組織細胞学、医動物学、検査管理総論、RI検査技術学などの専門科目13単位(必修)を配当し、基礎学力並びに専門基礎学力を身に付ける。
2. さらに、3～4年次において臨床病理学、臨床血液学、臨床化学、臨床微生物学、臨床免疫学、臨床生理学などに加えて、内科学概論などの医学系科目を含め、専門科目59単位(必修53単位、選択6単位)を配当し、臨床検査技師教育の専門分野を展開する。
3. 卒業論文(6単位)は、2～4年次の3年間で履修させる選択科目とした。これは、学生を各研究室に所属させ、研究テーマの決定、研究活動に必要な知識と実験手技の習得、文献の講読、実験の実施、データの解析・考察法、論文作成などを通して、問題に取り組む能力、必要な最新の情報を収集する能力及びプレゼンテーション能力など社会で要求される幅広い能力を身に付ける。

食品生命科学科

本学科の教育目標を達成するためのカリキュラムの設定方針としては、次のようなカリキュラム(教育課程)を組み立てている。

1. 高等学校校までの基礎学力があることを前提として、1年次前期に生物学、有機化学などの自然科学系科目を配当する。また、1年次前期から専門基礎科目を配当し、食の安全及び生命科学について学ぶ専門基礎学力を育成する。一方、学生の学習意欲を増進させるために、1年次前期に社会の第一線で活躍する企業人などによる各専門分野のエキスパートを講師としたフード・バイオビジネス概論及び専門教育を担当する教員による食環境論などの導入科目を配当する。さらに、学生として必須の自学自習の習慣付けの強化、資料の読解とレポート作成能力を強化するために基礎科目の実習も1年次前期より配当し、さらにローテーション方式による少人数のプレ専門ゼミを1年次後期に配当する。
2. 社会人・職業人として最低限必要な教養とスキルの修得については、1年次から2年次にかけての人文科学、社会科学などの一般教養、食生活と健康科学等を通して、多面的・倫理的に物事を考察できる能力が身に付くように配慮している。また、1年次から2年次にわたり、英語を主とした語学力の向上を図るとともに情報処理及びデータ解析能力の基礎を身に付ける。
3. 2年次以降においては、食の安全及びバイオの科学コースの2コースを設けて、それぞれのコースにおいて専門教育を十分に展開する。2コースに共通する科目は専門共通科目群として2、3年次に配当する。
4. 4年次には、専門ゼミや卒業論文に取り組むことより、食品生命科学領域の深さと広がり認識し、最新の必要情報を収集する能力と問題発見・解決能力及びプレゼンテーション能力を身に付ける。

環境科学科

持続可能な社会の担い手を養成するために、以下のポリシーに従ってカリキュラムを編成している。

1年次には、教養科目・基礎専門科目として経済学・社会学・法学などの社会科学の基本的な科目を置くほか、大気環境学、水環境学、土壌環境学、廃棄物リサイクル論などの環境の基礎に関する科目を配置する。また、コース選択の指針を与える環境科学概論を配置し、1年次終了時点で適切なコース選択が行えるよう配慮する。

2年次以降のコース別教育では、次のような教育カリキュラムを編成している。

「環境技術コース」

1. 2年次に、水質衛生学、食品衛生学などの保健衛生に関する科目、機器分析化学、病原微生物学など、環境に悪影響を及ぼす因子やその分析に関する科目などを配置して、「環境の分析・調査能力」を養成する。
2. 3年次には、化学物質毒性評価学、農薬化学、環境リスク評価論など環境の評価に関する科目を配置し、分析結果に基づいて「環境の質を評価」する能力を養う。
3. 2年次後期から3年次後期にかけて、化学物質管理学、衛生管理学、水質汚染制御学、水処理工学・同演習など環境の維持・改善及び環境管理に関する科目を配置し、「環境の保護・保全に必要な技術やシステムを提案」できる能力を高める。
4. 4年次では卒業論文の完成とその発表を通して、情報の整理、伝達、プレゼンテーションの能力を培う。

「環境と社会コース」

1. 2年次に、環境社会学、環境統計学、社会調査法などを配置し、「環境の社会的分析・調査に必要な能力」を養成する。
2. 3年次には環境影響評価論、リスクコミュニケーション論、環境管理論などを配置し、「社会調査等に基づく環境の質の評価手法」や「環境の維持・改善のための対策立案」する能力を養う。
3. 2、3年次には、まちづくり論、ビオトープ論、市民環境活動論、都市計画論、エネルギー環境論など、持続可能性の観点から社会を分析・評価し、政策を提言する方法論を学ぶ。さらに「使える英語」教育の徹底を図り、グローバル化した社会における新しいライフスタイルの確立に向けた実践的なコミュニケーション能力を高める。
4. 4年次では卒業論文の完成とその発表を通して、情報の整理、伝達、プレゼンテーションの能力を培う。

イ. 麻布大学大学院

各研究科・専攻の「カリキュラム・ポリシー(教育の実施に関する基本的な方針)」に基づき、教育を実施した。

【獣医学研究科】

獣医学専攻 博士課程

1. 獣医学に関する専攻科目の専門的知識を、各専攻科目に配当された授業科目の講義、演習並びに実験・実習により習得させる。
2. 各研究室において、それぞれの指導教員との討論の基、自ら主体的に各分野の先端的な研究課題に取り組み、博士論文としてまとめる。これにより、課題解決方法、論理的思考、発展的な課題設定方法についてより深く学ばせる。
3. 研究成果を学内の課程博士論文中間発表会及び論文発表会で発表させるとともに、国内外の学会及び学術誌において発表することを支援する。これにより、日本語のみならず、英語を始めとする外国語でのプレゼンテーション及び質疑応答能力を養わせる。また、対外的な評価を受けることで、自己の研究能力を客観的に評価する機会を与える。

動物応用科学専攻 博士前期課程

1. 動物応用科学に関する専攻科目の専門的知識を、各専攻科目に配当された授業科目の講義、演習並びに実験・実習により習得させる。
2. それぞれの指導教員の下、研究指導を受けながら研究課題に積極的に取り組み、修士論文としてまとめる。これにより、科学的な課題設定方法、論理的思考、各分野の先端知識及び実験手法について学ばせる。
3. 研究成果を学内の課程修士論文中間発表会及び論文発表会で発表させるとともに、学外の学会等において発表することを支援する。これにより、プレゼンテーション及び質疑応答能力を養わせる。

動物応用科学専攻 博士後期課程

1. それぞれの指導教員との討論のもと、自ら主体的に各分野の先端的な研究課題に取り組み、博士論文としてまとめる。これにより、課題解決方法、論理的思考、発展的な課題設定方法についてより深く学ばせる。
2. 研究成果を学内の課程博士論文中間発表会及び論文発表会で発表させるとともに、国内外の学会及び学術誌において発表することを支援する。これにより、日本語のみならず、英語を始めとする外国語でのプレゼンテーション及び質疑応答能力を養わせる。また、対外的な評価を受けることで、自己の研究能力を客観的に評価する機会を与える。

【環境保健学研究科】

環境保健科学専攻 博士前期課程

1. 8つの専門分野のいずれかに所属し、必修科目として開講されている授業科目の講義、実験及び実習により、その専門分野の基礎となる幅広い知識を修得する(22単位)。
2. 他の専門分野の講義を4単位及び共通科目として開設されている「科学英語」(ネイティブスピーカーが担当)及び「科学者・研究者論」を含め8単位を修得させる(合計30単位)。
3. 授業科目の修得を通じて、環境保健科学分野の幅広い基礎知識を習得させる。
4. 授業科目を2年間で修得するとともに、修士論文を完成させるために入学後、早期に1人の研究指導教員及び2人の副研究指導教員を決定し、3人の指導教員による総合的で綿密な指導を行う。

環境保健科学専攻 博士後期課程

1. 各専門分野及び環境保健科学分野の基礎となる幅広い知識を土台に、更に高度な専門的知識を習得させる。
2. 所属する専門分野の「特別演習」及び「特別実験」を3年間にわたって履修させる(合計12単位)。
3. 授業科目の修得を通じて、高度で専門的な博士(学術)にふさわしい学識を習得させる。
4. 授業科目を3年間で修得させるとともに、博士論文を完成させるために入学後、早期に1人の研究指導教員及び2人の副指導教員を決定し、3人の指導教員による総合的で綿密かつ高度な研究指導を行う。

環境衛生政策専攻 修士課程

1. 環境衛生政策を立案するために必要な自然科学的知識、社会科学知識及び人文科学的知識にかかわる授業科目の講義及び演習により習得させる(合計30単位)。
2. 世界の最新情報を身に付けるためのネイティブ教員による科学英語を開講する。
3. これらの学問を2年間で修得し、修士論文を完成させるために入学後、早期に1人の研究指導教員及び2人の副研究指導教員を決定し、3人の指導教員による綿密な指導を行う。
4. 研究成果を学内の課程修士論文中間発表会で発表させるとともに、大学院を担当する全教員による総合的指導を行う。

③学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっての基準

ア. 麻布大学

◇ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標), 必要単位修得数及び取得可能学位

【獣医学部】

獣医学科

本学科の定められた教育課程を修了することで、次のような人材が育成されることを目標とする。

1. 獣医師としての専門分野の学問内容についての知識を習得している。
2. 獣医師として、臨床・予防衛生・公衆衛生に対応できる専門家としての実践能力を習得している。
3. 獣医師としての高い倫理観を有し、高度な専門職業人として責任をもった行動をとることができる。
4. 獣医師である高度な専門職業人として、課題発展能力・問題解決能力を習得し、獣医療の進歩や生命科学に関する社会のニーズの変化に、持続的に対応できる柔軟さと学習意欲を持つ。

動物応用科学科

本学科の定めた教育課程に在籍し、本学科の教育理念・教育目標に沿って設定した授業科目を履修し、基準となる単位数を修得することが学位授与の要件である。修得すべき授業科目には、講義科目のほか、演習や実習、フィールド・ワークや卒業論文作成等の科目が含まれる。この卒業要件を満たすことで、次のような人物が育成されることを目標とする。

1. 社会から求められる幅広い知識、教養と高い社会倫理を習得した人物
2. 社会から求められる語学力、コミュニケーション能力、問題発見・解決能力を習得した人物
3. 動物応用科学の領域の特性、その社会的責任、また動物応用科学の知識と技術を基に人間社会への貢献に寄与する人物
4. 動物応用科学における最新の科学技術に立脚した生命科学と社会の発展に貢献する、論理的で科学的な思考を習得した人物

獣医学科(平成23年度入学者)

区分	単位数
基礎教育科目	
必修	5
選択必修	12
選択	23
専門科目	
必修	140
選択	7
計	187

取得可能学位 学士(獣医学)

動物応用科学科(平成23年度入学者)

区分	単位数
基礎教育系科目群	
必修	22
選択必修	6
選択	7
専門共通科目群	
動物生命科学コース科目群	72
動物人間関係学コース科目群	
必修	
選択	17
計	124

取得可能学位 学士(動物応用科学)

【生命・環境科学部】

臨床検査技術学科

本学科は、次のような能力・知識を有する卒業生を輩出する。

1. 臨床検査技師国家資格を取得できる学力
2. 医療従事者としての高い倫理観
3. 各種の疾患を理解し、疾患と臨床検査成績との関連性を深く把握できる能力
4. チーム医療を理解し、実践できる能力
5. 自分の考えを論理的に口頭発表したり、記述できる総合的能力(卒業論文を通して)

上記の能力・知識の習得について、定期試験・追再試験などを行い、厳格な単位認定を行う。また、必修科目133単位、選択科目10単位の計143単位を卒業要件とし、これを修得した者に対して卒業認定を行う。

食品生命科学科

本学科では、多くの実習・演習を通じて、食品衛生学・食品生命科学分野の諸領域における幅広い知識と専門技術に加え、高度なバイオ技術を用いた研究方法を修得し、以下のとおり、社会で活躍できる人材の育成を目指している。そのための卒業要件として、基礎科目と専門教育科目からそれぞれ19単位及び105単位、合計124単位以上を修得することが義務付けられていて、目標を達成した学生に対して単位を認定する。

1. 生物学的及び化学的な分析の知識・技術に精通し、得られた実験・調査成績に基づいて適切な評価・解決策を講じられる。
2. 食の安全・安心分野でリーダーシップを発揮し、問題の追求と解決に情熱を持って取り組む。
3. 広い識見と創造性に富み、人の健康にかかわる専門分野で実践・活躍できる実力を身に付ける。

環境科学科

卒業要件として、環境技術コースでは必修95単位、選択29単位以上、環境と社会コースでは必修66単位、選択58単位以上、合計124単位以上の修得を義務付けている。これらの単位の認定に当たって、それぞれの科目担当者は、学生の学力を十分考慮しつつ一定レベルの到達目標を定め、その目標に達した学生にのみ単位を与えることとしている。

本学科の教育課程は次のような人材の育成を目標としている。

1. さまざまな環境問題に遭遇した時に、その問題の本質がどこにあるのかを自然科学的あるいは社会科学に正しく捉えることのできる問題発見能力と問題解決能力を身に付ける。
2. 環境技術コース履修者にあつては、対象となる環境の理化学的、生物的分析・評価と環境の維持・改善のための技術的な提案を通して、社会に貢献できる。
3. 環境と社会コース履修者にあつては、社会科学の視点に立って、環境問題に対する政策的な立案と実践を通して、社会に貢献できる。

臨床検査技術学科(平成23年度入学者)

区分	単位数
必修科目	133
選択科目	10
教養科目	4
専門科目	6
計	143

取得可能学位 学士(保健衛生学)

食品生命科学科(平成23年度入学者)

区分	単位数
必修科目	114
選択科目	10
基礎・教養科目	4
専門科目	6
計	124

取得可能学位 学士(保健衛生学)

環境科学科(平成23年度入学者)

コース	区分	単位数
環境技術 コース	必修科目	95
	選択科目	29
	教養科目	10
	専門科目	19 ※1
計		124
環境と社会 コース	必修科目	66
	選択科目	58
	教養科目	18
	専門科目	40 ※2
計		124

※1 4年次に6単位以上を修得し、うち、2単位以上は、4年次後期で修得すること。

※2 4年次に2単位以上を修得すること。

取得可能学位 学士(環境科学)

イ. 麻布大学大学院

◇ディプロマ・ポリシー(修了時の到達目標)及び必要単位修得数及び取得可能学位

【獣医学研究科】**獣医学専攻 博士課程**

1. 博士課程にあつては、所定の修業年限である4年以上在学し、必修20単位、選択10単位計30単位以上を修得し、必要な研究指導を受け、かつ博士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者に、博士(獣医学)の学位を与える。
2. ただし、博士課程に3年以上在学し、定められた授業科目につき課程修了必要単位を修得し、かつ、特に優れた研究業績を上げ、指導教員を含む3人以上の本研究科委員会委員が推薦し、博士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者には、修業年限の特例により博士(獣医学)の学位を与える。
3. また、博士課程修了にあつては、以下の水準に到達していることを目安とする。
 - 1) それぞれの専門領域における高度な学識(専門的知識と見識)並びに研究技術を習得している。さらに、その学識と研究技術に基づいて独自に課題を設定し、それを解決・展開できる能力を身に付けている。
 - 2) 必要に応じて他の研究者及び研究機関との連携を図ることができる能力を身に付けている。
 - 3) 研究成果を国際的に公表するために必要な英語でのプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力及び論文作成能力を身に付けている。

上記3点の能力を通じて、獣医学における高度な専門性を持つ職業人、研究者及び教育者として社会に貢献できるようにする。

動物応用科学専攻 博士前期課程

1. 博士前期課程(修士課程)にあつては、所定の修業年限である2年以上在学し、必修・選択両科目を併せて30単位以上を修得し、必要な研究指導を受け、かつ修士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者に、修士(動物応用科学)の学位を与える。

2. ただし、博士前期課程(修士課程)に1年以上在学し、所定の課程修了必要単位数を修得し、かつ特に優れた研究業績を上げ、指導教員を含む3人以上の本研究科委員会委員が推薦し、修士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者には、修業年限の特例により修士(動物応用科学)の学位を与える。
3. 博士前期課程(修士課程)修了に当たっては、以下の水準に到達していることを目安とする。
 - 1) 動物、微生物などに由来する遺伝子、細胞、タンパク質などの機能解析とその応用、食品科学における危険要因の低減、除去及び生理活性マテリアルとしての環境改善への応用、更に「健康な動物」の持つ機能の人間生活への活用、野生動物の保全・人間社会との軋轢の軽減などの研究領域に関する高度な専門知識を習得している。
 - 2) それぞれの専門領域における科学的な課題設定方法、論理的思考、各分野の先端的知識の収集及び実験手法など基本的な研究技術を習得している。
 - 3) それぞれの研究成果を学会等において公表するために必要なプレゼンテーション能力及びコミュニケーション能力を身に付けている。

動物応用科学専攻 博士後期課程

1. 博士後期課程にあつては、所定の修業年限である3年以上在学し、必修科目12単位以上を修得し、必要な研究指導を受け、かつ博士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者に、博士(学術)の学位を与える。
2. ただし、博士後期課程に2年以上在学し、所定の課程修了必要単位数を修得し、かつ特に優れた研究業績を上げ、指導教員を含む3人以上の本研究科委員会委員が推薦し、博士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者には、修業年限の特例により博士(学術)の学位を与える。
3. 博士後期課程修了に当たっては、以下の水準に到達していることを目安とする。
 - 1) それぞれの専門領域における高度な学識(専門的知識と見識)並びに研究技術を習得している。さらに、その学識と研究技術に基づいて独自に課題を設定し、それを解決・展開できる能力を身に付けている。
 - 2) 必要に応じて他の研究者及び研究機関との連携を図ることができる能力を身に付けている。
 - 3) 研究成果を国際的に公表するために必要な英語でのプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力及び論文作成能力を身に付けている。
4. 上記3点の能力を通じて、人と動物の健康社会に貢献する高度な専門性を持つ職業人、研究者及び教育者としての資質を備えている。

獣医学専攻 博士課程

区分	単位数
必修	20
選択	10
計	30

取得可能学位 博士(獣医学)

* 所要科目及び単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文を提出した者に最終試験を行い、最終試験に合格した者に学位を授与する。

動物応用科学専攻 博士前期課程

区分	単位数
必修	26
選択	4
計	30

取得可能学位 修士(動物応用科学)

* 所要科目及び単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文を提出した者に最終試験を行い、最終試験に合格した者に学位を授与する。

動物応用科学専攻 博士後期課程

区分	単位数
必修	12
計	12

取得可能学位 博士(学術)

* 所要科目及び単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文を提出した者に最終試験を行い、最終試験に合格した者に学位を授与する。

【環境保健学研究科】

環境保健科学専攻 博士前期課程

1. 博士前期課程にあつては、高い倫理観を養うとともに、コメディカルな分野に新しいバイオテクノロジーを導入した臨床検査技術学と生命科学及び環境科学にかかわる諸問題を解明する基礎的かつ応用的能力を身に付けて修了させる。
2. 高度な専門知識と技術を備えた有能な中堅研究者、技術者又は統括指導者を育てる。
3. 教育研究職等で活躍できる能力を持った人材を養成する。

環境保健科学専攻 博士後期課程

1. 博士後期課程にあつては、独創性の高い研究能力を培い、関連する分野で自立した研究者、技術者又は統括指導者になる能力を身に付けて修了させる。
2. 自立した研究者、技術者又は指導者として活躍できる人材を養成する。

環境衛生政策専攻 修士課程

1. 人間社会の身近な環境衛生政策分野に関連する自然科学・社会科学の両方の専門知識を備えた能力を身に付けて修了させる。
2. 環境衛生政策を直接担当する地方公共団体等の行政機関や環境衛生に関する一般企業において活躍できる能力を持った人材を養成する。

環境保健科学専攻 博士前期課程

区分	単位数
必修	26
選択	4
計	30

取得可能学位 修士(環境保健科学)

* 所要科目及び単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文を提出した者に最終試験を行い、最終試験に合格した者に学位を授与する。

環境保健科学専攻 博士後期課程

区分	単位数
必修	12
計	12

取得可能学位 博士(学術)

* 所要科目及び単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文を提出した者に最終試験を行い、最終試験に合格した者に学位を授与する。

環境衛生政策専攻 修士課程

区分	単位数
必修	22
選択	8
計	30

取得可能学位 修士(環境衛生政策)

* 所要科目及び単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文を提出した者に最終試験を行い、最終試験に合格した者に学位を授与する。

◇博士・修士学位授与数 (平成23年度)

平成24年3月31日現在

研究科・専攻等	学位授与数			
	修士	博士(獣医学)	博士(学術)	
獣医学研究科	獣医学専攻	-	5	-
	動物応用科学専攻	27	-	7
	麻布大学学位規則第3条第3項に該当する者 ※	-	0	0
	小計	27	5	7
環境保健学研究科	環境保健科学専攻	6	-	3
	環境衛生政策専攻	1	-	-
	麻布大学学位規則第3条第3項に該当する者 ※	-	-	0
	小計	7	-	3
合計	34	5	10	

※【麻布大学学位規則】第3条

- 3 博士の学位は、本学大学院の博士課程を経ない者であっても、論文を提出して、その審査に合格し、かつ、前項に該当する者と同等以上の学力があることを確認された場合には授与することができる。

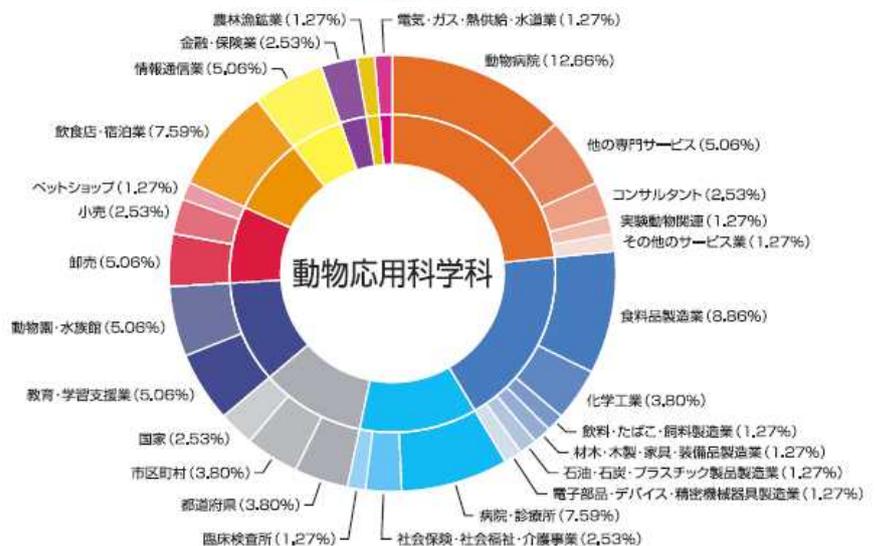
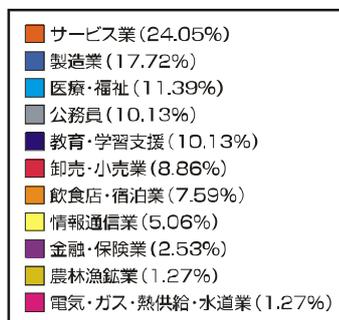
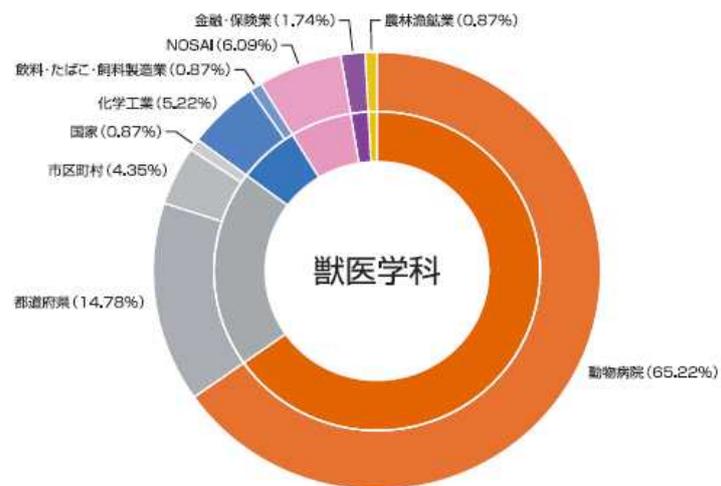
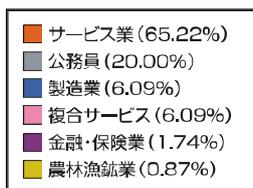
④平成23年度卒業生・修了者数及び進路状況

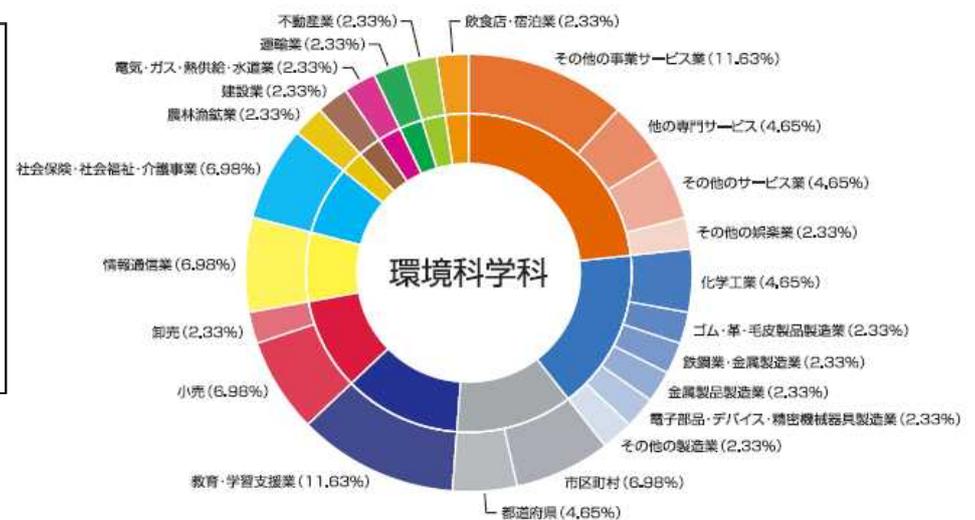
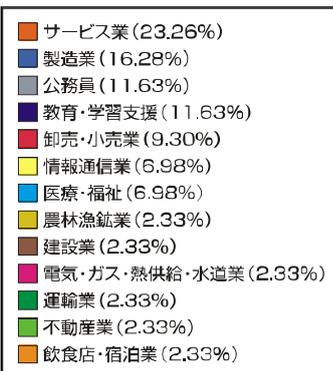
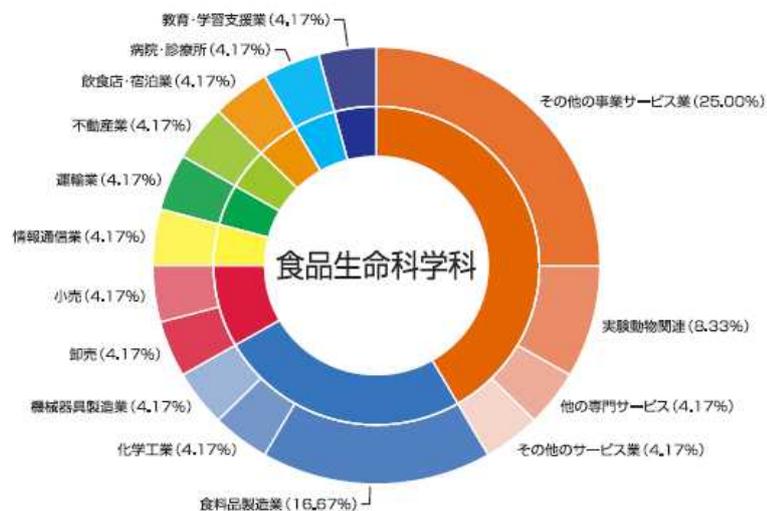
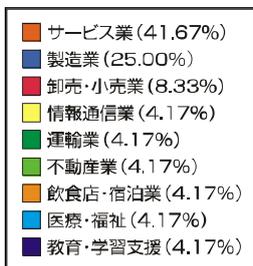
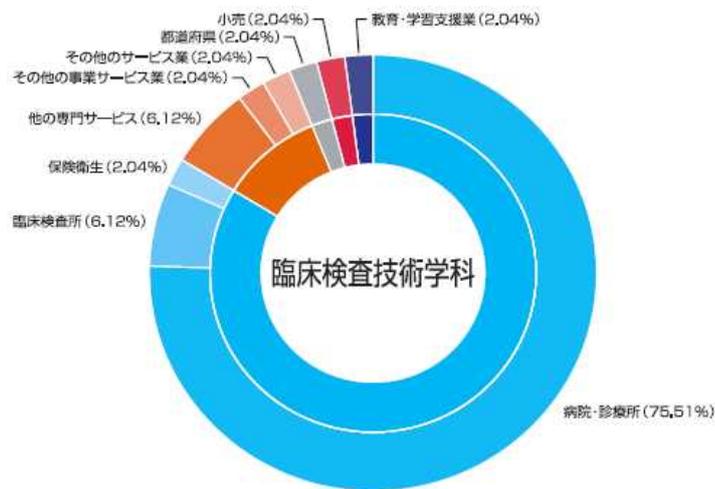
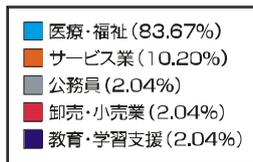
(人)

卒業生・修了者 (平成23年度)	麻布大学								麻布大学大学院				計
	獣医学科	動物応用 科学科	臨床検査 技術学科	食品生命 科学科	環境科学 科	健康環境 科学科	衛生技術 学科	環境政策 学科	獣医学 専攻	動物応用 科学専攻 *	環境保健 科学専攻 *	環境衛生 政策専攻	
卒業生・修了者数	146	129	61	56	73	6	11	9	5	34	9	1	540
進路状況													
就職	115	79	49	24	43	1	2	1	4	28	6	1	353
進学	12	36	0	19	14	0	1	3	0	1	1	0	87
その他(浪人等)	19	14	12	13	16	5	8	5	1	5	2	0	100
[進学先内訳]													
自大学院	3	21	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	30
他大学院	6	1	0	5	5	0	0	1	0	0	0	0	18
自大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他大学	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
短期大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専門学校・各種学校	0	7	0	4	1	0	1	1	0	0	0	0	14
その他(留学等)	3	6	0	8	4	0	0	1	0	1	1	1	25

*麻布大学大学院獣医学研究科動物応用科学専攻及び環境保健学研究科環境科学専攻の欄は、博士前期課程及び博士後期課程を合算した人数である。

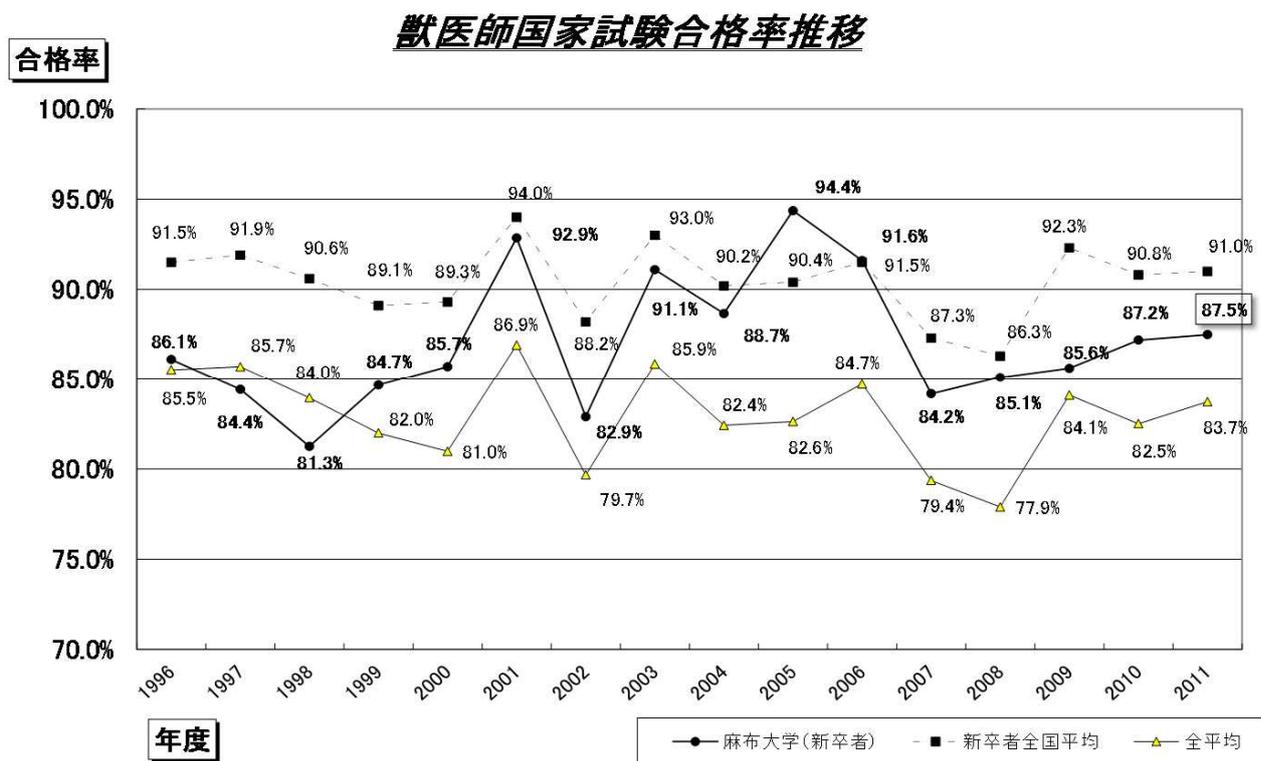
[就職先内訳](麻布大学)



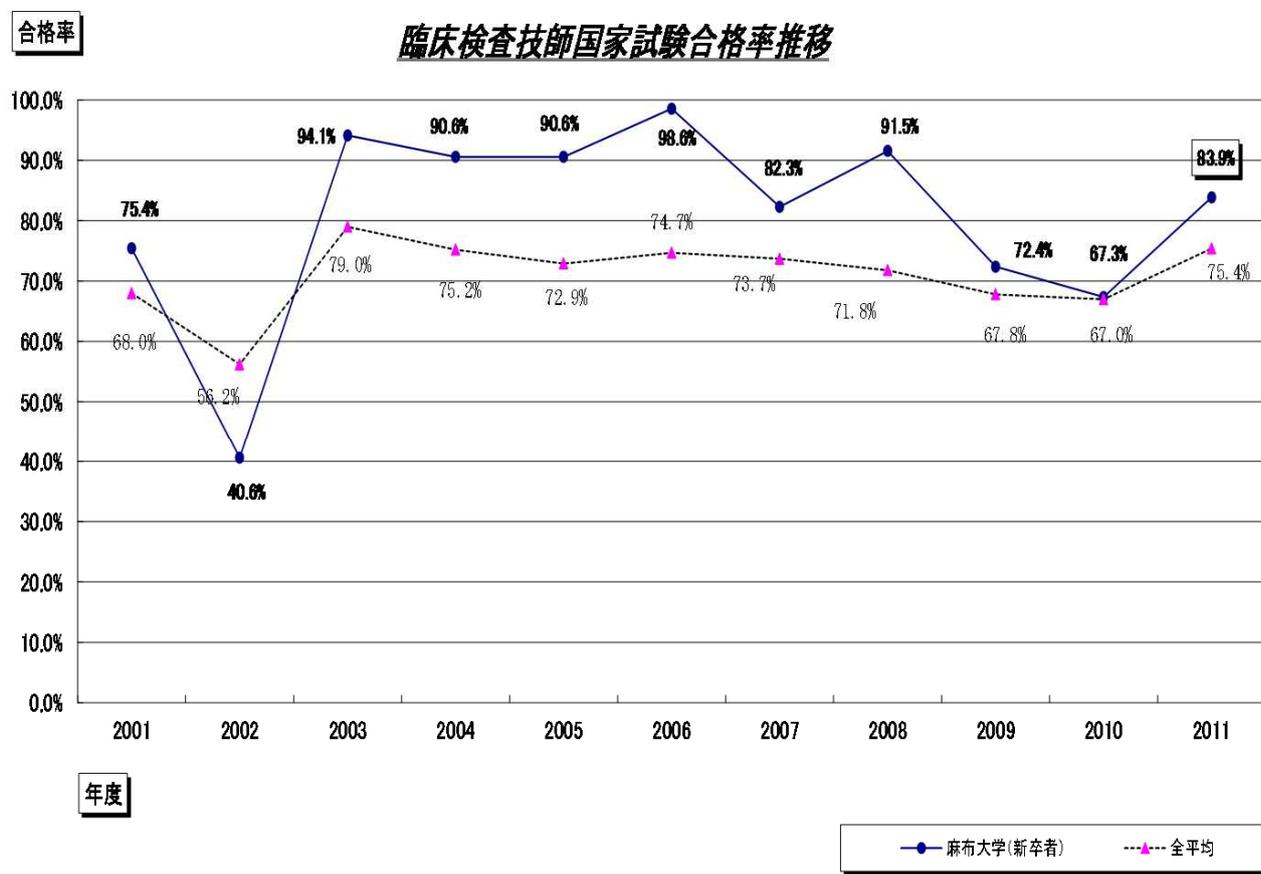


⑤ 国家試験合格率の推移

ア. 獣医師国家試験(麻布大学 獣医学部獣医学科)



イ. 臨床検査技師国家試験(麻布大学 環境保健学部衛生技術学科, 生命・環境科学部臨床検査技術学科)



※ 2011(平成23)年度受験者から生命・環境科学部 臨床検査技術学科入学者が受験

⑥退学者数・中退率・留年者数

ア. 麻布大学

平成24年5月1日現在

●退学者数

(人)

区分	学 科	獣医学部						生命・環境科学部						環境保健学部											
		獣医学科			動物応用科学科			臨床検査技術学科			食品生命科学科			環境科学科			健康環境科学科			衛生技術学科			環境政策学科		
年度		平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
1年次	男	2	0	1	2	3	1	1	3	3	4	4	4	8	3	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	0	1	0	3	3	6	2	4	1	1	3	2	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	2	1	1	5	6	7	3	7	4	5	7	6	10	4	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2年次	男	1	1	5	1	1	1	2	2	3	1	3	0	6	8	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	女	0	1	0	3	1	3	1	5	2	3	4	1	2	2	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	計	1	2	5	4	2	4	3	7	5	4	7	1	8	10	4	-	-	-	-	-	-	2	-	-
3年次	男	1	0	0	1	0	0	0	0	-	0	2	-	1	2	-	-	1	1	0	2	0	-	-	2
	女	0	0	0	1	0	1	0	1	-	0	1	-	0	1	-	-	0	0	1	0	3	-	-	1
	計	1	0	0	2	0	1	0	1	-	0	3	-	1	3	-	-	1	1	1	2	3	-	-	3
4年次	男	0	1	0	0	0	0	0	-	-	1	-	-	5	-	-	0	0	0	1	0	0	2	6	5
	女	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	-	-	2	-	-	0	1	0	1	0	0	0	3	0
	計	0	1	0	0	0	0	0	-	-	1	-	-	7	-	-	0	1	0	2	0	0	2	9	5
5年次	男	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	0	0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	0	0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6年次	男	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計		4	4	7	11	8	12	6	15	9	10	17	7	26	17	11	0	2	1	3	2	5	2	9	8

●中退率 (平成24年5月1日現在) (%)

学部・学科	中退率	
学 獣医学部	獣医学科	0.43
	動物応用科学科	1.97
境 生命科学部	臨床検査技術学科	1.74
	食品生命科学科	2.98
	環境科学科	5.57
環 健康環境保健学部	健康環境科学科	0.00
	衛生技術学科	20.00
	環境政策学科	10.53

●留年者数 (平成24年5月1日現在) (人)

学部・学科	留年者数	
学 獣医学部	獣医学科	22
	動物応用科学科	7
境 生命科学部	臨床検査技術学科	21
	食品生命科学科	7
	環境科学科	28
環 健康環境保健学部	健康環境科学科	1
	衛生技術学科	0
	環境政策学科	6

※ 中退率 = 平成23年度(平成23年4月1日～平成24年3月31日)退学者数 ÷ 平成23年度在籍学生数(平成23年5月1日現在) × 100

イ. 麻布大学 大学院

平成24年5月1日現在

●退学者数

(人)

区分	専攻	獣医学研究科									環境保健学研究科								
		獣医学専攻博士課程			動物応用科学専攻博士前期課程			動物応用科学専攻博士後期課程			環境衛生政策専攻修士課程			環境保健科学専攻博士前期課程			環境保健科学専攻博士後期課程		
年度		平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
1年次	男	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
	女	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
2年次	男	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	2	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
3年次	男	0	0	2	-	-	-	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0
	女	0	0	0	-	-	-	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0
	計	0	0	2	-	-	-	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0
4年次	男	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計		0	0	2	1	2	3	0	2	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0

●中退率 (平成24年5月1日現在) (%)

研究科・専攻	中退率	
研 獣医学研究科	獣医学専攻博士課程	0.00
	動物応用科学専攻博士前期課程	1.52
	動物応用科学専攻博士後期課程	0.00
学 環境保健研究科	環境保健科学専攻博士前期課程	5.88
	環境保健科学専攻博士後期課程	0.00
	環境衛生政策専攻修士課程	0.00

●留年者数 (平成24年5月1日現在) (人)

研究科・専攻	留年者数	
研 獣医学研究科	獣医学専攻博士課程	0
	動物応用科学専攻博士前期課程	0
	動物応用科学専攻博士後期課程	0
学 環境保健研究科	環境保健科学専攻博士前期課程	2
	環境保健科学専攻博士後期課程	0
	環境衛生政策専攻修士課程	0

※ 中退率 = 平成23年度(平成23年4月1日～平成24年3月31日)退学者数 ÷ 平成23年度在籍学生数(平成23年5月1日現在) × 100

⑦学習環境

平成23年5月1日現在

ア. キャンパス等

区分	敷地面積(㎡)
淵野辺キャンパス	110,078.31
信濃研修場	4,339.30
桜川市実習場(旧岩瀬町)	14,950.38
敷地面積合計	129,367.99

イ. 建物

区分	建物名称	建物の主な内容	床面積(㎡)	構造・階建
淵野辺キャンパス	獣医学部棟	獣医学部実習室, 研究室, 実験サポート室, 共用機器室	19,348.37	鉄筋コンクリート・鉄骨造陸屋根7階建
	3号館	生命・環境科学部実習室, 研究室, 談話室	5,492.12	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建地下1階
	4号館	学生食堂, 留学生研修室	1,605.73	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建
	5号館	実習室, 標本室	2,656.39	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建地下1階
	6号館	研究室, 食肉加工場, 水生生物飼育室	2,685.03	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建
	7号館	研究室, 手術室, X線室	1,233.86	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建
	8号館	講義室, コンピュータ・LL教室, 百周年記念ホール, 事務局各課	6,387.84	鉄骨鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ鋼板葺8階建
	9号館	メディアステーション, 講義室, 研究室	4,704.40	鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根4階建
	大教室		468.22	鉄筋コンクリート造陸屋根平家建
	生物科学総合研究所	事務局, 飼育室, 実験室	3,423.22	鉄筋コンクリート造陸屋根5階建
	本館	事務局各課, 学生相談室, 就職相談室, 会議室	1,656.95	鉄筋コンクリート造陸屋根2階建
	学術情報センター(図書館)	図書館	1,846.96	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建地下1階
	獣医臨床センター	附属動物病院, 小動物飼育施設, ハイテク・リサーチセンター	5,583.43	鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根地下1階付6階建
	コンパニオン・ドッグ・ラボラトリ	「動物トレーニング実習」を本格的に行う施設	214.11	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建
	教育用動物繋留施設		164.03	軽量鉄骨プレハブ造平家建
	学生ホール	生協, 部室	1,276.08	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建
	クラブハウス1	部室, 音楽練習場, 土俵, ボクシング練習場	729.75	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建
	クラブハウス2	部室, 多目的ルーム	207.36	鉄骨造鉄板葺2階建
	百十周年記念会館	学生食堂, 同窓会事務局, 会議室	764.01	鉄骨造ルーフィング葺2階建
	空手道場		197.55	軽量鉄骨プレハブ造平家建
	馬術部部室		99.00	軽量鉄骨プレハブ造2階建
	小動物舎1		280.50	鉄骨造陸屋根平家建
	小動物舎2	手術室, 飼育室	213.84	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
	鶏舎1		51.84	軽量鉄骨プレハブ造平家建
	鶏舎2		25.92	軽量鉄骨プレハブ造平家建
	厩舎		476.97	鉄骨造鉄板葺一部2階建
	厩舎(小)		18.90	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建
	豚舎		597.34	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建
	羊舎		40.71	軽量鉄骨プレハブ造平家建
	牛舎		728.72	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
	危険物倉庫		7.68	コンクリートブロック造波スレート葺平家建
	ボイラー室		49.20	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建(平家建)
更衣室		180.18	木造波タン葺平家建	
倉庫(守衛所横)		38.66	鉄筋コンクリート造陸屋根平家建	
正門守衛所		28.57	鉄筋コンクリート造平家建	
東門守衛所		5.05	軽量鉄骨プレハブ造平家建	
床面積小計		63,488.49		

区分	建物名称	建物の主な内容	床面積(㎡)	構造・階建	
淵野辺キャンパス	附属高等学校	高校1号棟	教室, 食堂, 売店	4,325.82	鉄筋コンクリート造陸屋根5階建
		高校2号棟	教室, 事務室	3,026.29	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建
		体育館		1,082.61	鉄骨鉄筋コンクリート鉄板葺中2階建
		武道館		777.49	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建
		高校部室	部室	337.60	鉄骨造鉄板葺2階建
		高校倉庫		138.80	鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建
		総合グラウンド管理棟	体育教員室, 更衣室	222.31	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建
		総合グラウンド倉庫棟	倉庫	280.80	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建
		床面積小計		10,191.72	
信濃研修場		研究棟		559.54	鉄骨造ルーフィング葺2階建
		職員棟		165.62	木造ルーフィング葺平家建
		床面積小計		725.16	
床面積合計			74,405.37		

ウ. 主な厚生補導施設等

施設等	概要
学生ホール	1階には談話室, シヤワー室, 生協店舗(売店)等があり, 2階にはクラブ部室(25室)がある。学生は, 憩いとコミュニケーションの場として活用している。
クラブハウス1	学生ホールに隣接して建設しており, 1階には防音設備完備の音楽練習場, 弓道場, 相撲部土俵, ボクシング練習場があり, 2階には学生自治会及びクラブ部室(11室)がある。学生は, クラブ活動の拠点として大いに活用している。
クラブハウス2	クラブハウス1の北側に建設しており, 1階にはクラブ部室(4室), 2階には筋力トレーニングやミーティングといった様々な用途に利用可能な多目的ルーム(3室)がある。クラブハウス1と同様, 学生は, クラブ活動の拠点として大いに活用している。
麻布総合グラウンド	敷地面積は15,906㎡。各種球技(野球, サッカー, ラグビー等)及び陸上競技に使用できる総合グラウンドである。 学生は, クラブ活動等で利用するほか, 大学祭などの各種イベントの会場として活用している。また, 附属高等学校では, 授業や部活動等で大いに利用している。
麻布総合グラウンドの管理棟・倉庫棟	麻布総合グラウンド西側に大学と附属高等学校の共同施設として建設。管理棟2階には, 多目的室(2室)があり, クラブハウス2と同様の設備がそろう, 筋力トレーニングやミーティング等に利用できる。倉庫棟には広い収納スペースがある。
4号館	1階には生協が運営するカフェテリア方式の学生食堂(300席)があり, 2～3階には教員室や留学生研修室等がある。学生は, 食堂利用のほか, 授業の合間の休憩, 自主学習やコミュニケーションの場として活用している。
百十周年記念会館	創立百十周年を記念し, 平成14年10月に竣工した。1階にはカフェテリア方式の食堂(150席)があり, 2階には多用途に利用できる会議室や麻布大学同窓会の事務室がある。
バーベキュー場	4号館横に設置しており, 学生はルールを厳守の上, 懇親の場として活用している。
談話室	3号館1階に設置しており, 学生は, 授業の合間や昼食時に懇親の場として利用するほか, 放課後の自主学習の場としても活用している。
ラウンジ	獣医学部棟1階の一部を, ラウンジとして開放している。学生は, 授業の合間の休憩や懇親の場として利用するほか, 放課後の自主学習の場としても活用している。
自習室	獣医学部棟1階115室, 116室及び117室を学生用自習室として開放している。なお, 116室及び117室については, 11月初旬から2月下旬にかけて, 獣医師国家試験を控えた獣医学科6年次学生優先の自習室としている。
大学テニスコート	敷地面積は1,517.7㎡, 設置コートは2面。クラブハウス2の北側に設置しており, 学生は, クラブ活動等で利用している。
附属高等学校テニスコート	敷地面積は1,424.5㎡, 設置コートは2面。附属高等学校2号棟の北側に設置しており, 主に附属高等学校の授業やクラブ活動で利用される。
武道館	床面積は, 777.49㎡。1階には柔道場があり, 2階には剣道場がある。主に附属高等学校の授業やクラブ活動で利用されるほか, 大学の学生も, クラブ活動等で使用している。
附属高等学校食堂・売店	附属高等学校1号館1階に設置しており, 食堂の収容数は120席である。また, 食堂の隣には生協が運営する売店を設置している。生徒等は, 昼食時に利用するほか, 憩いの場として活用している。
信濃研修場	昭和52年6月, 学生・生徒等の学外教育施設として開設した。研修棟には宿泊室(7室), 宿泊室兼研修室(1室), 研修室兼食堂があり, 職員棟には宿泊室(4室)及び応接室兼会議室(1室)がある。

⑧学生納付金

ア. 麻布大学

平成20年度以降入学に係る学納金

(単位 円)

学部・学科・コース			年次	1年次		2年次以降	
				前期	後期	前期	後期
獣医学部	獣医学科	入学金	250,000	—	—	—	
		施設設備費	200,000	200,000	200,000	200,000	
		授業料	625,000	625,000	625,000	625,000	
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000	
		教育充実費	150,000	150,000	150,000	150,000	
		合計	1,325,000	1,075,000	1,075,000	1,075,000	
	動物応用科学科	入学金	250,000	—	—	—	
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000	
		授業料	425,000	425,000	425,000	425,000	
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000	
教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000			
合計	975,000	725,000	675,000	675,000			
生命・環境科学部	臨床検査技術学科	入学金	250,000	—	—	—	
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000	
		授業料	425,000	425,000	425,000	425,000	
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000	
		教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000	
		合計	975,000	725,000	675,000	675,000	
	食品生命科学科	食の安全コース	入学金	250,000	—	—	—
			施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
			授業料	425,000	425,000	425,000	425,000
		バイオの科学コース	実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000
			教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000
			合計	975,000	725,000	675,000	675,000
	環境科学科	環境技術コース	入学金	250,000	—	—	—
			施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
			授業料	350,000	350,000	425,000	425,000
		環境と社会コース	実験実習費	—	—	100,000	100,000
			教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000
			合計	800,000	550,000	675,000	675,000
	環境科学科	環境と社会コース	入学金	250,000	—	—	—
			施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
授業料			350,000	350,000	350,000	350,000	
環境と社会コース		実験実習費	—	—	—	—	
		教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000	
		合計	800,000	550,000	500,000	500,000	

(注) 1 入学金は、入学年度のみ適用する。
2 編入学者の初年度の学納金については、「2年次以降」の金額に入学金を加えた金額を適用する。

平成19年度以前入学に係る学納金

(単位 円)

学部・学科			年次	1年次		2年次以降	
				前期	後期	前期	後期
獣医学部	獣医学科	入学金	250,000	—	—	—	
		施設設備費	200,000	200,000	200,000	200,000	
		授業料	625,000	625,000	625,000	625,000	
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000	
		教育充実費	150,000	150,000	150,000	150,000	
		合計	1,325,000	1,075,000	1,075,000	1,075,000	
	動物応用科学科	入学金	250,000	—	—	—	
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000	
		授業料	425,000	425,000	425,000	425,000	
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000	
教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000			
合計	975,000	725,000	675,000	675,000			
環境保健学部	健康環境科学科	入学金	250,000	—	—	—	
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000	
		授業料	425,000	425,000	425,000	425,000	
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000	
		教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000	
		合計	975,000	725,000	675,000	675,000	
	衛生技術学科	入学金	250,000	—	—	—	
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000	
		授業料	425,000	425,000	425,000	425,000	
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000	
		教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000	
		合計	975,000	725,000	675,000	675,000	
	環境政策学科	入学金	250,000	—	—	—	
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000	
		授業料	350,000	350,000	350,000	350,000	
		実験実習費	—	—	—	—	
		教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000	
		合計	800,000	550,000	500,000	500,000	

(注) 1 入学金は、入学年度のみ適用する。
2 編入学者の初年度の学納金については、「2年次以降」の金額に入学金を加えた金額を適用する。

イ. 麻布大学大学院

(単位 円)

項目	区分 年度	動物応用科学専攻 博士前期課程		獣医学専攻博士課程・ 動物応用科学専攻博士後期課程		環境衛生政策専攻 (修士課程)		環境保健科学専攻 博士前期課程		環境保健科学専攻 博士後期課程	
		初年度	次年度以	初年度	次年度以	初年度	次年度以	初年度	次年度以	初年度	次年度以
学 納 金	入学金	250,000	—	250,000	—	250,000	—	250,000	—	250,000	—
	授業料	600,000	600,000	600,000	600,000	500,000	500,000	600,000	600,000	600,000	600,000
	実験・実習費	200,000	200,000	200,000	200,000	—	—	200,000	200,000	200,000	200,000
	施設設備費	150,000	—	150,000	—	150,000	150,000	150,000	—	150,000	—
	合計	1,200,000	800,000	1,200,000	800,000	900,000	650,000	1,200,000	800,000	1,200,000	800,000

- 注) 1 施設設備費は本学を卒業した者に限り免除とする。
2 本学の博士前期課程修了者が博士後期課程に入学した場合の入学金は免除する。

【授業料の免除・徴収猶予】

○麻布大学学則

第62条 経済的理由によって納付が困難であり、かつ学業が優秀と認める場合、その他やむを得ない事情があると認めた場合は、授業料・実験実習費・教育充実費及び施設設備費の全部若しくは一部を免除し、又は徴収を猶予することがある。

○麻布大学大学院学則

第19条の2 経済的理由によって学納金納付が困難であり、かつ学業が優秀と認めた場合又はその他やむを得ない事情があると認めた場合は、授業料・実験実習費及び施設設備費の全部若しくは一部を免除し、又は徴収を猶予することがある。

⑨ 学生支援と奨学金

ア. 学生支援体制(麻布大学・麻布大学大学院)

支援内容	支援組織等	場所	具体的な支援内容等
就職支援・ 進路相談	学生支援課	8号館1階	進路・就職についての相談、斡旋、就職相談室の受付、就職に必要な事務手続、キャリア形成支援、インターンシップ、就職活動関係講座等の開催、企業等説明会の開催など
	就職閲覧室	8号館1階	就職及び進学に関する資料の展示・配付、求人情報の提供、就職情報検索専用パソコンの設置など
	キャリア・就職相談室	本館2階	相談員による就職相談、模擬面接など
教育支援・ 履修支援	附属教育・推進センター	8号館1階	リメディアル授業の開講、チューターによる個別指導、履修相談、学生による授業評価の実施など
	学生支援課	8号館1階	入学前教育、教職課程、各種資格、単位互換、転学部・転学科、学外実習に関する事。その他、履修・成績に関する教務全般、履修相談、休学、退学、学生の個人情報の変更に関する事
研究支援	研究推進・支援本部 学術支援課	本館2階	知的財産権等研究成果及び競争的資金を含む外部資金(共同研究、受託研究など)に関する事等の研究活動支援全般
生活支援	学生支援課	8号館1階	学生生活相談、各種証明書の発行、自転車・ロッカーの登録、課外活動支援など
経済支援	学生支援課	8号館1階	各種奨学金の案内、学納金の徴収猶予・免除等の相談、アルバイト求人案内など
保健・衛生	健康管理センター	8号館1階	健康相談、応急処置、定期健康診断、健康診断証明書の発行、検査など
メンタルヘルス	学生相談室	本館2階	カウンセラー(学外の臨床心理士等)による相談
ハラスメント 防止	ハラスメント防止委員会	—	セクシュアル・ハラスメント等の人権侵害の防止と被害からの救済・回復、啓発活動
	セクシュアル・ハラスメント等相談員	—	学内相談員(教職員)によるハラスメント相談
	ハラスメント相談室	本館2階	学外相談員によるハラスメント相談

クラス担任

麻布大学では、学生の最も身近な相談相手として、各学科各年次に2～3人の「クラス担任」を置いている。
クラス担任は、クラス全体の問題を始め、学生生活で直面する学習上の問題、健康、生活、経済面などの個人的な悩みについても相談に応じ、助言等を行っている。

イ. 奨学金

◇ 麻布大学・麻布大学大学院

種類	貸与の種類	対象・条件	金額
麻布大学奨学金	無利子	2年次以上(原則)	学納金相当額
麻布大学父母会奨学金	無利子	2年次以上	学納金相当額
麻布大学同窓会奨学金	無利子	最終学年	学納金相当額
日本学生支 援機構 (JASSO)	第1種	学部学生	
		自宅通学者	54,000円又は30,000円より選択(月額)
		自宅外通学者	64,000円又は30,000円より選択(月額)
		大学院学生(修士・博士前期)	50,000円又は88,000円より選択(月額)
	大学院学生(博士後期)	80,000円又は122,000円より選択(月額)	
第2種	有利子	学部学生	30,000円, 50,000円, 80,000円, 100,000円, 120,000円より選択(月額) (獣医学科は、140,000円も選択可)
大学院学生 (修士・博士前期・博士後期)		50,000円, 80,000円, 130,000円, 150,000円より選択(月額)	

ウ. 平成23年度 各種奨学金貸与状況

平成24年3月31日現在

◇麻布大学

(人)

区分		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	小計	合計
麻布大学奨学金		0	3	1	3	2	0	-	9
麻布大学父母会奨学金		0	2	1	0	0	0	-	3
麻布大学同窓会奨学金		0	0	0	1	0	0	-	1
日本学生支援機構奨学金(JASSO)		221	248	261	204	73	66	-	1,073
獣医学科 (学生数925人)	第1種	17	20	23	14	22	25	121	402
	第2種	35	42	51	61	51	41	281	
	(併用者)	(10)	(7)	(10)	(8)	(6)	(8)	(49)	
動物応用科学科 (学生数553人)	第1種	18	19	15	12	-	-	64	206
	第2種	32	36	43	31	-	-	142	
	(併用者)	(5)	(3)	(7)	(3)	-	-	(18)	
健康環境科学科 (学生数6人)	第1種	-	-	-	0	-	-	0	0
	第2種	-	-	-	0	-	-	0	
	(併用者)	-	-	-	0	-	-	(0)	
衛生技術学科 (学生数11人)	第1種	-	-	-	1	-	-	1	3
	第2種	-	-	-	2	-	-	2	
	(併用者)	-	-	-	(1)	-	-	(1)	
環境政策学科 (学生数12人)	第1種	-	-	-	0	-	-	0	0
	第2種	-	-	-	0	-	-	0	
	(併用者)	-	-	-	0	-	-	(0)	
臨床検査技術学科 (学生数339人)	第1種	7	7	13	9	-	-	36	163
	第2種	33	37	35	22	-	-	127	
	(併用者)	(1)	(2)	(6)	(1)	-	-	(10)	
食品生命科学科 (学生数333人)	第1種	8	10	7	3	-	-	28	127
	第2種	23	28	26	22	-	-	99	
	(併用者)	(2)	(4)	(3)	(1)	-	-	10	
環境科学科 (学生数456人)	第1種	10	3	7	3	-	-	23	172
	第2種	38	46	41	24	-	-	149	
	(併用者)	(2)	(0)	(1)	(1)	-	-	(4)	
合計		221	253	263	208	75	66	-	1,086

※ 日本学生支援機構奨学金(JASSO)の併用者は、内数

◇麻布大学大学院

(人)

区分		1年次	2年次	3年次	4年次	小計	合計
日本学生支援機構奨学金(JASSO)							
獣医学専攻 博士課程	第1種	0	2	1	1	4	5
	第2種	0	0	0	1	1	
	(併用者)	(0)	(0)	(0)	(1)	(1)	
動物応用科学専攻 博士課程前期	第1種	14	11	-	-	25	29
	第2種	0	4	-	-	4	
	(併用者)	(0)	(0)	-	-	(0)	
動物応用科学専攻 博士課程後期	第1種	3	0	4	-	7	7
	第2種	0	0	0	-	0	
	(併用者)	(0)	(0)	(0)	-	(0)	
環境保健科学専攻 博士課程前期	第1種	4	4	-	-	8	11
	第2種	1	2	-	-	3	
	(併用者)	(0)	(0)	-	-	(0)	
環境保健科学専攻 博士課程後期	第1種	0	0	2	-	2	3
	第2種	0	0	1	-	1	
	(併用者)	(0)	(0)	(1)	-	(1)	
環境衛生政策専攻 修士課程	第1種	0	1	-	-	1	2
	第2種	0	1	-	-	1	
	(併用者)	(0)	(1)	-	-	(1)	
合計		22	25	8	2	-	57

※ 日本学生支援機構奨学金(JASSO)の併用者は、内数

⑩学生表彰制度

ア. 麻布大学

◇学業成績優秀者

年度始めに、各学科から年次ごとに原則として3人(獣医学科及び動物応用科学科は4人)の学業成績及び人物の優秀な者を表彰する。さらにこの賞は、複数回受賞することができ、賞状・副賞及び奨学金が授与される。

また、卒業時には、越智賞受賞者を除く各学科から原則として3人(獣医学科及び動物応用科学科は4人)が受賞し、賞状及び副賞が授与される。

◇越智賞

麻布獣医学園越智基金により、昭和63年度から設けられた制度で、毎年度の卒業生で学業成績及び人物が優秀な者に対して、各学科1人を表彰する。表彰は、卒業式に行われ、賞状と副賞が授与される。

◇増井光子賞

麻布獣医学園増井光子基金により、平成24年度から設けられた制度で、学部学生で、所属学部の専門領域において、各種の受賞など学会等で高く評価され、今後の可能性が期待されると認められる者及び社会活動等で顕著な功績を上げた者を表彰する。

また、受賞者には、年度始めに賞状と副賞が授与される。

◇学生功労賞

麻布大学の学生及び団体が、スポーツ若しくは文化活動において、顕著な業績を上げ、又は社会に対して模範となることを行い、もって本学の名誉を著しく高めた場合に表彰する。また、受賞者には、賞状と副賞が授与される。(年間表彰予定数:個人5人, 3団体)

◇日本獣医師会優等卒業生

日本獣医師会より、獣医学教育の振興のため、獣医学科の優秀な卒業生1人に対し、優等卒業生の表彰等が卒業式に行われる。

⑪学生の課外活動の状況

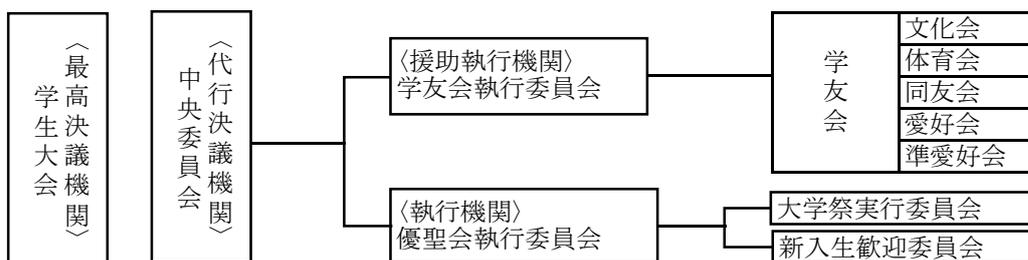
ア. 学生団体・生徒会

◇麻布大学全学学生自治会

本会は、本学学部学生全員(獣医学科5, 6年次を除く。)で構成し、全員の民主的精神、自主的活動により、大学生活の維持充実を図り、学生自治の健全化に努め、学風・環境の刷新に資することを目的に活動している。

学生大会等で学生から提案された要望などについては、大学と話し合いを行い、学生生活がより充実したものになるように活動している。

また、「大学祭」や「新入生歓迎週間」についても、学生自治会中央委員会が中心になって実行委員会を組織する等活動を行っている。



◇獣医学科5・6年生会

全学学生自治会とは独立した固有の自治団体として、獣医学科5・6年次の学生によって、中央委員会、国家試験対策委員会、アルバム委員会等を構成し、獣医師国家試験対策、獣医学科卒業記念アルバム作製等を中心とした活動を行っている。

◇謝恩会実行委員会

獣医学科、動物応用科学科、生命・環境科学部の最終年次の学生で構成され、毎年3月に実施されるそれぞれの謝恩会の企画・運営を行う。

◇卒業アルバム委員会

獣医学科、動物応用科学科、生命・環境科学部の最終年次の学生で構成され、卒業アルバムの発行に向けて外部業者と共同作業で作製・編集に関する活動を行う。

イ. クラブ・サークル活動

◇麻布大学・麻布大学大学院

クラブ・サークル名	部員数(人)	活動日	活動時間	活動場所	顧問名	部費(年額)・[入会金]
農村文化研究会	20	火	13:20～13:40	学生ホール2階	入来	2,000円・[0]
美術部	48	自由参加	部会(金13:20～14:00)	部室	斉藤(康)	0
麻布大学茶道部	14	月・木	14:00～17:00	茶道先生宅	須永	2,000円・[0]
野鳥研究部	35	月1回(土・日)	部会(13:30～14:00)	9304教室	田中(智)	3,000円・[0]
軽音楽部	94	月・木	部会(13:20～13:40)	音楽練習場	石井	12,000円・[2,000円]
吹奏楽部	85	火・木・金	18:00～21:00	吹奏楽部部室・大教室・レハスト	山本(雅)	8,000円・[500]
童遊会	45	水	部会(水13:00～13:30)	学生ホール2階部室	—	0
探検部	21	土・日		学外	佐俣	5,000円・[0]
動物研究会	30	月	13:20～	部室	市原	3,000円・[0]
写真部	30	月・金	13:20～	部室	角野	1,000円・[0]
麻布大学応援団	5	水	13:00～14:00	道場	猪股	0
空手道豪友会	9	火・木・金	18:00～20:00	学内道場	白井	6,000円・[3,000円]
柔道部	7	月・火・木	19:00～20:00	湖野辺高校柔道場	和田	0
剣道部	15	火・木	19:00～20:30	湖野辺高校剣道場	久松・(菅沼)・神作	0
空手道部	2	火・木・金	18:00～20:00	田名北小学校・空手道場	堂ヶ崎	0
ラグビー部	31	月・水・木	19:00～21:00	麻布総合グラウンド	浅利	5,000円・[0]
麻布大学サッカー部	20	火・木・金	19:00～21:30	麻布総合グラウンド	—	—
ボクシング部	36	火・木	18:00～21:00	クラブハウス棟1階ボクシングジム	古畑	0
麻布大学体育会準硬式野球部	15	水・金	19:00～21:30	麻布総合グラウンド	信田	0
麻布大学体育会合気道部	15	月～金	18:30～20:30	柔道場	西田	0
麻布大学体育会弓道部	32	月～金	16:00～19:00	弓道場	青木	7,000円・[0]
麻布大学体育会射撃部	17	水	18:00～20:00	9201教室	阪口	6,000円・[1,000円]
馬術部	9	月～日	6:30～9:00	厩舎・馬場	武藤	36,000円・[0]
籠球部	7	火・木	19:00～22:00	アリーナ	川上	0
陸上競技部	15	月・水・金	18:00～21:00	横山公園	並河・根尾	3,600円・[0]
アメリカンフットボール部	13	月・火・金	19:00～21:00	麻布総合グラウンド	岡林	130,000円・[0]
麻布大学硬式庭球部	20	月・木・土	月・木18:00～20:00, 土10:00～13:00	大学テニスコート	荻原	5,000円・[0]
麻布大学拳志会館	7	月・水・木	月19:00～21:00, 水・木18:30～20:00	大野北中・学内道場・青少年ホール	村上	0
CAPC	16	毎日	8:00～22:00	クラブハウス棟2階部室	並河	1,500円・[1,500円]
麻布大学バレーボール同好会	20	火・木・土	19:00～22:00	アリーナ	—	0
バドミントン同好会	39	月・水・金	19:00～22:00	アリーナ	植竹	8,000円・[1,000円]
地球サークル環境村	32	金	18:00～19:00	部室	原田	0
A.T.P jovial	47	水	18:00～21:00	大学テニスコート	—	2,000円・[0]
太極拳サークル孝雄の部屋	9	木・金	13:10～13:45	空手道場	川上	0
ソフトボール同好会	50	火・水・木	19:00～22:00	麻布総合グラウンド	(本庄)	2,000円・[0]
ZERRIA	56	月・金	19:00～21:00	麻布総合グラウンドD面	坂口	3,000円・[0]
フットサル同好会blossom	26	月・木	19:00～22:00	麻布総合グラウンド	—	0
矢部鍵盤	39	不定期	—	青少年センター・8号館ホール	—	0
水泳同好会	9	金	13:20～14:00	8号館7階	植竹	50,000円・[0]
tire～人と動物の関係を考える会～	45	火	13:00～13:50	9305教室	菊水	1,000円・[0]
英会話サークルESS	20	水・金	13:00～13:45	9号館4階会議室	リンチ	5,000円・[0]
デジタルツール研究会	30	月・火・金	13:00～14:00	9307教室	—	0
じ～な	21	金	部会(金13:00～13:50)	9306教室	村山(史)	0
ハンドボール同好会	30	火・木	火18:00～21:00, 木19:00～22:00	アリーナ, 高校グラウンド	坂田	約6,000円・[0]
麻舞TRIBE	75	月～金	18:00～21:00	9301教室	坂田	5,000円・[0]

クラブ・サークル名	部員数(人)	活動日	活動時間	活動場所	顧問名	部費(年額)・[入会金]
麻布大学国際交流会	13	不定期	不定期	-	-	0
SeaDancer	52	月1回	部会(木13:20~14:00)	伊豆の海(タイピング), 8405教室(部会)	-	3,000円・[0]
梅部愛好会	2	不定期	不定期	-	-	0
4S freestyle	15	不定期	-	-	-	0
麻布大学ISO委員会	20	全体ミーティング月	13:00~	9号館4階セミ室	大倉	0
Green Nova☆	19	月・木	13:05~13:50	月9203教室 木9202教室	村山(史)	0
テニスサークルスマッシュ	101	火・金	18:00~21:00	大学テニスコート	-	1,000円・[5,000円]
弦楽サークルsforzando	15	月・水・金	18:00~21:00	8号館7階, 3101教室	-	0
麻布大学ブラジリアン歌舞サークル	17	水・金	19:00~21:00	柔道部	坂田	0
フォークソングサークル ~Light's~	48	月~金	18:00~21:00	9304教室	-	3,000円・[0]
A.T.Cばびんぼん	27	不定期	18:30~21:30	相模原体育館	-	1,000円・[0]
D.D	35	日	18:00~21:00	淵野辺東小学校	-	0
日本獣医学生協会 (JAVS)麻布支部	48	不定期	7のつく日の昼休 みに支部ミーティング あり	-	阪口	1,000円(2年次より)・[500円]
UNIVERSE	40	土・日	19:00~22:00	麻布総合グラウンド	-	6,000円・[0]
水生生物研究部	53	-	部会(木13:20~13:45)	メールで連絡, 8405教室	-	0
麻布学術研究会~知的好 奇心をくすぐる会~	23	不定期	不定期	-	阪口	0
Choeur~クール~	10	火・水・木	火・水13:00~ 14:00 火・木18:00~ 20:30	火・水9302教室 火・木9306教室	-	0・[1,000円]
Sunrise	11	日	19:00~22:00	体育館	-	10,000円・[0]

愛好会

⑫国際交流

◇国際交流協定校

学術交流協定一覧

	国名	学術交流協定校・機関	協定締結年	備考
1	パラグアイ共和国	アスンシオン大学	昭和61年	
2	アメリカ合衆国	ペンシルヴァニア大学	平成2年	(注) 学部間協定である。
3	中華人民共和国(台湾)	国立中興大学	平成9年	
4	大韓民国	全北大学校	平成16年	
5	中華人民共和国	吉林農業大学	平成17年	
6	中華人民共和国	北京農学院	平成18年	
7	タイ王国	チェンマイ大学	平成19年	
8	モンゴル国	モンゴル大学	平成20年	
		モンゴル科学アカデミー		
		フスタイ国立公園		
		モンゴル自然史博物館		

* 学部間協定

学術交流準協定一覧

	国名	学術交流準協定校	協定締結年	備考
1	英国 (スコットランド)	エジンバラ大学	平成20年	(注) 学部間協定である。

◇海外派遣学生数

平成24年5月1日現在

(人)

学部・研究科等		海外派遣学生数
学 獣 部 医	獣医学科	27
	動物応用科学科	4
生 命 科 学 ・ 部 環 境	臨床検査技術学科	0
	食品生命科学科	1
	環境科学科	3
学部計		35
研 獣 究 医 科 学	獣医学専攻博士課程	0
	動物応用科学専攻博士前期課程	0
	動物応用科学専攻博士後期課程	0
環 境 研 究 保 健 科 学	環境保健科学専攻博士前期課程	0
	環境保健科学専攻博士後期課程	0
	環境衛生政策専攻修士課程	0
研究科計		0
合計		35

※ 学術交流協定校への派遣のみを対象としている。

⑬大学間等の連携

	連携機関	連携内容	協定締結年	備考
1	放送大学	単位互換	平成6年	
2	首都圏西部大学単位互換協定会	単位互換	平成10年	
3	神奈川県教育委員会	部活動支援学生ボランティア事業	平成17年	
4	東京都町田市(町田市学長懇談会)	包括協定	平成18年	
5	相模原町田大学地域コンソーシアム	地域貢献・生涯学習	平成19年	
6	財団法人日本盲導犬協会	包括協定	平成20年	
7	財団法人C. W. ニコル・アフアの森財団	学術交流	平成22年	
8	かながわ産学公連携推進協議会	産学官連携	平成22年	
9	神奈川県(県及び県内農学系4大学)	都市農業振興	平成24年	

⑭高大連携協定校

	協定校	協定締結年	備考
1	神奈川県立座間高等学校	平成15年	
2	神奈川県立城山高等学校	平成15年	
3	神奈川県立麻溝台高等学校	平成16年	
4	神奈川県立相原高等学校	平成16年	
5	神奈川県立大和東高等学校	平成22年	
6	神奈川県立川崎工科高等学校	平成22年	
7	神奈川県立相模原高等学校	平成23年	

(3) 研究に関する情報

① 競争的資金等受入状況

ア. 文部科学省及び厚生労働省 科学研究費補助金 ※

交付元	研究種目	件数 (件)		交付金額 (千円)		
				直接経費	間接経費	計
文部科学省	新学術領域研究	新規	1	7,500	2,250	9,750
		継続	0	0	0	0
	基盤研究(A) 海外	新規	0	0	0	0
		継続	1	2,200	660	2,860
	基盤研究(A)	新規	1	14,500	4,350	18,850
		継続	0	0	0	0
	基盤研究(B)	新規	1	3,700	1,110	4,810
		継続	0	0	0	0
	基盤研究(C)	新規	9	14,600	4,380	18,980
		継続	10	9,000	2,700	11,700
	挑戦的萌芽研究	新規	3	4,500	1,350	5,850
		継続	1	1,000	300	1,300
	若手研究(A)	新規	0	0	0	0
		継続	0	0	0	0
	若手研究(B)	新規	4	6,500	1,950	8,450
		継続	4	3,500	1,050	4,550
	奨励研究	新規	1	600	0	600
		継続	0	0	0	0
	特別研究員奨励費	新規	4	2,800	0	2,800
継続		1	700	0	700	
	小計	新規	24	54,700	15,390	70,090
		継続	17	16,400	4,710	21,110
厚生労働省	健康安全・危機管理 対策総合研究事業	新規	1	3,847	1,153	5,000
		継続	0	0	0	0
	小計	新規	1	3,847	1,153	5,000
		継続	0	0	0	0
合計			42	74,947	21,253	96,200

※本学教員等が「研究代表者」となっているもの。

イ. その他の競争的資金等

交付元	研究助成名/課題	研究者	受入金額 (千円)
文部科学省 (独立行政法人科学技術振興機構含む)	平成23年度 研究開発施設共用等 促進費補助金(ナショナルバイオリ ソースプロジェクト)	「ラット精子に関する基盤技術の整備」(体外 受精法に利用可能な精子凍結法の開発)	獣医学部 教授 柏崎 直巳 獣医学部 准教授 伊藤 潤哉 7,000 (間接経費なし)
	平成23年度第2回 研究成果最適 展開支援プログラム(A-STEP)探 索タイプ	「エルシニア症防御のための遺伝子組み換 えワクチンの開発」	獣医学部 教授 宇根 有美 938
内閣府	平成23年度 食品健康影響評価技術 研究	「ポジティブコントロール物質暴露動物の作 成、供与」	生命・環境科学部 教授 守口 徹 2,000
		「日本における農薬等の急性参照用量設定のため のガイダンス作成に関する研究」のうち「農薬にお ける急性参照用量の設定シミュレーションと問題 点」及び「単回投与毒性試験の実施と評価」	獣医学部 准教授 代田 真理子 3,500
経済産業省	戦略的基盤技術高度化支援事業 (平成22年度からの継続)	「廃水産資源および食品加工残渣を原料と する高機能性発酵飼料製造技術の開発」	獣医学部 教授 森田 英利 2,194
	平成23年度民間企業の研究開発 力強化及び実用化支援事業	「末梢血流改善から「体の冷え」を予防する 機能性卵白ペプチドの開発」	獣医学部 准教授 折戸 謙介 5,000
厚生労働省 (独立行政法人医薬基 盤研究所含む)	平成23年度 保健医療分野におけ る基礎研究推進事業	「エピゲノム解析を元にした行動機能の改善 効果評価」	獣医学部 教授 菊水 健史 6,000
農林水産省	平成23年度 新たな農林水産政策 を推進する実用技術開発事業委託 事業	「新たな乳房炎検査システムの胃開発と乳 房炎防除プログラム実践促進モデルの確 立」	獣医学部 講師 河合 一洋 3,000
自治体	川崎市 平成23年度 産学共同研 究開発プロジェクト補助金	「血管拡張作用を有するプロスタグランジン E1(PGE1) 含有外用剤の開発」	獣医学部 准教授 伊東 正吾 1,440
	さがみはら産業創造センター バイオベンチャー人材活用事業(平成22年度から の継続)		獣医学部 教授 阪口 雅弘 16,818
財団等	平成23年度日本中央競馬会畜産 振興事業	アニマルウェルフェアに対応した飼養管理 技術確立事業	獣医学部 教授 田中 智夫 三カ年計画, 初年度は受 入れなし
受入金額合計(千円)			47,890

②学内競争的資金の状況

学内競争的資金	件数	金額(千円)	
大学院整備重点化経費	獣医学研究科	26	31,300
	環境保健学研究科	7	6,200
特色ある大型研究プロジェクト経費	—	—	0
知財展開研究経費	獣医学部	1	2,500
	生命・環境科学部	1	2,500
若手育成研究経費	獣医学部	4	2,000
	生命・環境科学部	1	500
	附属動物病院	1	500

③知的財産データ〔平成14年度～平成23年度の推移(職務発明を対象とする。)]

年度	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	合計
出願・登録											
国内特許出願	7	3	3	5	4	2	6	0	0	2	32
海外特許出願	3	2	0	2	5	3	0	0	0	0	15
国内外審査請求	4	2	2	3	1	0	1	0	0	1	14
国内特許登録	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
特許登録	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
商標登録	0	0	0	2	0	1	2	0	0	0	5

ア. 国内特許出願

年度	所属	研究者名	タイトル	出願番号
14	獣医学部	太田 光明	魚食性動物用餌	特願2002-231639
	環境保健学部	荻原 喜久美	プタインターロイキン8の製造方法	特願2003-329010
17	環境保健学部	其木 茂則	ダイオキシン分解能を有する形質転換植物体、及びその製造に用いられるプラスミドベクター及び遺伝子、並びにこの遺伝子でコードされるタンパク質	特願2005-161233
	獣医学部	森田 英利	抗肥満剤及び抗肥満食品	特願2007-528471
	環境保健学部	其木 茂則	ダイオキシン類汚染のスクリーニング用DNAアレイ、及びスクリーニング方法、並びにダイオキシン類モニター用遺伝子	特願2005-231551
	獣医学部	菅沼 常德	動物座標決め固定装置	特願2005-307858
	環境保健学部	村山 洋	標的配列の特異的高感度増幅法	特願2007-552021
	環境保健学部	森田 重光	流動微小物質用の放射線線量計、及び放射線線量の測定方法	特願2008-506234
18	獣医学部	江口 祐輔	害獣の侵入防止用電気柵システム	特願2006-242277
	環境保健学部	村山 洋	RNAスプライシングの検出システム	特願2009-500262
19	環境保健学部	岩橋 和彦	ジアゼパム結合阻害物質(DBI)遺伝子の多型分析	特願2007-157189
	環境保健学部	堂ヶ崎 知格	キク科植物由来の抗酸化剤及びその製造方法並びに2,4-ヘキサジエナル誘導体	特願2007-159809
	獣医学部	田中 和明	プタバータ3アドレナリンレセプター遺伝子の多型に基づくプタ形質診断方法	特願2007-149480
	獣医学部	折戸 謙介	閉塞性の末梢動脈疾患治療剤	特願2008-065448
20	生命・環境科学部	久松 伸	核酸構成塩基の偏在性を表す方法	特願2008-195049
	生命・環境科学部	荻原 喜久美	イヌインターロイキン8(IL-8)および腫瘍壊死因子(TNF- α)持続産生細胞株の作出	特願2008-243310
	生命・環境科学部	久松 伸	塩基配列間の類似性を解析する方法	特願2008-257190
	獣医学部	西田 利徳	腎疾患の検出方法	特願2008-317179
	獣医学部	植竹 勝治	被毛ミネラル組成による診断方法	特願2009-70475
21	生命・環境科学部	高田 直子	植物への重金属吸収促進および土壌の浄化方法	特願2009-183739
	獣医学部	菊水 健史	マウスフェロモン	特願2009-211748
	獣医学部	菊水 健史	睡眠の改善剤	特願2010-043308

年度	所属	研究者名	タイトル	出願番号
22	附属動物病院	印牧 信行	視軸・視野の測定方法およびその測定装置	特願2010-213880
	生命・環境科学部	守口 徹	(現時点では未公開特許)	特願2010-258565
	獣医学部	上家 潤一	(現時点では未公開特許)	特願2011-29205
23	獣医学部	浅井 史敏	(現時点では未公開特許)	特願2011-84408
	獣医学部	阪口 雅弘	(現時点では未公開特許)	特願2011-152745
	獣医学部	折戸 謙介	(現時点では未公開特許)	特願2011-16240
	獣医学部	植竹 勝治	(現時点では未公開特許)	特願2011-254343
	獣医学部	折戸 謙介	(現時点では未公開特許)	特願2011-251852
	獣医学部	浅井 史敏	(現時点では未公開特許)	特願2011-272679
	獣医学部	森田 英利	(現時点では未公開特許)	特願2012-050007

イ. 海外特許出願

年度	所属	研究者名	タイトル	出願番号
18	獣医学部	森田 英利	ANTI-OBESITY AGENT AND ANTI-OBESITY FOOD	PCT/JP2006/314640
	環境保健学部	村山 洋	SPECIFIC AND SENSITIVE METHOD FOR AMPLIFYING TARGET SEQUENCE	PCT/JP2006/326200
	環境保健学部	森田 重光	RADIATION DOSIMETER FOR FLUID VERY SMALL SUBSTANCES, AND METHOD FOR MEASURING RADIATION DOSE	PCT/JP2007/54665
19	環境保健学部	村山 洋	SYSTEM FOR DETECTING RNA SPLICING	PCT/JP2008/053130
22	獣医学部	菊水 健史	MOUSE PHEROMONE	PCT/JP2010/065759
	獣医学部	菊水 健史	(現時点では未公開特許)	第13/035,717号(US)
23	生命・環境科学部	守口 徹	(現時点では未公開特許)	PCT/JP2011/76643
	獣医学部	上家 潤一	(現時点では未公開特許)	PCT/JP2012/000227
	獣医学部	森田 英利	(現時点では未公開特許)	第61/565976号(US)

ウ. 特許登録

年度	所属	研究者名	タイトル	登録番号
18	環境保健学部	荻原 喜久美	ブタインターロイキン8の製造方法	特許第3876386号 (JP)
22	生命・環境科学部	森田 重光	RADIATION DOSIMETER FOR FLUID VERY SMALL SUBSTANCES, AND METHOD FOR MEASURING RADIATION DOSE	7956334(US)

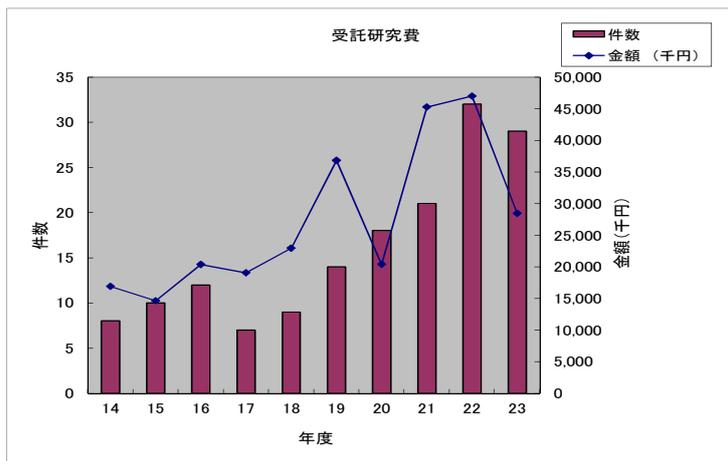
エ. 商標登録

年度	商標番号	商標名称
17	第4852942号	スタディ・ドッグ・スクール Study・Dog・school
	第4928799号	ゲノスキャン・テラーメイドサービス
18	第4982847号	サイコスキャン・テラーメイドサービス
20	第5175657号, 第5175658号	校章, 麻布大学

④受託研究等の受入状況（平成14年度～平成23年度までの推移）

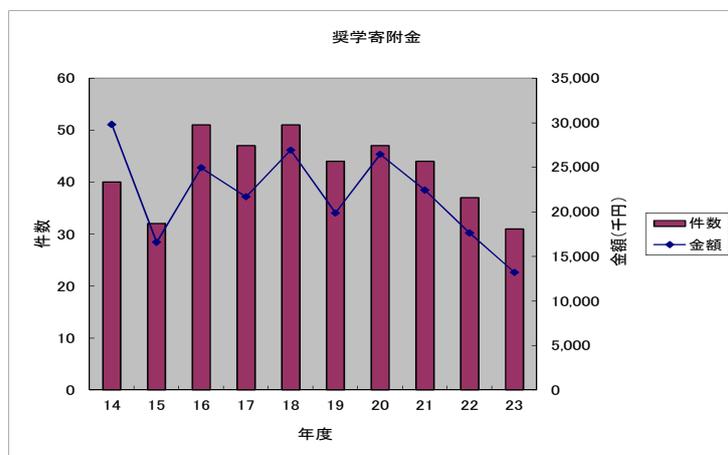
受託研究

年度	金額(千円)	件数
14	16,885	8
15	14,613	10
16	20,362	12
17	19,045	7
18	22,936	9
19	36,799	14
20	20,386	18
21	45,243	21
22	46,989	32
23	28,426	29



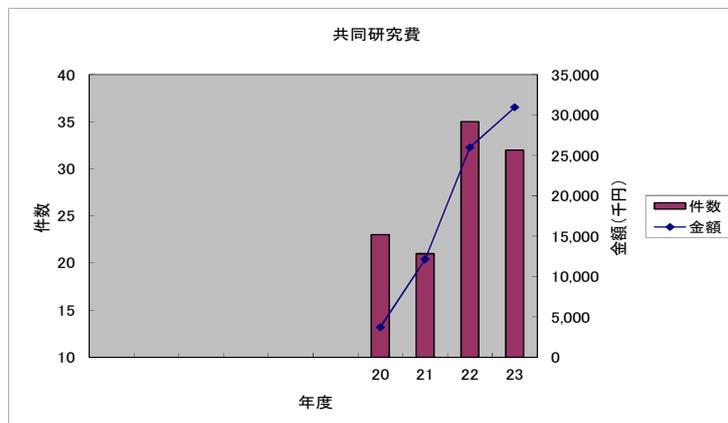
奨学寄附金

年度	金額(千円)	件数
14	29,790	40
15	16,570	32
16	24,938	51
17	21,665	47
18	26,932	51
19	19,864	44
20	26,445	47
21	22,421	44
22	17,612	37
23	13,192	31



共同研究

年度	金額(千円)	件数
20	3,730	23
21	12,121	21
22	25,979	35
23	30,947	32

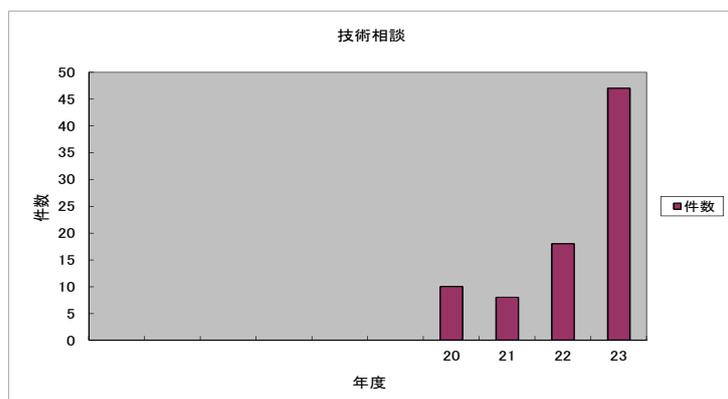


寄附講座

年度	金額(千円)	件数
23	20,000	1

技術相談

年度	件数
20	10
21	8
22	18
23	47



※件数及び金額は、契約した年度をもって記載した。

(4) 麻布大学附属瀨野辺高等学校に関する情報

①教育理念

夢を語り、学問を追究・実践し、誠実なる校風の基、平和社会建設に貢献する。

②教育方針

1. 生徒の個性を伸ばし、確かな学力の向上と未来を切り拓く力の育成 →【学力の向上】
2. 豊かな人間性や望ましい社会性を具え、国際社会に対応できる人材の育成 →【生きる力】
3. 命の大切さを自覚すると共に、人には博愛の心で接し、他人の痛みが分かる人材の育成 →【命の大切さ】

③学校教育目標

1. 学力の向上並びに高校生としての学力の保証
2. 学習の場には積極的に参加し、自ら学ぶ意欲を持った人材の育成
3. 秩序・良識・礼儀を尊重し、他人を思いやる心を持った人材の育成
4. 夢を持ち、未来を拓く強い精神力を健康な身体を持つ人材の育成

④教職員数

平成23年5月1日現在
(人)

	校長	教頭	教諭	契約講師	非常勤講師	専任職員	合計
教職員数	1	2	31	2	25	5	66

⑤コース・クラス別生徒数及び必要単位修得数

平成23年5月1日現在

学年	コース・クラス	組	生徒数(人)	必修科目	選択必修科目	ホームルーム活動	単位数合計	
1年	一般コース	-	-					
	進学クラス	A	35					
		B	35					
	一般クラス	C	31	32			1	33
		D	32					
		E	31					
		F	31					
	体育系コース	G	35	27		1	28	
生徒数小計(人)			230					
2年	一般・理系コース	-	-					
	麻布大・進学クラス	A	30	28	4	1	33	
		B	30					
		C	31					
	理系クラス	D	37	28	2	1	31	
	一般・文系コース	-	-					
	進学クラス	E	38	28	4	1	33	
		文系クラス	F	27	28	2	1	31
G	27							
体育系コース	H	27	25	2	1	28		
生徒数小計(人)			247					
3年	一般・理系コース	-	-					
	麻布大・進学クラス	A	25	28	2	1	31	
		B	25					
	理系クラス	C	30	28	2	1	31	
		D	30					
	一般・文系コース	-	-					
	進学クラス	E	36	26	4	1	31	
	文系クラス	F	39(1)	26	4	1	31	
体育系コース	G	37	25	2	1	28		
生徒数小計(人)			222					
生徒数合計(人)			699(1)					

※ ()は留学者数

⑥学納金

(単位 円)

項目		年度	
		初年度	次年度以降
学納金	入学金	200,000	—
	授業料	396,000	396,000
	教材充実料	24,000	24,000
	施設設備資金	200,000	—
	合計	820,000	420,000

【授業料の免除・徴収猶予】

○麻布大学附属渋野辺高等学校学則

第25条の2 本校は、体育系コースに有為な人材確保と育成に資することを目的として、優秀であると認められた場合は、授業料及び入学金を免除することがある。

○麻布大学附属渋野辺高等学校普通科体育系コース規則

第7条 学則第25条の2により、本コースの奨学生として決定され、本校に入学する者について授業料及び入学金を免除することができる。

⑦奨学金

種類		貸与・給付の別	対象・条件	金額
麻布大学附属渋野辺高等学校普通科体育系コース奨学生		給付 (免除)	普通科体育系コースに入学を希望する者で中学校在学中におけるクラブ活動で一定の成績を修めた者	授業料相当額(3年間) 入学金相当額
高等学校等就学支援金(国の制度)		給付	高等学校等在学者(全在学者)	月額9,900円(年額118,800円) 加算支給の場合あり
神奈川県	私立高等学校等生徒学費補助金	給付	神奈川県内の私立の高等学校等在学者で、生徒・保護者が共に神奈川県在住であり、保護者の住民税の内、市町村民税所得割額が一定の基準を満たす場合	入学金 99,000円 授業料(年額) 118,800円～420,000円 (市町村民税所得割額等の基準により異なる。)
	私立学校生徒学費緊急支援補助金	給付	神奈川県内の私立の小・中学校、高等学校等在学者で、生徒・保護者が共に神奈川県在住であり、保護者の前年4月1日以降に生じた会社都合による退職、倒産、死亡、離婚等により、家計が急変して当年中の所得金額が一定の所得基準に該当する場合	高等学校等の授業料(年額) 59,400円又は118,800円(所得により異なる。)
	高等学校奨学金	貸与 (無利子)	神奈川県在住で、県内の高等学校等に在学する者又は保護者が神奈川県在住で、高等学校等に在学する者収入要件及び成績要件を満たす者	私立 30,000円、40,000円より選択(月額)
東京都私学財団	私立高等学校等授業料軽減助成	給付	生徒・保護者が共に東京都域外にある私立の高等学校等に在学する者で、所得等が一定の基準を満たす場合	授業料(年額) 99,400円～179,400円 (所得等の基準により異なる。)
	東京都育英資金	貸与 (無利子)	生徒・保護者が共に東京都域外に在学する者で、経済的理由により修学が困難であること等	私立高等学校 35,000円(月額)

【奨学金貸与・給付者数】

平成24年3月31日現在
(人)

区分	1年次	2年次	3年次	小計	合計
麻布大学附属渋野辺高等学校普通科体育系コース奨学生	3	3	3	-	9
神奈川県					
私立高等学校等生徒学費補助金	62	80	53	195	211
私立学校生徒学費緊急支援補助金	0	0	0	0	
高等学校奨学金	2	10	4	16	
公益財団法人東京都私学財団					
私立高等学校等授業料軽減助成	24	16	18	58	63
東京都育英資金	1	4	0	5	
合計	92	113	78	-	283

⑧生徒表彰

◇成績優等賞

各学年で教科・科目の成績が優秀な者で、出席常にして品行方正で他の模範たるものを表彰する。
特典として、2・3学年の生徒は、授業料が免除される。(学年で各3人)
また、卒業時には、越智賞(1人)及び竹岸・越智賞(6人程度)を授与することがある。

◇1か年精勤賞

欠席1日以内の者で、欠課時数が6時間以内の者を表彰する。

◇3か年精勤賞

各学年間で精皆勤の者を表彰する。

◇皆勤賞(1か年・3か年)

各学年間欠席・遅刻・早退・欠課が皆無の者を、1・2学年にあつては学年末に、3学年は卒業式に表彰する。
なお、3か年皆勤者には、特典として卒業時に記念品が授与される。

◇特別功労賞

次の(1)～(5)の功績等を挙げ、学校の名譽を著しく高めた生徒を卒業時に表彰する。なお、1・2年生においても、特別の場合は表彰することがある。

- (1) 体育クラブ: 関東大会・全国大会・国体・国際試合等の代表となった個人及びチーム
- (2) 文化クラブ: 研究・作品発表等で優秀であり、県大会以上で受賞したもの
- (3) 読書感想文等のコンクールで優秀であり、県大会以上で受賞したもの
- (4) 人命救助等で善行賞に相当する榮譽又は評価を受けたもの
- (5) (1)～(4)以外のもので、選考委員会において選出されたもの

⑨平成23年度卒業生数及び進路状況

平成24年5月1日現在

(人)

	卒業生数	就職	進学					その他 (浪人等)
			麻布大学	他大学	短期大学	専門学校・各種学校	その他(留学等)	
一般コース	186	0	22	112	16	21	0	15
体育系コース	37	1	3	21	1	9	1	1
合計	223	1	25	133	17	30	1	16

⑩平成24年度入学者選抜結果

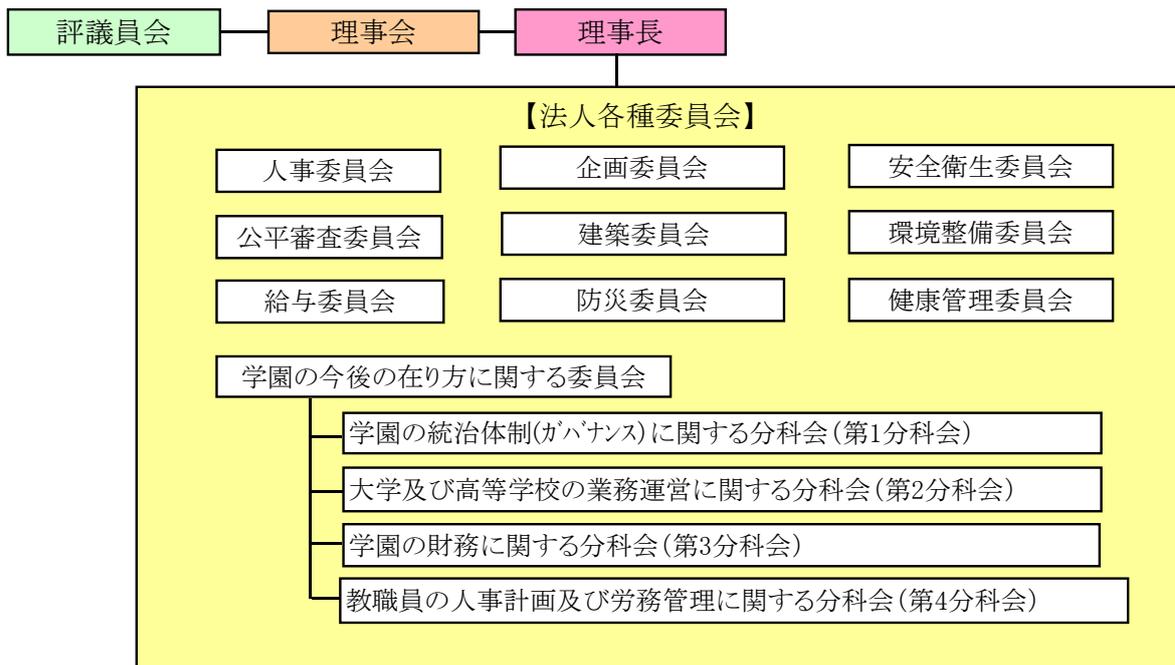
平成24年5月1日現在

(人)

区分	募集人員	平成24年度						平成23年度					平成22年度					
		志願者		受験者	合格者	入学者			志願者		入学者			志願者		入学者		
		計	計	計	男	女	計	計	男	女	計	計	男	女	計			
推薦入試	129	74	74	74	44	30	74	89	55	34	89	99	51	48	99			
一般入試	129	370	368	365	63	61	124	399	59	82	141	384	69	85	154			
合計	258	444	442	439	107	91	198	488	114	116	230	483	120	133	253			

II-3. 管理運営の概要

(1) 学園運営に係る会議等



(2) 会議等の開催状況

① 理事会

月 日	会議等	議 事 内 容
4月26日	第1回 理事会	I 審議事項 1) 学校法人麻布獣医学園寄附行為の一部改正(案)及び同改正に伴う関係規程の一部改正(案)について 2) 麻布大学ティーチング・アシスタント及びリサーチ・アシスタントに関する規則の一部改正(案)について II 報告事項 1) 職員の人事異動について 2) 平成22年度麻布大学・大学院及び附属淵野辺高等学校の卒業生数及び修了者数について 3) 平成23年度麻布大学・大学院及び附属淵野辺高等学校の入学者数について 4) 第57回臨床検査技師国家試験結果について 5) 平成23年度法人各種委員会委員について 6) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会報告について 7) SMAによる資産運用状況について 8) 「麻布大学(仮称)新3号館・エネルギーセンター・新体育館建築工事」の進捗状況について 9) (財)大学基準協会による麻布大学に対する大学評価(認証評価)結果について 10) 東日本大震災に伴う対応について 11) 大学評議会報告について 12) 高等学校報告について 13) 決議無効確認等請求控訴事件等に係る訴訟の判決確定について III その他 1) 遊休不動産(茨城県桜川市)の取扱いについて 2) その他 ①教員の退職に伴う補充について ②平成23年度役員研修会について

月 日	会議等	議 事 内 容
5月26日	第2回 理事会	I 審議事項 1) 生命・環境科学部の寄附講座設置(案)について 2) 教員の人事(案)について 3) 平成22年度事業の実績及び決算について (1) 事業報告書 (2) 資金収支計算書及び消費収支計算書 (3) 貸借対照表 (4) 財産目録 (5) 監事監査報告書 4) 茨城県桜川市の学園所有地の取扱いについて 5) 創立125周年記念事業準備委員会委員の選出について II 報告事項 1) 職員の処分について 2) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会の分科会委員の変更について 3) SMAによる資産運用状況について 4) 「麻布大学(仮称)新3号館・エネルギーセンター・新体育館建築工事」の進捗状況について 5) 競争的資金等(公的機関)獲得状況について 6) 大学評議会報告について 7) 高等学校報告について 8) 評議員選挙管理委員会委員の選出について III その他 1) SMAによる資産運用の取扱方針について
5月26日	第3回 理事会	I 審議事項 1) 学校法人麻布獣医学園寄附行為の一部改正(案)及び同改正に伴う関係規程の一部改正について 2) 平成22年度事業の実績及び決算について (1) 事業報告書 (2) 資金収支計算書及び消費収支計算書 (3) 貸借対照表 (4) 財産目録 (5) 監事監査報告書 3) 茨城県桜川市の学園所有地の取扱いについて 4) 創立125周年記念事業準備委員会委員の選出について
6月28日	第4回 理事会	I 審議事項 1) 麻布大学学則の一部改正(案)について II 報告事項 1) 職員(大学教員)の長期出張の期間延長について 2) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会報告について 3) SMAによる資産運用状況について 4) 「麻布大学(仮称)新3号館・エネルギーセンター・新体育館建築工事」の進捗状況について 5) 生命・環境科学部棟及び麻布獣医学園アリーナの竣工式(案)について 6) 麻布獣医学園における夏期の節電対策について 7) 東日本大震災に伴う被災学生への支援について 8) 大学評議会報告について 9) 高等学校報告について 10) その他 ①地位確認等請求労働審判事件に係る申立書の受理について

月 日	会議等	議 事 内 容
7月26日	第5回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教員の人事(案)について 2) 麻布大学奨学金貸与規程及び同施行細則の一部改正(案)について 3) 麻布大学競争的資金等の運営・管理に関する規程の一部改正(案)について 4) 麻布大学附属渋野辺高等学校学則の一部改正(案)について <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 職員(大学教員)の長期出張について 2) 事務職員の人事について 3) 事務職員の募集について 4) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会報告について 5) (仮称)学校法人麻布獣医学園訴訟総括委員会報告について 6) 第1・四半期の資金収支報告について 7) 第1・四半期の資金残高及び資産運用報告について 8) SMAによる資産運用状況について 9) 第1・四半期の麻布大学附属動物病院の運営状況報告について 10) 「麻布大学(仮称)新3号館・エネルギーセンター・新体育館建築工事」の進捗状況について <ol style="list-style-type: none"> 11) 神奈川県による私立学校検査の実施結果について 12) 東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)被害に対する義援金の送付について 13) 東日本大震災に伴う被災学生への支援について 14) 麻布獣医学園における夏期の節電状況について 15) 平成23年度「口蹄疫等家畜伝染病に対応した獣医師育成環境の整備事業」の申請について 16) 大学評議会報告について 17) 高等学校報告について 18) 地位確認等請求労働審判事件について 19) その他 <ol style="list-style-type: none"> ①職員の処分等について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成23年9月理事会の開催日程変更について 2) 麻布大学附属渋野辺高等学校創立50周年記念式典について
9月30日	第6回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「非常勤職員の手当に係る取扱いについて」の一部改正(案)について 2) 平成24年度予算編成大綱(案)について <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 事務職員の人事について 2) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会報告について 3) SMAによる資産運用状況について 4) 「麻布大学(仮称)新3号館・エネルギーセンター・新体育館建築工事」の竣工について 5) 麻布獣医学園における夏期の節電状況について 6) 神奈川県による私立学校検査の実施結果通知について 7) 教育研究費等の経理に関する調査の実施について 8) 東日本大震災に伴う被災学生への支援について(継続審査分) 9) 平成23年度「口蹄疫等家畜伝染病に対応した獣医師育成環境の整備事業」の選定結果について 10) 大学評議会報告について 11) 高等学校報告について 12) 麻布大学附属渋野辺高等学校創立50周年記念式典について 13) 麻布獣医学園職員会からの要求書に対する回答について 14) 講談社矢部倉庫他解体工事について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成22年度決算監査結果に基づく監事要望事項への対応について 2) 理事懇談会の開催について

月 日	会議等	議 事 内 容
10月25日	第7回 理事会	I 審議事項 1) 平成23年度給与の取扱い(案)について 2) 教員の人事(案)について II 報告事項 1) 職員の人事について 2) 職員の処分について 3) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会報告について 4) 平成24年度予算編成大綱について 5) 第2・四半期の資金収支報告について 6) 第2・四半期の資金残高及び資産運用報告について 7) SMAによる資産運用状況について 8) 第2・四半期の麻布大学附属動物病院の運営状況報告について 9) 増井光子基金の創設について 10) 大学評議会報告について 11) 高等学校報告について III その他 1) 次期麻布大学附属渋野辺高等学校長の選考手順について
11月22日	第8回 理事会	I 審議事項 1) 教員の人事(案)について 2) SMA等による資産運用の解約について ※当日の緊急動議により議題追加 II 報告事項 1) 評議員選挙管理委員会スケジュール等について 2) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会報告について 3) 創立125周年記念事業準備委員会報告について 4) SMAによる資産運用状況について 5) 東日本大震災に伴う被災学生への支援について(継続審査分) 6) 大学評議会報告について 7) 高等学校報告について 8) 平成23年度大学祭期間中の学園主催等行事について 9) その他 ①第2四半期の麻布大学附属動物病院の運営状況に係る追加報告について
12月20日	第9回 理事会	I 審議事項 1) 教員の人事(案)について II 報告事項 1) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会報告について 2) 平成24年度麻布大学推薦等入学試験・編入学試験結果について 3) SMA等による資産運用の解約手続状況について 4) 東日本大震災に伴う被災学生への支援について(継続審査分) 5) 教育研究費等の経理に関する調査の実施結果について 6) 大学評議会報告について 7) 高等学校報告について 8) 次期附属渋野辺高等学校長の在り方について 9) その他 ①茨城県桜川市の学園所有地処分の進捗状況について

月 日	会議等	議 事 内 容
1月31日	第10回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 麻布大学附属渕野辺高等学校長の人事(案)について 2) 平成24年度予算要望(人員)(案)について 3) 「3号館及び体育館解体工事並びに体育館跡地駐車場整備工事」の発注方式及び入札参加業者の選定方式並びに入札方法について(案) <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 事務職員の人事について 2) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会報告について 3) (仮称)学校法人麻布獣医学園訴訟総括委員会報告について 4) SMA及びグレイ・グローバル債権ファンドの解約に伴う精算額について 5) 第3・四半期の資金収支報告について 6) 第3・四半期の資金残高及び資産運用報告について 7) 第3・四半期の麻布大学附属動物病院の運営状況報告について 8) 文部科学省「平成23年度学校法人監事研修会」の出席報告について 9) 平成24年度麻布大学一般入学試験等の志願者状況について 10) 大学評議会報告について 11) 高等学校報告について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成23年度予算の補正について 2) 平成24年度予算概要について
2月28日	第11回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 麻布大学附属渕野辺高等学校校長の人事(案)について(継続) 2) 教員の人事(案)について 3) 茨城県桜川市の学園所有地の処分(案)について 4) 平成23年度補正予算(案)について 5) 平成24年度事業計画(案)について 6) 平成24年度予算(案)について 7) 学校法人麻布獣医学園増井光子基金運用規程の制定(案)について <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会報告について 2) (仮称)学校法人麻布獣医学園訴訟総括委員会報告について 3) 平成24年度麻布大学入学試験結果について 4) 平成24年度麻布大学附属渕野辺高等学校入学試験結果について 5) 都市農業の振興における神奈川県と大学との連携に関する協定の締結について 6) 大学評議会報告について 7) 高等学校報告について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成24年度理事会・評議員会開催予定(案)について 2) 麻布大学及び麻布大学附属渕野辺高等学校の卒業式について
2月28日	第12回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成23年度補正予算(案)について 2) 平成24年度事業計画(案)について 3) 平成24年度予算(案)について

月 日	会議等	議 事 内 容
3月21日	第13回 理事会	I 審議事項 1) 契約職員の採用(案)について 2) 学校法人麻布獣医学園旅費規程の一部改正(案)について 3) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会答申の取扱いについて 4) (仮称)学校法人麻布獣医学園訴訟総括委員会答申の取扱いについて 5) 災害時における所有者不明動物の救護活動に関する協定の締結(案)について II 報告事項 1) 契約講師の採用について 2) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会報告について 3) 「3号館及び体育館解体工事並びに体育館跡地駐車場整備工事」の施工業者の決定について 4) 平成24年度麻布大学一般入学試験等結果について 5) 第63回獣医師国家試験結果について 6) 公的研究費の不適切な経理に関する調査結果について 7) 大学評議会報告について 8) 高等学校報告について III その他 1) 平成24年度麻布大学・麻布大学附属渕野辺高等学校の行事予定について

②理事懇談会

月 日	行 事	議 事 内 容
10月24日	第1回 理事懇談会	1) 麻布獣医学園に関する今後の在り方について
11月22日	第2回 理事懇談会	1) 中期目標・中期計画期間における財政見通し
2月27日	第3回 理事懇談会	1) 平成23年度補正予算(案)について

③評議員会

月 日	行 事	議 事 内 容
5月26日	第1回 評議員会	I 報告事項 1) 東日本大震災に係る学園の状況について 2) 「麻布大学(仮称)新3号館・エネルギーセンター・新体育館建築工事」の進捗状況について 3) SMAによる資産運用状況及び取扱方針について 4) (財)大学基準協会による麻布大学に対する大学評価(認証評価)結果について 5) その他 II 審議事項 1) 学校法人麻布獣医学園寄附行為の一部改正(案)及び同改正に伴う関係規程の一部改正(案)について 2) 平成22年度事業の実績及び決算について (1) 事業報告書 (2) 資金収支計算書及び消費収支計算書 (3) 貸借対照表 (4) 財産目録 (5) 監事監査報告書 3) 茨城県桜川市の学園所有地の取扱いについて 4) 評議員選挙管理委員会委員の選出について 5) 創立125周年記念事業準備委員会委員の選出について III その他 1) 生命・環境科学部棟及び麻布獣医学園アリーナの竣工式について 2) 麻布大学附属渕野辺高等学校創立50周年記念式典について

月日	行事	議事内容
2月28日	第2回 評議員会	I 報告事項 1) 平成 24 年度麻布大学入学試験結果について 2) 平成 24 年度麻布大学附属澁野辺高等学校入学試験結果について 3) SMA及びダイワ・グローバル債券ファンドの解約について 4) 茨城県桜川市の学園所有地の処分について 5) 創立 125 周年記念事業準備委員会答申について II 審議事項 1) 平成 23 年度補正予算(案)について 2) 平成 24 年度事業計画(案)について 3) 平成 24 年度予算(案)について III その他 1) 平成 24 年度評議員会開催予定(案)について 2) その他

④麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会

月日	行事	議事内容
9月13日	第1回(通算第3回) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会	1. 教職員の人事計画及び労務管理に関する分科会(第4分科会)からの第1次報告について
1月24日	第2回(通算第4回) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会	1. 各分科会報告に基づく答申案の検討について
2月1日	第3回(通算第5回) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会	1. 各分科会報告に基づく答申案の検討について 2. その他
3月9日	第4回(通算第6回) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会	1. 「麻布獣医学園の今後の在り方について(答申)」(案)について

⑤学園の統治体制(ガバナンス)に関する分科会[麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会 第1分科会]

月日	行事	議事内容
8月4日	第1回(通算第5回) 学園の統治体制(ガバナンス)に関する分科会	1. 副分科会長の選任について 2. 各課題の検討について 3. その他
9月5日	第2回(通算第6回) 学園の統治体制(ガバナンス)に関する分科会	1. 大学の教育研究基本組織の在り方について 2. 大学教員が所属する組織と大学の運営組織の在り方について
12月5日	第3回(通算第7回) 学園の統治体制(ガバナンス)に関する分科会	1. 大学の教学ガバナンスに関する論点整理(答申案の方向性) 2. 高校の教学ガバナンスに関する論点整理(答申案の方向性) 3. 学長及び教学役職者の選考の在り方に関する論点整理 4. その他
12月8日	第4回(通算第8回) 学園の統治体制(ガバナンス)に関する分科会	1. 大学の教学ガバナンスに関する論点整理(答申案の方向性) 2. 高校の教学ガバナンスに関する論点整理(答申案の方向性) 3. 学長及び教学役職者の選考の在り方に関する論点整理 4. その他
12月21日	第5回(通算第9回) 学園の統治体制(ガバナンス)に関する分科会	1. 報告(案)について
1月13日	第6回(通算第10回) 学園の統治体制(ガバナンス)に関する分科会(持ち回り)	1. 報告(案)について

⑥大学及び高等学校の業務運営に関する分科会 [麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会 第2分科会]

月日	行事	議事内容
7月22日	第1回大学及び高等学校の業務運営に関する分科会	1. 委員会設置に至る経緯について 2. 第2分科会検討事項について 3. 検討の進め方について 4. その他
9月14日	第2回大学及び高等学校の業務運営に関する分科会	1. 生命・環境科学部及び大学院の今後の在り方 2. 本学の学士課程教育及び大学院教育の今後の在り方 3. 附属淵野辺高等学校教育及び高大一貫教育・高大連携に関する今後の在り方 4. その他
11月28日	第3回大学及び高等学校の業務運営に関する分科会	1. 論点整理（答申案の方向性）について
12月19日	第4回大学及び高等学校の業務運営に関する分科会	1. 報告案について
12月28日	第5回大学及び高等学校の業務運営に関する分科会（持ち回り）	1. 最終報告（案）について

⑦学園の財務に関する分科会 [麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会 第3分科会]

月日	行事	議事内容
6月22日	第1回（通算第2回）学園の財務に関する分科会	1. 学納金の在り方について 2. 中期目標・中期計画期間における財政見直しについて 3. 施設・設備の整備方針について 4. その他
7月19日	第2回（通算第3回）学園の財務に関する分科会	1. 中期目標・中期計画期間における財政見直しについて (1) 平成22年度から平成27年度までの収支見直しについて (2) 事業収入の増加策について 2. その他
10月19日	第3回（通算第4回）学園の財務に関する分科会	1. 中期目標・中期計画期間における財政見直しについて (1) 平成22年度から平成27年度までの収支見直しについて (2) 事業収入の増加策について 2. その他
11月16日	第4回（通算第5回）学園の財務に関する分科会	1. 学園の財務に関する分科会の答申に向けての最終確認について (1) 中期目標・中期計画期間における財政見直しについて (2) 施設・設備の整備方針について 2. その他
3月7日	第5回（通算第6回）学園の財務に関する分科会	1. 学園の財務に関する最終報告（案）について 2. その他

⑧教職員の人事計画及び労務管理に関する分科会 [麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会 第4分科会]

月日	行事	議事内容
6月9日	第1回（通算第3回）教職員の人事計画及び労務管理に関する分科会	1. 第一次報告内容の確認及び今後の進め方について (1) 給与制度の見直しについて (2) 団塊世代の大量退職後に伴う人事計画について
7月7日～7月11日	第2回（通算第4回）教職員の人事計画及び労務管理に関する分科会（持ち回り）	1. 教職員の人事計画及び労務管理について（第1次報告）（案）
11月17日	第3回（通算第5回）教職員の人事計画及び労務管理に関する分科会	1. 教職員の人事計画及び労務管理に関する分科会の答申案作成に向けた検討課題の確認について (1) 非正規教職員の採用及びその人事管理について (2) 団塊世代教職員の大量退職後の人事計画について
12月13日	第4回（通算第6回）教職員の人事計画及び労務管理に関する分科会	1. 委員からの意見について 2. 本分科会の最終報告案について

⑨評議員選挙管理委員会

月日	行事	議事内容
11月17日	第1回 評議員選挙管理 委員会	1. 正・副委員長の互選について 2. 評議員選挙に係る変更事項等について 3. 選挙日程（案）について 4. 選挙関連書類（案）について 5. その他
12月1日	第2回 評議員選挙管理 委員会	1. 選任規程によらず委員会で審議し実施する事項の理事長報告について 2. 候補者推薦届の「取り消し・内容変更届」（様式第3号）における候補者の承諾について 3. 有権者登録後の転居者の取扱いについて 4. 選挙関連書類の最終確認について 5. 有権者名簿（学内）の確認について 6. 1号評議員選挙実施に係る選挙公示資料（案）の確認について 7. 不在者投票日及び選挙期日（投票日）の担当者について 8. 開票立会人について 9. 2号評議員選挙に係る卒業者への連絡先届出の呼びかけについて 10. 2号評議員選挙における有権者名簿の縦覧について 11. その他
1月20日	第3回 評議員選挙管理 委員会	1. 1号評議員選挙候補者の確認について 2. 1号評議員選挙候補者の公示・資料の確認について 3. 不在者投票日及び選挙期日（投票日）の担当者について 4. 開票立会人について 5. 2号評議員選任に係る選挙関連書類の発送状況について 6. その他
1月26日	第4回 評議員選挙管理 委員会	1. 1号評議員選挙の開票に当たっての確認事項について 2. 開票及び開票結果の確認について 3. 当選者の公示（案）及び当選通知（案）の確認について 4. 2号評議員選挙に係る卒業者等からの問い合わせに対する取扱いについて 5. その他
2月23日	第5回 評議員選挙管理 委員会	1. 各ブロック別有権者登録数の確認について 2. 2号評議員選挙公示資料の確認について 3. 縦覧用の有権者名簿の確認及び送付について 4. 「立候補・候補者推薦届出」用紙の請求数について 5. 本学園の高校卒業者から選任する評議員について 6. その他
3月23日	第6回 評議員選挙管理 委員会	1. 2号評議員選挙候補者の確認について 2. 2号評議員選挙候補者の公示・資料の確認について 3. 選挙ブロックに対する投票のお知らせについて 4. 無投票ブロックに対する通知等について 5. 開票立会人について 6. その他

⑩創立125周年記念事業準備委員会

月日	行事	議事内容
8月9日	第1回 創立125周年記念 事業準備委員会	1. 委員長・副委員長の選出について 2. 創立125周年記念事業の検討方針について 3. その他
9月29日	第2回 創立125周年記念 事業準備委員会	1. 創立125周年記念事業の検討に係る今後の取り進め方について 2. 記念事業（案）について 3. その他
11月1日	第3回 創立125周年記念 事業準備委員会	1. 創立125周年記念事業準備委員会答申（案）について

⑪給与委員会

月日	行事	議事内容
5月26日	第1回 給与委員会	1. 特任教員の給与について
9月30日	第2回 給与委員会	1. 平成23年10月1日付け新規採用者の格付について 2. 特任教員の給与について
1月31日	第3回 給与委員会	1. 平成24年4月1日付け新規採用者の格付について 2. 平成24年4月1日付け昇格に伴う格付について
3月21日	第4回 給与委員会	1. 平成24年4月1日付け昇格に伴う格付について 2. 特任教員の給与について

⑫環境整備委員会

月日	行事	議事内容
6月6日	第1回 環境整備委員会	1. 本学における夏期の電力需給対策の取組について 2. その他
3月22日	第2回 環境整備委員会	1. 本学における夏期の電力需給対策の取組結果について 2. 文部科学省による大学等のエネルギー管理指定工場等の実地調査について 3. 駐車場の整備及び登録状況について 4. 南門及び麻門の取扱いについて 5. その他

⑬安全衛生委員会

月日	行事	議事内容
4月22日	第1回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成23年3月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
5月27日	第2回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成23年4月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
6月24日	第3回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成23年5月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
7月27日	第4回 安全衛生委員会	1. 職員の就業時間中における負傷について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
8月26日	第5回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 労働災害再発防止対策書の提出について 2. 平成23年7月の事務職員の超過勤務状況について 3. 学内巡視の状況について 4. その他
9月21日	第6回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 委員会からの委員の推薦について 2. 安全衛生指導書に係る改善報告書の提出について 3. 平成23年8月の事務職員の超過勤務状況について 4. 学内巡視の状況について 5. その他
10月27日	第7回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成23年9月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
11月24日	第8回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成23年10月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
12月23日	第9回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成23年11月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
1月25日	第10回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 職員の就業時間中における負傷について 2. 平成23年12月の事務職員の超過勤務状況について 3. 学内巡視の状況について 4. その他
2月27日	第11回 安全衛生委員会	1. 平成24年度安全衛生委員会開催日程及び職場巡視日程(案)について 2. 平成24年度安全衛生管理活動計画表(案)について 3. 学内巡視の状況について 4. その他
3月26日	第12回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成24年2月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他

⑭健康管理委員会

月日	行事	議事内容
10月24日	第1回 健康管理委員会 (持ち回り)	1. 平成24年度事業計画について 2. 平成24年度予算について

(3)平成23年度 麻布獣医学園・麻布大学・麻布大学附属澁野辺高等学校 行事報告

	麻布獣医学園	麻布大学				麻布大学附属澁野辺高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院	
4月	22日 第1回安全衛生委員会(持ち回り)	1日 在学生健康診断(～5日)	6日 教授会	5日 学部教務委員会(持ち回り)	6日 在学者ガイダンス	5日 始業式
	26日 第1回理事会	1日 教職課程委員会(持ち回り)	20日 学部教務委員会(持ち回り)	11日 教授会	7日 入学者オリエンテーション	5日 職員会議
		4日 入学者オリエンテーション(～9日)		26日 学部教務委員会(持ち回り)	13日 環境保健学研究科委員会	6日 入学式
		5日 入学式			25日 獣医学研究科委員会	7日 オリエンテーション①
		6日 入学者健康診断				8日 オリエンテーション②
		6日 在学者ガイダンス				13日 入試委員会
		7日 授業開始(在学者)				19日 部長会議
		9日 フレッシューズセミナー				21日 運営委員会
		11日 生物研運営委員会				26日 部長会議
		11日 授業開始(入学者)				
		12日 国際交流委員会(持ち回り)				
		15日 国際交流委員会				
		18日 教職課程委員会(持ち回り)				
		20日 教務委員会				
		20日 評議会				
		22日 研究推進・支援本部会				
		22日 学生委員会				
		25日 教職課程委員会(持ち回り)				
		25日 キャリア・就職対策支援委員会				
		25日 合同UIターン説明会(就職)				
	25日 動物病院運営会議					
	26日 キャリア・就職支援対策委員会(持ち回り)					
	27日 学芸員課程委員会					
5月	17日 平成22年度決算に係る学内監査	11日 就職活動対策講座(～6/15 毎週水曜日)	2日 教授会	9日 教授会	11日 環境保健学研究科委員会	10日 部長会議
	26日 第2回理事会	12日 教職課程委員会	27日 学部教務委員会		23日 獣医学研究科委員会	12日 職員会議
	26日 第1回評議員会	13日 卒業生子女対象大学説明会・見学会			25日 臨時環境保健学研究科委員会	14日 後援会総会
	26日 第3回理事会	16日 生物研運営委員会				17日 入試委員会
	26日 第1回給与委員会	17日 生物研セミナー				17日 部長会議
	27日 第2回安全衛生委員会(持ち回り)	18日 評議会				24日 部長会議
		18日 職務発明審査委員会				24日 中間試験(～26日)
		21日 父母会理事会				26日 運営委員会
						31日 部長会議
						31日 入試委員会

II 事業の概要

麻布獣医学園	麻布大学				麻布大学附属 澁野辺高校	
	全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院		
5月		23日 合同地方自治体等 (公務員)説明会 23日 キャリア・就職対策 支援委員会 23日 動物病院運営 会議 26日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り) 27日 公務員試験対策 講座(～6/17 毎週金曜日) 27日 研究推進・支援 本部会				
6月	6日 第1回 環境整備委員会 9日 第1回(通算第3回) 教職員の人事計画 及び労務管理に関する 分科会[第4分科会] 22日 第1回(通算第2回) 学園の財務に関する 分科会[第3分科会] 24日 第3回 安全衛生委員会 (持ち回り) 28日 第4回理事会	1日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り) 1日 国際交流委員会 (持ち回り) 5日 オープンセミナー 10日 NOSAI採用説明会 10日 教育推進センター FD講演会 13日 生物研運営委員会 14日 学術情報センター 運営委員会 (持ち回り) 16日 研究推進・支援 本部セミナー 18日 父母会定期 総会・代議員会 20日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り) 22日 学業成績 優秀者表彰式 22日 評議会 24日 合同企業等面接会 24日 研究推進・支援 本部会 27日 動物病院運営 会議 27日 合同動物病院 説明会(就職) 29日 国際バイオEXPO (～7/1) 30日 国際交流委員会	6日 教授会 27日 学部教務委員会	9日 学部教務委員会 13日 教授会	8日 環境保健学 研究科委員会 8日 修士論文中間 報告会(環境 保健学研究科) 27日 獣医学研究 委員会	3日 麻布大学入試 説明会 7日 部長会議 7日 入試委員会 8日 3年生模試 9日 職員会議 13日 部長会議 21日 部長会議 23日 学校評議員会 23日 学校評価委員会 24日 市内四校情報 交換会 27日 運営委員会 28日 部長会議 29日 一般コース 修学旅行 (～6/4)
7月	7日 第2回(通算第4回) 教職員の人事計画 及び労務管理に関する 分科会[第4分科会] (持ち回り)(～11日)	1日 教育推進センター FD講演会 5日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り)	4日 教授会	11日 教授会	13日 環境保健学 研究科委員会 21日 中間論文発表 会(獣医学研 究科)(～22日)	5日 部長会議 7日 職員会議 11日 期末試験 (～14日)

II 事業の概要

麻布獣医学園	麻布大学				麻布大学附属 刈野辺高校	
	全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院		
7月	7日 第1回(通算第8回) (仮称)麻布獣医学園 訴訟総括委員会 14日 役員研修会(～15日) 19日 第2回(通算第3回) 学園の財務に関する 分科会[第3分科会] 22日 第1回大学及び高等学 校の業務運営に関する 分科会[第2分科会] 26日 第5回理事会 27日 第4回 安全衛生委員会	7日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り) 7日 教職員健康診断 (～8日) 10日 オープンセミナー 11日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り) 11日 職務発明審査 委員会 11日 生物研運営委員会 13日 国際交流委員会 (持ち回り) 14日 生物研セミナー 20日 評議会 22日 研究推進・支援 本部会 25日 前期定期試験 (～29日) 25日 キャリア・就職支援 対策委員会 25日 動物病院運営 会議 26日 研究推進・支援 本部会 27日 学生委員会 27日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り) 27日 市民大学 (～8/31, 毎週水曜全5回) 28日 市民大学 (～9/1, 毎週木曜全5回) 29日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り)			25日 獣医学研究 科委員会 (持ち回り)	12日 部長会議 15日 3年生模試 19日 1・2年生模試 19日 入試委員会 22日 全校集会 23日 夏期休業 (～8月31日)
8月	4日 第1回(通算第5回) 学園の統治体制(ガバ ナンス)に関する分科会 [第1分科会] 9日 第1回 創立125周年記念事業 準備委員会 26日 第5回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1日 夏期休業 (～9/14) 1日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り) 2日 生物研運営委員会 (持ち回り) 6日 オープンキャンパス (～7日) 9日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り) 20日 父母会名古屋会 場地区懇談会	1日 教授会	2日 教授会	4日 環境保健学 研究科入学 試験 5日 環境保健学 研究科委員会 8日 環境保健学 研究科入学 試験合格発表	21日 学校説明会 22日 転入学・編入 学試験 30日 部長会議

II 事業の概要

	麻布獣医学園	麻布大学				麻布大学附属 澁野辺高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院	
8月		21日 麻布獣医学会 25日 職務発明審査委員会 27日 父母会さいたま会場地区懇談会				
9月	5日 第2回(通算第6回)学園の統治体制(ガバナンス)に関する分科会〔第1分科会〕 13日 第1回(通算第3回)麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会 14日 第2回大学及び高等学校の業務運営に関する分科会〔第2分科会〕 21日 第6回安全衛生委員会(持ち回り) 29日 第2回創立125周年記念事業準備委員会 30日 第6回理事会 30日 第2回給与委員会 30日 生命・環境科学部棟及び麻布獣医学園アリーナ竣工式	4日 オープンセミナー 5日 キャリア・就職支援対策委員会(持ち回り) 6日 国際交流委員会 7日 教育推進センターFD研修会(集中検討会議)(~8日) 9日 プレ入試 10日 父母会福岡会場地区懇談会 12日 動物病院運営会議 13日 研究推進・支援本部会 14日 職務発明審査委員会 15日 教務委員会 15日 前期追再試験(~22日) 16日 評議会 17日 父母会仙台会場地区懇談会 26日 研究推進・支援本部取扱補助金パネル報告会 26日 キャリア・就職支援対策委員会 26日 女子学生リクルートメイク&ファッションセミナー(就職) 26日 後期授業開始 27日 生物研運営委員会(持ち回り) 28日 就職活動実戦講座(~11/16毎週水曜日) 30日 業界セミナー:製薬業界MR編(就職)	6日 教授会(持ち回り) 24日 AO入試(2次) 26日 学部教務委員会 28日 AO入試(2次面接)(~10/3)	22日 学部教務委員会	1日 獣医学研究科獣医学専攻入学試験 1日 獣医学研究科動物応用科学専攻入学試験(~2日) 6日 獣医学研究科委員会 7日 獣医学研究科合格発表	1日 授業開始 1日 職員会議 6日 部長会議 7日 体育祭 10日 文化祭(~11日) 17日 前期終業式 13日 部長会議 15日 職員会議 20日 部長会議 26日 体育系コース修学旅行(~29日) 27日 部長会議 29日 運営委員会 29日 入試委員会 30日 後期始業式
10月	19日 第3回(通算第4回)学園の財務に関する分科会〔第3分科会〕 24日 第1回健康管理委員会(持ち回り) 24日 第1回理事懇談会 25日 第7回理事会	1日 麻布環境科学研究会 3日 キャリア・就職支援対策委員会(持ち回り) 4日 研究推進・支援本部セミナー	3日 教授会 13日 学部教務委員会 14日 澁高特別入試 20日 臨時教授会 24日 澁高特別入試合否通知日	3日 学部教務委員会(持ち回り) 7日 学部教務委員会 11日 教授会 14日 澁高特別入試 18日 臨時教授会	12日 環境保健学研究科委員会 24日 獣医学研究科委員会 24日 環境保健学研究科委員会(持ち回り)	4日 部長会議 5日 塾説明会 11日 部長会議 13日 職員会議 15日 3年生模試

II 事業の概要

	麻布獣医学園	麻布大学				麻布大学附属 瀧野辺高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院	
10月	27日 第7回 安全衛生委員会 (持ち回り)	5日 国際交流委員会 (持ち回り) 7日 教務委員会 7日 業界セミナー:食肉卸 業界編(就職) 9日 オープンセミナー 10日 グループ・ディスカッション 対策実習 11日 生物研運営委員会 13日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り) 13日 消防訓練 14日 研究推進・支援本 部セミナー(著作権) 14日 学生指導委員会 14日 業界セミナー:肉製品 製造業編(就職) 15日 父母会関東甲信 越地区個人面談 17日 職務発明審査委員会 19日 教務委員会 19日 評議会 20日 研究推進・支援 本部会 24日 動物病院運営 会議 24日 教職課程委員会 (持ち回り) 24日 キャリア・就職支援 対策委員会 25日 学生委員会 25日 学芸員課程委員会 (持ち回り) 27日 動物慰霊祭 27日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り) 27日 ホームcomingデー 27日 学術情報センター 運営委員会 28日 大学祭(～30日)	24日 AO入試 合否通知日 31日 学部教務委員会	24日 潤高特別入試 合否通知日 27日 学部教務委員会		16日 学校説明会 17日 部長会議 18日 中間試験A (～20日) 23日 50周年記念事業 25日 運営委員会 26日 芸術鑑賞
11月	1日 第3回 創立125周年記念事業 準備委員会 15日 予算ヒアリング (～12/9) 16日 第4回(通算第5回) 学園の財務に関する 分科会〔第3分科会〕	7日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り) 6日 オープンセミナー 11日 業界セミナー:医薬品 業界編(就職) 14日 生物研運営委員会 16日 教務委員会	3日 獣医学科編入学 試験(1次選抜) 7日 教授会 19日 獣医学部 推薦・特別 入学試験 20日 獣医学部 編入学試験	14日 教授会 12日 指定校特別 推薦入学試験 12日 環境特別 入学試験 19日 生命・環境科学部 推薦・特別入学 試験, 編入学 試験	9日 環境保健学 研究科委員会 16日 環境保健学 研究科委員会 (持ち回り) 28日 獣医学研究 科委員会 (持ち回り)	1日 部長会議 2日 全校模試 2日 部長会議 5日 保護者対象説明 会(1・2年生) 8日 部長会議 15日 部長会議

II 事業の概要

	麻布獣医学園	麻布大学				麻布大学附属 刈野辺高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院	
11月	17日 第3回(通算第5回)教職員の人事計画及び労務管理に関する分科会[第4分科会] 17日 第1回評議員選挙管理委員会 22日 第2回理事懇談会 22日 第8回理事会 24日 第8回安全衛生委員会(持ち回り) 28日 第3回大学及び高等学校の業務運営に関する分科会[第2分科会]	16日 評議会 17日 業界セミナー:治験業界編(就職) 18日 就職サイト活用セミナー(就職) 20日 模擬面接対策実習 21日 動物病院運営会議(持ち回り) 22日 学芸員課程委員会(持ち回り) 25日 業界セミナー:外食産業編(就職) 25日 研究推進・支援本部会 28日 研究推進・支援本部セミナー(著作権) 28日 キャリア・就職支援対策委員会 30日 フレッシュヤーズセミナー担当者会議 30日 生物研セミナー 30日 アグリビジネス創出フェア2011(~12/2)	25日 臨時教授会 28日 学部教務委員会	24日 臨時教授会		15日 入試委員会 17日 職員会議 22日 部長会議 27日 学校説明会 29日 部長会議 29日 市内四校情報交換会
12月	1日 第2回評議員選挙管理委員会 5日 第3回(通算第7回)学園の統治体制(ガバナンス)に関する分科会[第1分科会] 8日 第4回(通算第8回)学園の統治体制(ガバナンス)に関する分科会[第1分科会] 13日 第4回(通算第6回)教職員の人事計画及び労務管理に関する分科会[第4分科会] 19日 第4回大学及び高等学校の業務運営に関する分科会[第2分科会] 20日 第9回理事会 21日 第5回(通算第9回)学園の統治体制(ガバナンス)に関する分科会[第1分科会] 23日 第9回安全衛生委員会(持ち回り) 28日 第5回大学及び高等学校の業務運営に関する分科会[第2分科会](持ち回り)	5日 合同企業説明会(~7日) 9日 教職課程委員会(持ち回り) 9日 生物研セミナー 10日 父母会理事会 12日 生物研運営委員会 12日 動物病院運営会議 19日 キャリア・就職支援対策委員会(持ち回り) 21日 評議会 21日 就活実戦講座総括 23日 研究推進・支援本部会 24日 冬期休業(~1/9) 26日 キャリア・就職支援対策委員会(持ち回り)	1日 獣医学部推薦・特別入学試験,編入学試験合格発表 5日 教授会 19日 学部教務委員会(持ち回り)	1日 生命・環境科学部推薦・特別入学試験,編入学試験合格発表 2日 学部教務委員会 12日 教授会 22日 臨時教授会	7日 環境保健学研究科委員会 19日 獣医学研究科委員会	1日 運営委員会 2日 入試委員会 5日 中間試験B(~8日) 6日 部長会議 13日 部長会議 15日 職員会議 16日 第1回内選会議 20日 第2回内選会議 20日 部長会議 22日 全校集会 22日 転入学・編入学試験 22日 第3回内選会議 25日 冬季休業(~1/7)

II 事業の概要

	麻布獣医学園	麻布大学				麻布大学附属 湊野辺高校	
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院		
1月	13日 第6回(通算第10回)学園の統治体制(ガバナンス)に関する分科会[第1分科会](持ち回り)	11日 授業開始 12日 学生委員会(持ち回り)	11日 教授会 20日 学部教務委員会	16日 教授会 23日 シラバス作成委員会	18日 環境保健学研究科委員会 23日 環境保健学研究科委員会(持ち回り)	10日 授業開始 10日 部長会議 12日 運営委員会 17日 部長会議	
	20日 第3回評議員選挙管理委員会	14日 大学入試センター試験(～15日)			30日 獣医学研究科委員会	22日 推薦入学試験 24日 部長会議	
	24日 第2回(通算第9回)(仮称)麻布獣医学園訴訟総括委員会	16日 生物研運営委員会 16日 教務委員会				26日 卒業認定会議 27日 学校評議員会	
	24日 第2回(通算第4回)麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会	23日 動物病院運営会議 23日 キャリア・就職支援対策委員会				31日 部長会議	
	25日 第10回安全衛生委員会(持ち回り)	25日 評議会					
	26日 第4回評議員選挙管理委員会	25日 教務委員会					
	31日 第10回理事会	25日 職務発明審査委員会					
	31日 第3回給与委員会	25日 研究推進・支援本部会 26日 学生委員会 26日 キャリア・就職支援対策委員会(持ち回り) 26日 国際交流委員会 27日 研究推進・支援本部セミナー 30日 教職課程委員会(持ち回り) 31日 教務委員会(持ち回り)					
	2月	1日 第3回(通算第5回)麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会	2日 キャリア・就職支援対策委員会(持ち回り)	3日 獣医学科一般入学試験	5日 生命・環境科学部一般入学試験(A日程)	8日 環境保健学研究科委員会	7日 部長会議 9日 運営委員会
		17日 第3回(通算第10回)訴訟総括委員会(持ち回り)	8日 後期定期試験(～15日)	4日 動物応用科学科一般入学試験	6日 生命・環境科学部一般入学試験(B日程)	15日 課程論文審査会(環境保健学研究科)	10日 一般入学試験 11日 入試判定会議
		23日 第5回評議員選挙管理委員会	13日 生物研運営委員会	10日 教授会	7日 生命・環境科学部一般入学試験(C日程)	16日 課程論文発表会(獣医学研究科)(～17日)	12日 一般入学試験合格発表
		27日 第11回安全衛生委員会	15日 教務委員会	15日 獣医学部一般入学試験・センター利用入試合格発表	13日 教授会	27日 獣医学研究科委員会	13日 体育系コーススキー実習(～16日)
		27日 第3回理事懇談会	17日 生物研運営委員会(持ち回り)	23日 動物応用科学科センター試験利用入試(Ⅱ期)	16日 生命・環境科学部一般入学試験,センター入試利用試験合格発表	29日 環境保健学研究科入学試験	14日 部長会議 21日 部長会議
		28日 第11回理事会	19日 模擬選考実習(就職)	27日 学部教務委員会		29日 臨時環境保健学研究科委員会	23日 職員会議
28日 第2回評議員会		20日 動物病院運営会議					
28日 第12回理事会		22日 評議会 23日 後期追再試験(～29) 24日 教職課程委員会(持ち回り) 27日 フレッシュヤーズセミナー担当者会議					

II 事業の概要

	麻布獣医学園	麻布大学				麻布大学附属 澹野辺高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院	
2月		27日 キャリア・就職支援 対策委員会 27日 研究推進・支援 本部会 28日 学芸員課程委員会 29日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り) 29日 フレッシュヤーズセミナー 担当者研修会				
3月	7日 第5回(通算第6回) 学園の財務に関する 分科会[第3分科会] 9日 第4回(通算第6回) 麻布獣医学園の今後の 在り方に関する委員会 21日 第13回理事会 21日 第4回給与委員会 22日 第2回 環境整備委員会 23日 第6回評議員選挙 管理委員会 26日 第12回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1日 公務員試験 対策集中講座 (～10日) 1日 学生委員会 1日 教務委員会 7日 教務委員会 (持ち回り) 7日 学生功労賞 表彰式 7日 評議会 9日 学術情報センター 運営委員会 (持ち回り) 12日 生物研運営委員会 15日 卒業式 16日 公務員全国公開 模擬試験 16日 学生指導委員会 18日 ミニ・オープンキャンパス 19日 入学者オリエンテ ーション説明会 19日 平成24年度1年次 クラス担任連絡会 19日 研究推進・支援 本部会 19日 生物研セミナー 19日 動物病院運営 会議 22日 教育推進センター 非常勤講師FD 研修会 25日 春季休業(～31日) 26日 キャリア・就職支援 対策委員会 30日 国際交流委員会	2日 教授会 5日 獣医学部転 学部・転学 科試験 5日 動物応用科学科 センター試験利用入 試(Ⅱ期) 可否発表 13日 学部教務委員会 16日 臨時教授会	1日 学部教務委員会 3日 食品生命科 学科一般入学 試験(Ⅱ期) 3日 環境科学科 一般入学試験 (Ⅱ期) 6日 教授会 8日 臨時教授会 8日 学部教務委員会 (持ち回り) 9日 食品生命科学科・ 環境科学科一般 入学試験(Ⅱ期)、 センター試験利用入 試(Ⅱ期) 合格発表 9日 生命・環境科学部 転学部・転学 科試験 16日 臨時教授会 16日 臨時教授会 (持ち回り)	1日 獣医学研究 科獣医学専 攻入学試験 1日 獣医学研究 科動物応用 科学専攻入 学試験 (～2日) 6日 獣医学研究 科委員会 7日 環境保健学 研究科委員会 7日 獣医学研究 科入学試験 合格発表 9日 環境保健学 研究科入学 試験合格発表	1日 卒業式 4日 一般入学試験 (二次) 5日 学年末試験 (～9日) 6日 部長会議 8日 運営委員会 11日 入学予定者 説明会 13日 部長会議 21日 部長会議 21日 進級会議 21日 職員会議 26日 春季休業 (～4/4)

II-4. 前年度決算監査における監事要望事項の履行状況

1 附属高校の入学定員充足率の改善について

〔要望事項〕

全国的に私立高等学校の入学者確保が厳しい状況にある。附属高等学校においても入学者数がここ4年連続して入学定員割れを来している。

特に、15歳人口の減少や公立高等学校の授業料無償化により、私立高等学校は、高等学校等就学支援金制度があるものの、入学者確保が更に厳しさを増すことが予想される。学園の附属高等学校として、特色ある経営戦略を検討し、入学定員確保に努めるよう要望する。

なお、現在、学長・理事長が校長を兼務しているが、高等学校運営を取り巻く厳しい情勢に対応するためにも、専任の校長を設置するよう併せて要望する。

〔履行状況〕

附属高等学校では、ここ4年連続して入学定員割れを来していることから、平成23年度は、入学定員以上の生徒確保を目標に、校長と2人教頭が協議し、近隣の相模原市及び町田市を生徒募集の強化地区として、全教員による生徒募集活動前の5月に、2人教頭による両市内の中学校訪問を実施し、生徒募集について懇請を行った。

また、公立高等学校の授業料無償化は、受験動向に大きく影響しているため、入学志望者及びその保護者を対象とした学校説明会（平成23年度は3回開催）で、私立高等学校での授業料等の支援制度（就学支援金制度、学費軽減制度等。）を具体的金額を明示して詳細に説明し、私立高等学校においても学費の軽減措置があることへの理解を得られるよう努めた。

なお、志願者を増やすため、附属渋野辺高等学校の入学志望者を実施したアンケート調査結果において、同校を知った一番の理由であった本校ホームページの充実及びリアルタイムな学校情報の発信に努めた。

これらの取組を行ったものの、結果として入学定員の確保には至らなかった。このことを真摯に受け止め、平成24年度は、高等学校の喫緊の課題として位置付け、現状の分析及び今後の方策の検討を行い、教職員が一丸となって平成25年度の入学定員確保に取り組むこととしたい。

校長の件については、平成23年度で政岡俊夫校長が退任し、平成24年度から有嶋和義獣医学部教授が校長に就任している。

2 給与制度改革について

〔要望事項〕

従来、学園の月例給、期末手当等は、国家公務員に準拠し、毎年度の人事院勧告に基づいて改定されていたが、平成12年度以降、人事院勧告では、引下げ勧告が続いているにもかかわらず、学園では、改定を見送ってきている。その結果、これまで準拠してきた公務員の支給状況と比較して、かなりの差が生じてきている。

また、学園の将来計画における人事戦略に応じた合理的な給与制度を構築するため、これまでも「給与制度検討特別委員会」を設置するなど検討を進めてきているが、いまだ具現化するまでに至っていない。今後、「学園の今後の在り方に関する委員会」で取りまとめ、改革の推進を図るとしているが、具体的な行程表を示し、給与制度等の合理的な改革に取り組むよう要望する。

〔履行状況〕

給与制度改革については、「麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会」（以下「在り方委員会」という。）の下に設置された「教職員の人事計画及び労務管理に関する分科会」（以下「第4分科会」という。）において検討を重ね、その結果については、平成23年7月11日付けで第1次報告、

平成24年1月17日付けで最終報告が在り方委員会委員長にあった。

これらの報告は、在り方委員会で議論されて、理事長あてに答申されたところであるが、その答申を受けて、理事会において実行計画を策定することとなる。

なお、給与制度の見直しについての第4分科会最終報告は、次のとおりである。

●給与制度の見直しについて

(1) 今後の新給与制度検討の取組方法について

現行の給与制度（平成12年度国家公務員俸給表を適用した給与制度）を本学園の給与制度とすることが妥当と考える。

上記制度を実施する条件として、今後の少子化等の経営環境の変化を考慮して、経費削減の実施や労使交渉を通じて給与、期末手当支給額等を一定条件のもとで調整が可能とした制度化を図り、併せて、職員の人事評価制度の導入、諸手当の見直し等についても検討が必要である。

(2) 諸手当の見直しについて

学園の特性を踏まえ、職責に応じた職務内容、貢献度、責任の重さ、業務量等に見合ったものに見直しを検討する。

(3) 評価制度導入の是非について

学園の経営課題に応じ、教職員の働き方に適応した処遇改善を図ることを目的に、教職員において評価制度を導入する。

導入に当たっては、事務職員で既に実施している人事評価の試行を制度化するとともに、教員に対しても段階的に評価制度を導入して行くものとする。その際、評価の結果が反映できるように給与規定の見直しを行う。

3 附属病院について

〔要望事項〕

大学の附属動物病院としての役割をより明確にすることを目的に、平成19年度から、獣医学部附属動物病院を大学附属とした。しかし、検診センター業務に関する見解がいまだ教職員、スタッフ相互に十分理解されていないように見受けられる。関係職員の共通の認識の上で、検診センター業務が円滑に進むよう特段の努力を要望する。

〔履行状況〕

検診センターについては、動物病院の位置付けを獣医学部附属から大学附属にしたことを契機に、高度獣医療機器等を用いた大学病院ならではの業務として、疾病の早期発見、早期治療並びに未然防止技術の確立と普及を図ることとし、症例数の確保、臨床教育の充実、病院収入の引き上げ等に機能させる目的で開設したところである。これの対応については、動物病院のホームページやパンフレット等で検診の必要性や効果について普及・啓蒙を行い、体制的には4人の特任助手を登用して業務の円滑稼働に努めてきたが、開設間もなくリーマンショックを引き金とする社会経済情勢の急変があつて、飼い主等の飼育動物に対する健康志向が予想以上に低迷、加えて病院内スタッフの認識にも齟齬が表面化し、所期の目的からは大幅に乖離した運営になってしまった。

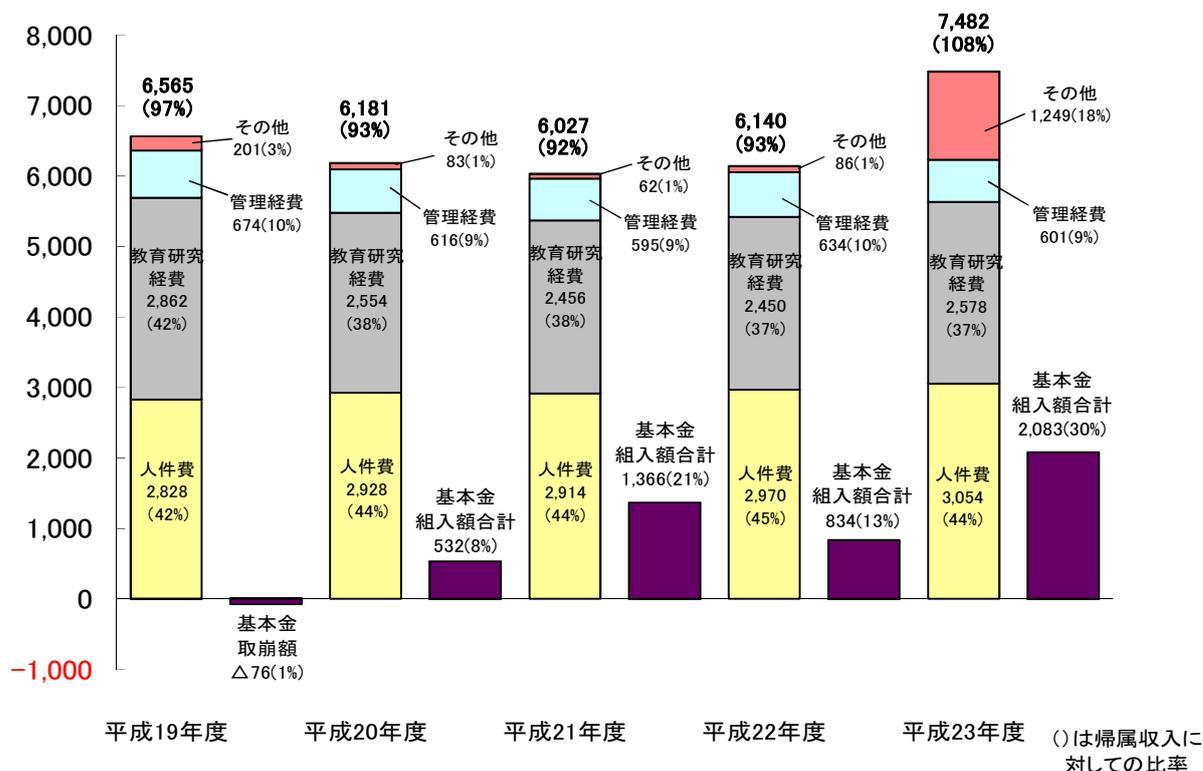
これら経過を踏まえ、動物病院関係スタッフは再度、動物病院が獣医学部附属から大学附属になった背景等を再確認し、検診センター業務の先見性を具現化すべく、一丸となって取り組んで、機能強化に当たることとしたい。

III 財務の概要

III-1. 財務状況の推移

消費支出及び基本金組入額

(単位百万円)



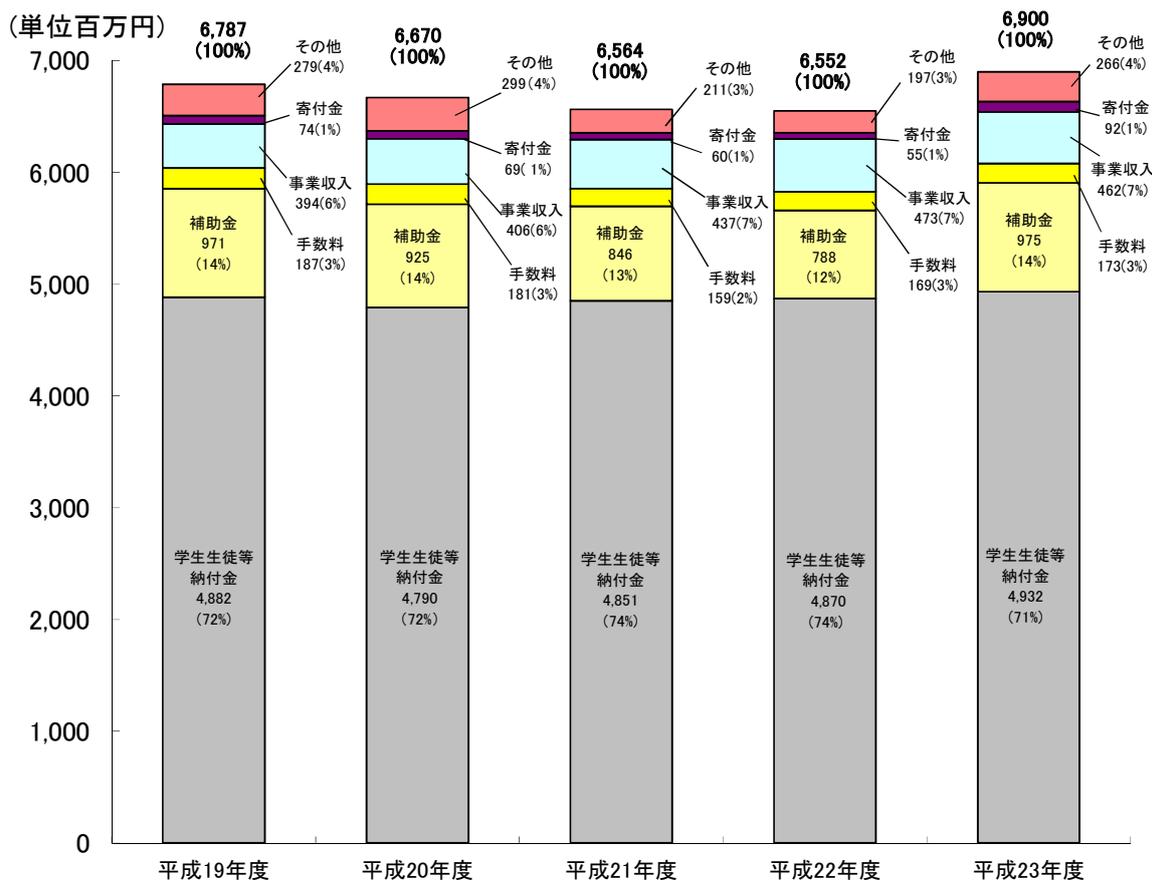
●消費支出とは、教育研究その他の諸活動に対応して消費した財貨と用役の額を示したもので、以下のようなものがある。

- 人件費
教員人件費，職員人件費，退職給与引当繰入額など
- 教育研究経費
消耗品費，光熱水費，業務委託費，減価償却費など
- 管理経費
消耗品費，光熱水費，業務委託費，減価償却費など
- その他
資産処分差額など上記各科目に該当しないもの

●基本金組入額とは、「学校法人の永続的維持に必要な資産を継続的に保持するため，維持すべきものとして帰属収入のうちから組み入れた金額」で，組み入れるべき金額としては，教育の用に供される固定資産額で，以下のようなものがある。

- 基本金組入額合計
建物，構築物，教育研究用機器備品，図書などの取得価額の合計

帰属収入



()は帰属収入に
対しての比率

●帰属収入とは、学校法人の負債とならない収入で、以下のようなものがある。

- 学生生徒等納付金
入学金, 授業料, 実験実習費など
- 補助金
国庫補助金, 地方公共団体補助金など
- 手数料
入学検定料, 試験料, 証明手数料など
- 事業収入
附属病院収入, 受託事業収入など
- 寄付金
特別寄付金, 一般寄付金, 現物寄付金
- その他
受取利息配当金, 施設設備利用料, 雑収入など

Ⅲ-2. 財務比率の推移

		平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
消費収支計算書関係												
人件費比率 ↓	人件費 ／帰属収入	43.1 (51.7)	43.5 (52.0)	42.0 (52.0)	52.2 (52.2)	42.9 (51.3)	40.6 (52.0)	41.7 (51.4)	43.9 (52.8)	44.4 (52.6)	45.3 (52.9)	44.3
人件費依存率 ↓	人件費 ／学生生徒等納付金	56.7 (69.4)	57.4 (69.3)	54.3 (69.6)	52.0 (70.2)	55.6 (70.7)	54.6 (71.3)	57.9 (71.7)	61.1 (72.3)	60.1 (72.4)	61.0 (72.0)	61.9
教育研究経費比率 ↑	教育研究経費 ／帰属収入	32.2 (25.6)	30.6 (26.7)	32.2 (27.4)	35.4 (28.3)	33.2 (28.5)	42.2 (29.3)	42.2 (29.7)	38.3 (31.0)	37.4 (30.9)	37.4 (30.9)	37.4
管理経費比率 ↓	管理経費 ／帰属収入	6.5 (7.5)	6.5 (7.8)	7.5 (7.9)	7.9 (8.5)	9.0 (8.5)	10.0 (8.5)	9.9 (8.7)	9.2 (9.9)	9.1 (10.3)	9.7 (8.8)	8.7
借入金等利息比率 ↓	借入金等利息 ／帰属収入	0.3 (0.7)	0.2 (0.6)	0.2 (0.6)	0.1 (0.5)	0.3 (0.5)	0.6 (0.5)	0.6 (0.5)	0.6 (0.4)	0.6 (0.4)	0.7 (0.4)	1.0
消費収支比率 ↓	消費支出 ／消費収入	163.5 (104.4)	93.3 (105.3)	94.5 (105.7)	100.8 (107.2)	93.1 (107.5)	132.5 (107.8)	96.7 (108.3)	100.7 (115.0)	116.0 (110.8)	107.4 (110.5)	155.3
学生生徒等 納付金比率 ～	学生生徒等納付金 ／帰属収入	76.0 (74.5)	75.9 (75.1)	77.3 (74.7)	76.6 (74.4)	77.2 (72.6)	74.4 (72.9)	71.9 (71.6)	71.8 (73.0)	73.9 (72.7)	74.3 (73.4)	71.5
寄付金比率 ↑	寄付金 ／帰属収入	1.3 (2.8)	1.8 (2.4)	1.1 (2.3)	1.1 (1.9)	0.9 (3.4)	1.4 (2.3)	1.1 (3.0)	1.0 (2.4)	0.9 (2.5)	0.8 (2.6)	1.3
補助金比率 ↑	補助金 ／帰属収入	13.9 (12.5)	12.8 (12.6)	12.9 (12.6)	12.5 (12.7)	12.5 (12.5)	13.2 (12.3)	14.3 (12.1)	13.9 (12.5)	12.9 (12.9)	12.0 (12.4)	14.1
基本金組入率 ↑	基本金組入額 ／帰属収入	49.6 (16.0)	12.6 (14.9)	9.5 (15.4)	-8.7 (15.2)	7.7 (15.9)	27.9 (14.6)	0.0 (14.5)	8.0 (13.2)	20.8 (13.1)	12.7 (13.4)	30.2
帰属収支差額率 ↑	帰属収入－消費支出 ／帰属収入	17.5	18.4 (10.4)	14.4 (10.5)	-9.6 (9.1)	14.1 (9.6)	4.5 (8.0)	3.3 (7.4)	7.3 (0.2)	8.2 (3.7)	6.3 (4.4)	-8.4
貸借対照表関係												
固定比率 ↓	固定資産 ／自己資金	103.4 (97.2)	100.5 (97.7)	101.7 (98.4)	103.4 (98.5)	110.4 (98.7)	110.5 (98.7)	112.2 (98.5)	110.8 (99.4)	109.6 (100.0)	118.5 (99.8)	114.6
固定長期適合率 ↓	固定資産 ／自己資金+固定負債	96.9 (88.3)	95.2 (88.9)	96.5 (88.6)	95.9 (90.0)	94.7 (90.5)	94.9 (90.8)	96.9 (91.0)	96.5 (91.8)	96.1 (92.0)	96.3 (92.1)	93.1
流動比率 ↑	流動資産 ／流動負債	163.6 (269.7)	186.9 (265.7)	171.8 (249.2)	182.0 (257.7)	222.8 (253.0)	210.1 (247.6)	163.1 (251.2)	173.0 (238.6)	181.7 (232.7)	179.9 (236.6)	232.7
総負債比率 ↓	総負債 ／総資産	10.6 (15.1)	10.2 (14.6)	9.4 (16.3)	11.7 (14.1)	17.7 (13.6)	17.8 (13.4)	17.6 (12.8)	16.9 (12.7)	16.4 (13.2)	22.3 (12.8)	22.8
負債比率 ↓	総負債 ／自己資金	11.9 (17.8)	11.3 (17.2)	10.4 (19.4)	13.3 (16.4)	21.5 (15.8)	21.7 (15.5)	21.4 (14.7)	20.4 (14.6)	19.6 (15.2)	28.7 (14.7)	29.5
自己資金構成比率 ↑	自己資金 ／総資金	89.4 (84.9)	89.8 (85.4)	90.6 (83.7)	88.3 (85.9)	82.3 (86.4)	82.2 (86.6)	82.4 (87.2)	83.1 (87.3)	83.6 (86.8)	77.7 (87.2)	77.2
消費収支差額 構成比率 ↑	消費収支差額 ／総資金	-10.1 (0.7)	-8.1 (-0.2)	-6.6 (-5.4)	-6.8 (-2.3)	-4.6 (-2.6)	-10.2 (-3.6)	-9.0 (-4.6)	-9.0 (-6.8)	-11.9 (-8.1)	-12.2 (-9.3)	-21.4

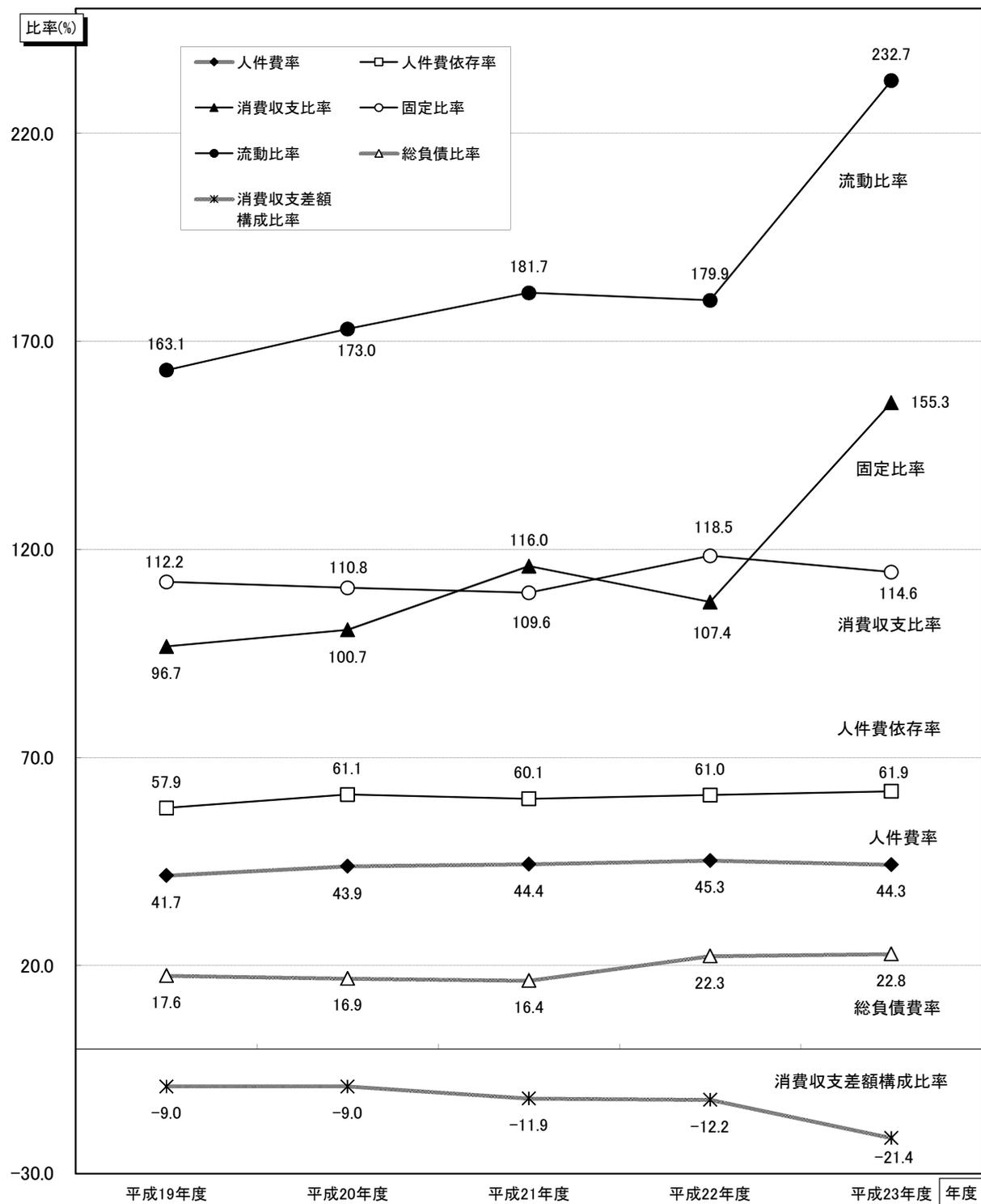
注) 1. ()内の数字は「今日の私学財政(大学・短期大学編)」(日本私立学校振興・共済事業団編)に記載されている医歯系法人を除く大学法人の平均値を示す。

2. 総資金＝負債＋基本金＋消費収支差額 自己資金＝基本金＋消費収支差額

3. ↑:高い値がよい。↓:低い値がよい。～:どちらともいえない。

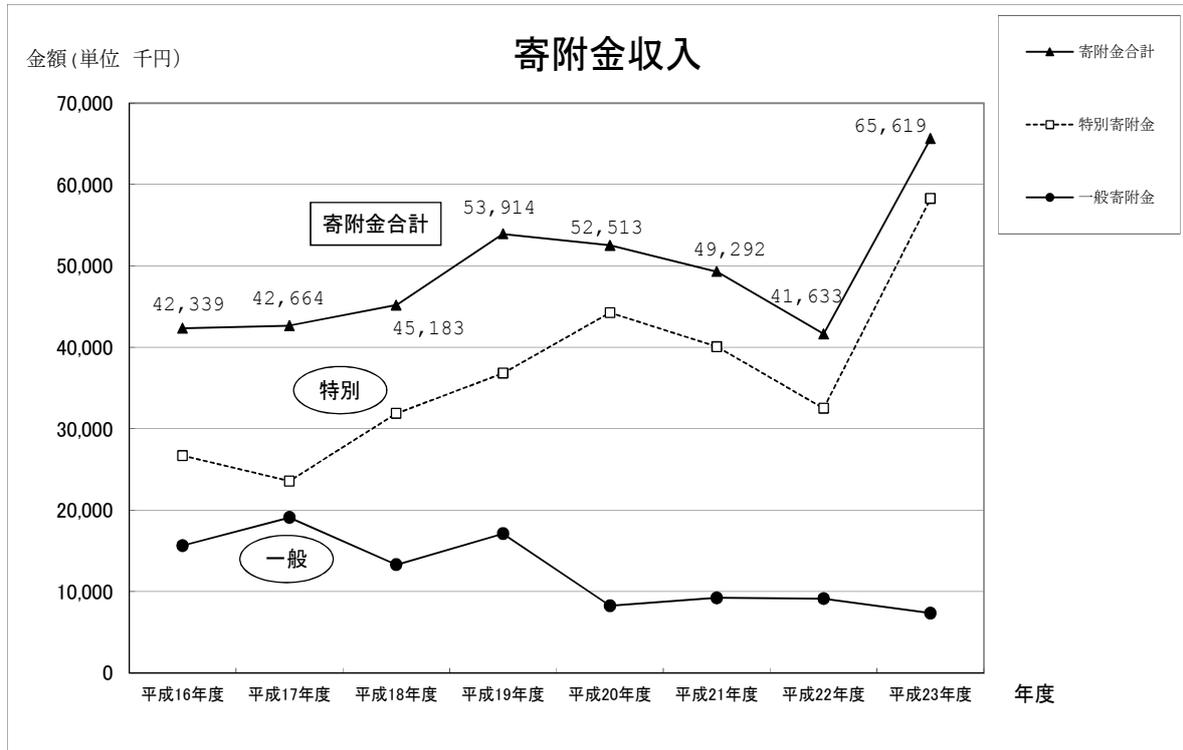
財務比率の推移

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
人件費率	人件費/帰属収入	41.7	43.9	44.4	45.3	44.3
人件費依存率	人件費/学生生徒等納付金	57.9	61.1	60.1	61.0	61.9
消費収支比率	消費支出/消費収入	96.7	100.7	116.0	107.4	155.3
固定比率	固定資産/自己資金	112.2	110.8	109.6	118.5	114.6
流動比率	流動資産/流動負債	163.1	173.0	181.7	179.9	232.7
総負債比率	総負債/総資産	17.6	16.9	16.4	22.3	22.8
消費収支差額構成比率	消費収支差額/総資金	-9.0	-9.0	-11.9	-12.2	-21.4



III-3. 寄附金収入の推移

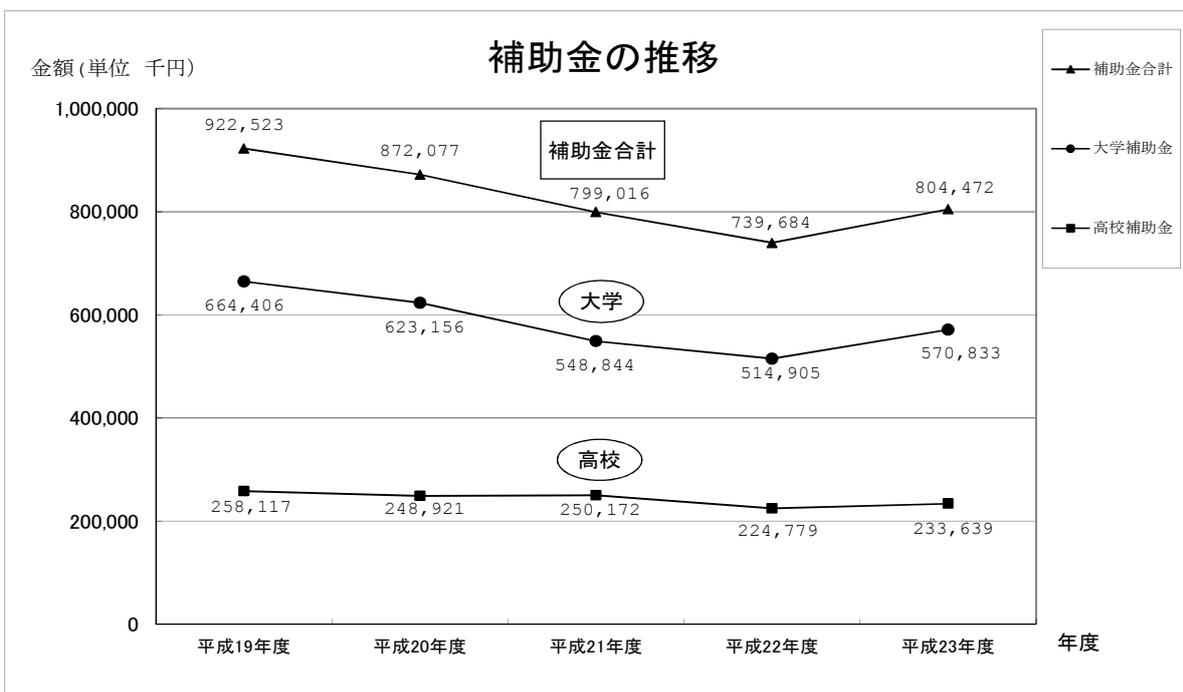
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
一般寄附金	15,650,000	19,100,000	13,300,000	17,100,000	8,260,000	9,220,000	9,130,000	7,350,000
特別寄附金	26,688,700	23,563,700	31,882,575	36,813,955	44,252,793	40,072,100	32,502,955	58,269,310
寄附金合計	42,338,700	42,663,700	45,182,575	53,913,955	52,512,793	49,292,100	41,632,955	65,619,310



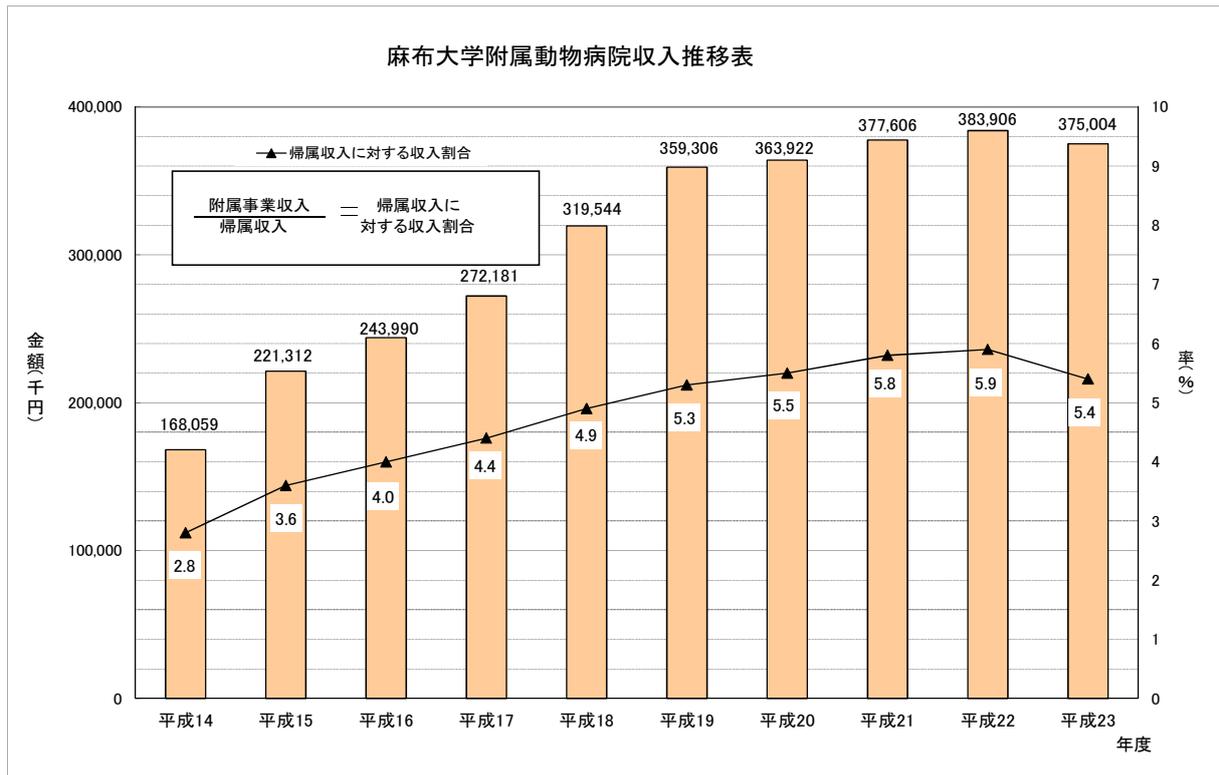
III-4. 経常費補助金の推移

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
大学補助金	684,443,167	642,795,487	567,393,692	537,968,000	570,833,000
高校補助金	286,658,153	279,276,700	275,661,375	250,389,606	233,639,000
補助金合計	971,101,320	922,072,187	843,055,067	788,357,606	804,472,000

※法人(育児休業取得促進等助成金)は除く。



Ⅲ-5. 動物病院収入の推移



※ 動物病院は、平成19年4月に獣医学部附属から麻布大学附属動物病院に組織及び名称変更

Ⅲ-6. 資金残高

(平成24年3月31日現在)

